

特別支援学校卒業後の進路や学びに関する調査

東京都教育庁指導部特別支援教育指導課

目次

I. 概 要.....	1
1. 調査目的	2
2. 調査概要	2
II. 高等部生徒及びその保護者の調査結果	3
I 本人の属性	4
II 卒業後の進路.....	16
III 卒業後の学びの場・方法の理解.....	22
IV 在学中の学びの二一ズ	25
V 卒業後の学びの二一ズ	35
III. 卒業生及びその保護者等の調査結果.....	43
I 本人の属性	44
II 在学中の進路希望と現在の進路の相違.....	56
III 卒業後の学びの場・方法の理解.....	65
IV 在学中に学びたかつたこととの相違	73
V 今後学びたいこと	78
IV. 資料.....	87

I. 概 要

1. 調査目的

都立特別支援学校の高等部生徒、卒業生及びその保護者等の高等部卒業後の進路等の意向を把握し、多様な進路のあり方についての検討材料とする。

2. 調査概要

■調査対象

都立特別支援学校の高等部生徒及びその保護者 6,000 件程度

都立特別支援学校の卒業生及びその家族又は支援者 4,500 件程度

■調査期間（回答受付期間）

令和7年7月7日から令和7年9月19日（在校生）

令和7年7月7日から令和7年9月12日（卒業生）

■調査方法

Web フォームによる回答とする。

■回収率

	配布数	有効回収数	有効回収率
高等部生徒及びその保護者	6,000	2,543	42.4%
卒業生及びその家族又は支援者	4,500	395	8.8%

■報告書の留意点・見方

- ・回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示しています。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方をしているため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、不明なものや無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

II. 高等部生徒及びその保護者の調査結果

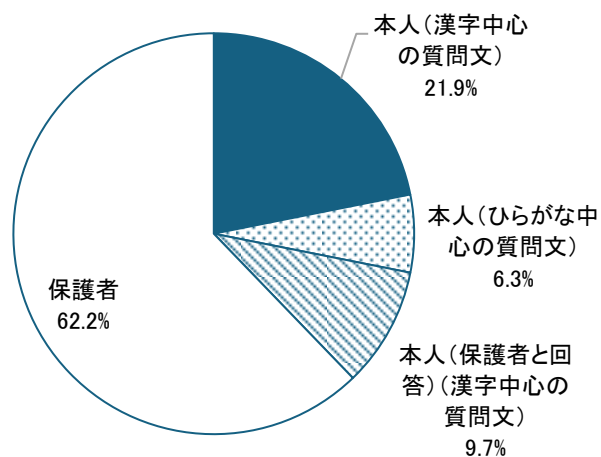
I 本人の属性

1-1 答える人を選んでください（本人 Q1、保護者 Q1）

アンケートに答える人については、「本人」が28.2%、「本人（保護者と回答）」が9.7%、「保護者」が62.2%でした。

カテゴリー	件数	割合(%)
本人（漢字中心の質問文）	556	21.9
本人（ひらがな中心の質問文）	159	6.3
本人（保護者と回答）（漢字中心の質問文）	246	9.7
保護者	1,582	62.2
全体	2,543	100.0

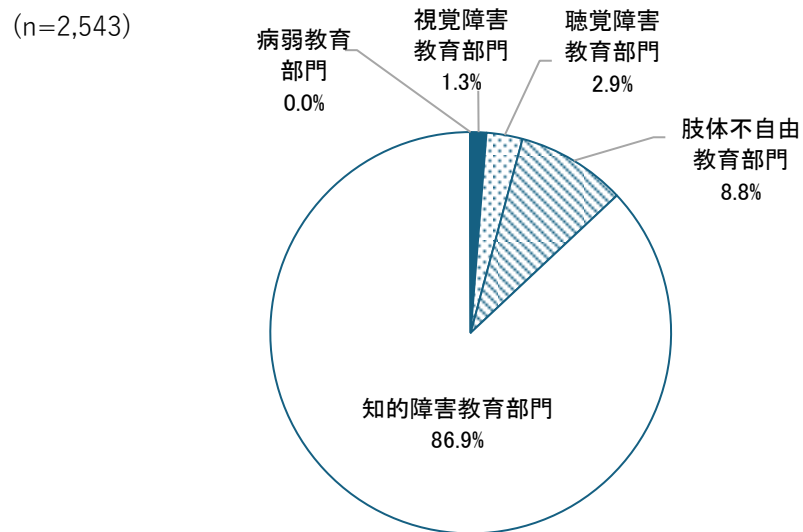
(n=2,543)



1-2 在籍している教育部門を御回答ください（本人 Q3、保護者 Q3）

お子さんの在籍している教育部門については、「知的障害教育部門」が86.9%で最も高く、次いで「肢体不自由教育部門」が8.8%、「聴覚障害教育部門」が2.9%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
視覚障害教育部門	32	1.3
聴覚障害教育部門	74	2.9
肢体不自由教育部門	225	8.8
知的障害教育部門	2,211	86.9
病弱教育部門	1	0.0
全体	2,543	100.0

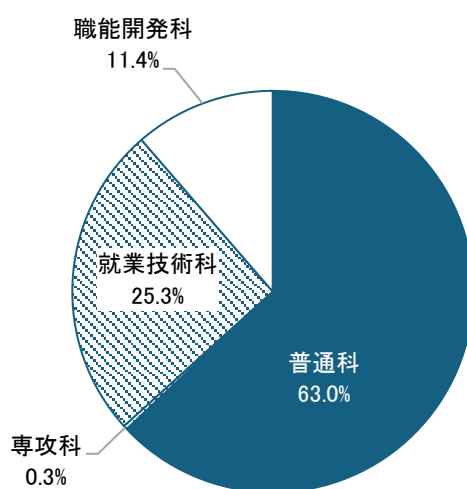


1-3 在籍している学科を御回答ください（本人 Q4、保護者 Q4）

お子さんの在籍している学科については、「普通科」が63.0%で最も高く、次いで「就業技術科」が25.3%、「職能開発科」が11.4%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
普通科	1,602	63.0
専攻科	8	0.3
就業技術科	644	25.3
職能開発科	289	11.4
全体	2,543	100.0

(n=2,543)

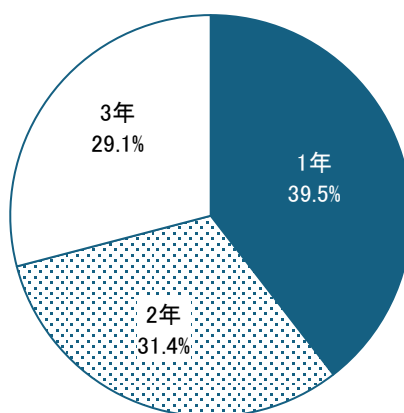


1-4 現在の学年を御回答ください（本人 Q5、保護者 Q5）

お子さんの現在の学年については、「1年」が39.5%で最も高く、次いで「2年」が31.4%、「3年」が29.1%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
1 年	1,005	39.5
2 年	799	31.4
3 年	739	29.1
全体	2,543	100.0

(n=2,543)

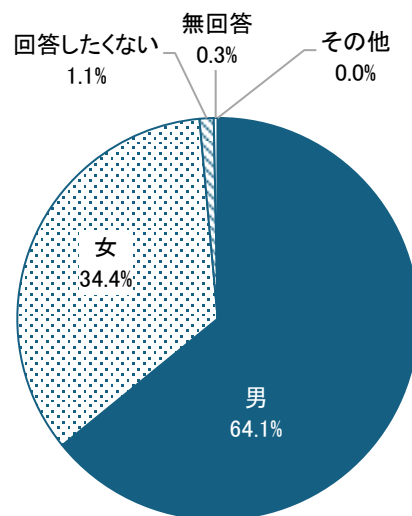


1-5 性別を御回答ください（本人 Q6、保護者 Q6）

お子さんの性別については、「男」が64.1%、「女」が34.4%でした。

カテゴリー	件数	割合(%)
男	1,631	64.1
女	875	34.4
回答したくない	29	1.1
無回答	8	0.3
その他	0	0.0
全体	2,543	100.0

(n=2,543)

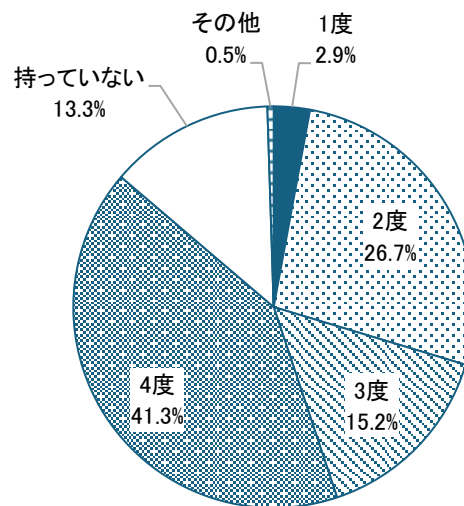


1-6 お子さんの愛の手帳の区分を御回答ください（保護者 Q8）

お子さんの愛の手帳の区分については、「4度」が41.3%で最も高く、次いで「2度」が26.7%、「3度」が15.2%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
1 度	46	2.9
2 度	423	26.7
3 度	241	15.2
4 度	654	41.3
持っていない	210	13.3
その他	8	0.5
全体	1,582	100.0

(n=1,582)



■ その他の内訳

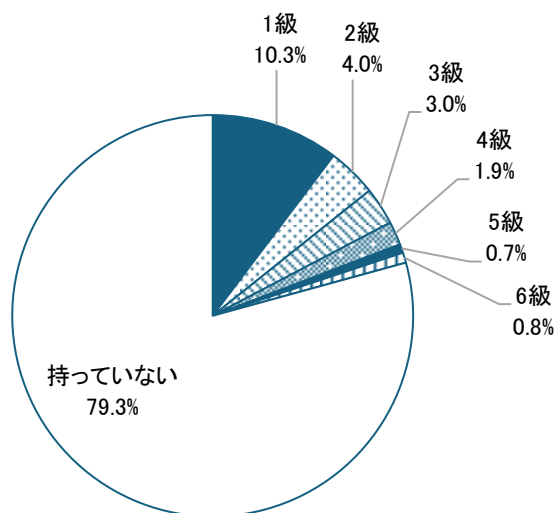
取得済(精神障害者保健福祉手帳 3 級、療育手帳など)	2
申請中・判定待ち	2
今年中に取得予定／近々取得予定	2
近々検査予定あり	1
取得済だが現状の障害程度と合っていない(更新が必要)	1

1-7 お子さんの身体障害者手帳の区分を御回答ください（保護者 Q9）

お子さんの身体障害者手帳の区分については、「持っていない」が79.3%で最も高く、次いで「1級」が10.3%、「2級」が4.0%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
1 級	163	10.3
2 級	63	4.0
3 級	48	3.0
4 級	30	1.9
5 級	11	0.7
6 級	13	0.8
持っていない	1,254	79.3
全体	1,582	100.0

(n=1,582)

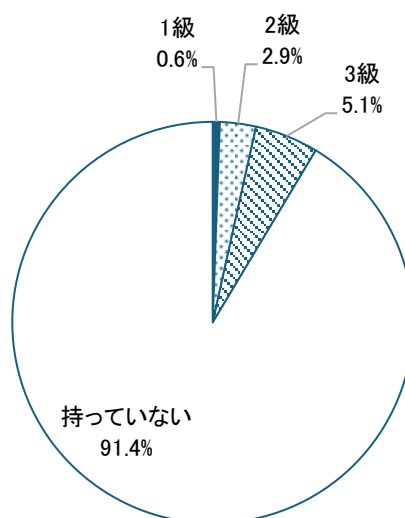


1-8 お子さんの精神障害者保健福祉手帳の区分を御回答ください（保護者 Q10）

お子さんの精神障害者保健福祉手帳の区分については、「持っていない」が91.4%で最も高く、次いで「3級」が5.1%、「2級」が2.9%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
1 級	9	0.6
2 級	46	2.9
3 級	81	5.1
持っていない	1,446	91.4
全体	1,582	100.0

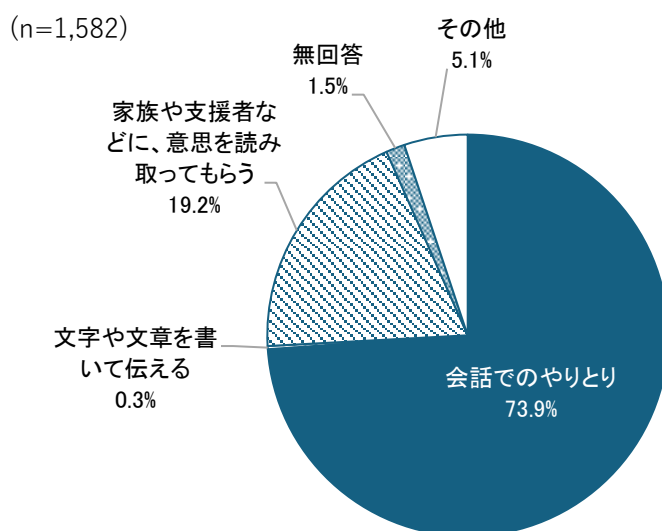
(n=1,582)



1-9 お子さんの主な意思の伝達方法を御回答ください（保護者 Q11）

お子さんの主な意思の伝達方法については、「会話でのやりとり」が73.9%で最も高く、次いで「家族や支援者などに、意思を読み取ってもらう」が19.2%、「その他」が5.1%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
会話でのやりとり	1,169	73.9
文字や文章を書いて伝える	4	0.3
家族や支援者などに、意思を読み取ってもらう	304	19.2
無回答	24	1.5
その他	81	5.1
全体	1,582	100.0



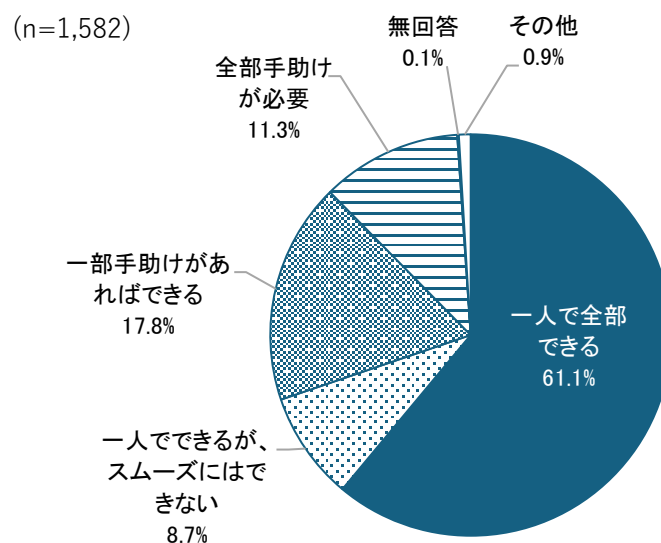
■ その他の内訳

手話・口話・サイン(手話単独／口話と併用／マカトンサイン含む)	17
会話中心(ただし補足的に文字・絵・図・家族や支援者の読み取りが必要)	16
ジェスチャー・表情・指差し・身振りなど非言語的手段	15
文字・絵カード・写真・文字盤・iPad アプリなど視覚支援ツール	12
意思表示が難しいなど	9
コミュニケーション機器(トーキングエイド、スマホ等)	3

1-10 お子さんの着替え、排せつ、食事などの動作能力を御回答ください（保護者 Q12）

お子さんの着替え、排せつ、食事などの動作能力については、「一人で全部できる」が61.1%で最も高く、次いで「一部手助けがあればできる」が17.8%、「全部手助けが必要」が11.3%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
一人で全部できる	966	61.1
一人でできるが、スムーズにはできない	138	8.7
一部手助けがあればできる	282	17.8
全部手助けが必要	179	11.3
無回答	2	0.1
その他	15	0.9
全体	1,582	100.0



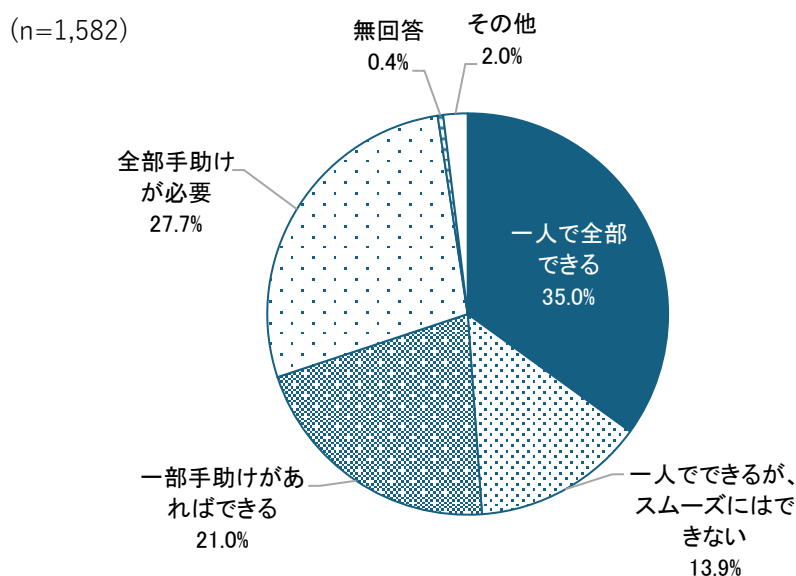
■ その他の内訳

基本的に自立しているが一部介助が必要(食事・着替え・排泄など部分的支援)	5
全介助が必要(排泄・入浴・食事含む、意思伝達も不可の場合あり)	4
ほぼ自立しているが不注意や失敗がある(チャック忘れ、ボタン掛け違い、排泄失敗など)	2
入浴や食事での部分的介助(食べこぼし対応、刻み食対応等)	2
生理や排便時の限定的な介助	2
状況によってできる時と介助が必要な時がある	1
不可能	1

1-11 お子さんの公共交通機関等の移動に必要な動作能力を御回答ください（保護者 Q13）

お子さんの公共交通機関等の移動に必要な動作能力については、「一人で全部できる」が35.0%で最も高く、次いで「全部手助けが必要」が27.7%、「一部手助けがあればできる」が21.0%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
一人で全部できる	553	35.0
一人でできるが、スムーズにはできない	220	13.9
一部手助けがあればできる	333	21.0
全部手助けが必要	438	27.7
無回答	7	0.4
その他	31	2.0
全体	1,582	100.0



■ その他の内訳

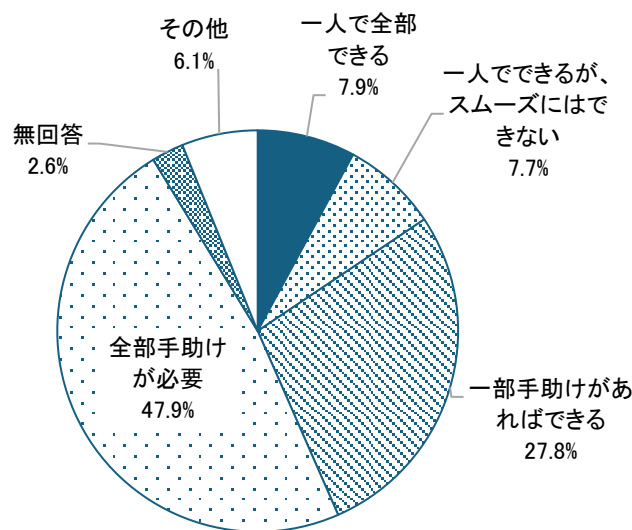
練習すれば一人で可能(繰り返し練習・区間限定含む)	10
決まったルート・通学区間なら可能(それ以外は困難)	6
基本的に一人で可能だが新しい場所は不安・要練習	3
公共交通機関の利用が困難または全介助が必要	3
一人での外出に強い不安があり送迎が必要	2
不可能	1
身体的には可能だが判断力がなく不安	1
自家用車で移動している	1
聴覚過敏のため制約あり	1

1-12 お子さんの買物や銀行での預金の出し入れなどの金銭の管理能力を御回答ください（保護者 Q14）

お子さんの買物や銀行での預金の出し入れなどの金銭の管理能力については、「全部手助けが必要」が47.9%で最も高く、次いで「一部手助けがあればできる」が27.8%、「一人で全部できる」が7.9%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
一人で全部できる	125	7.9
一人でできるが、スムーズにはできない	122	7.7
一部手助けがあればできる	440	27.8
全部手助けが必要	757	47.9
無回答	41	2.6
その他	97	6.1
全体	1,582	100.0

(n=1,582)



■ その他の内訳

買物はあるが、銀行での預金出し入れは未経験(今後教えれば可能とする回答含む)	58
買物はあるが金銭感覚が弱い／計算が難しい(千円出してお釣り方式、複数品目が難しいなど)	7
買物は一部手助けが必要(支払いサポートなど)	5
買物・銀行ともに不可能／金銭管理ができない	5
銀行利用は付き添いあり／部分的に可能	3
電子マネー等で買物可能(理解は不十分)	2
お小遣い等の小規模な金銭管理はできる	2

Ⅱ 卒業後の進路

2-1

学校を卒業後に希望する進路を選んでください（本人 Q8）

お子さんの高等部卒業後の進路希望を御回答ください（保護者 Q15）

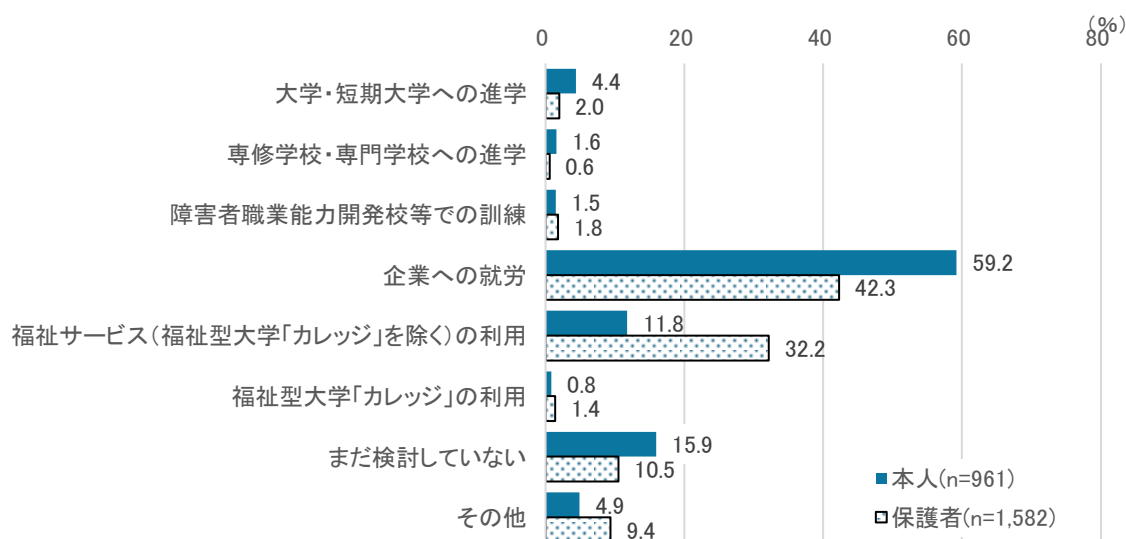
学校を卒業後に希望する進路について本人では、「企業への就労」が59.2%で最も高く、次いで「まだ検討していない」が15.9%、「福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用」が11.8%と続いています。

「大学・短期大学への進学」の回答数（本人）の内訳は、視覚障害教育部門3件、聴覚障害教育部門27件、肢体不自由教育部門7件、知的障害教育部門5件、病弱教育部門0件です。

お子さんの高等部卒業後の進路希望について保護者では、「企業への就労」が42.3%で最も高く、次いで「福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用」が32.2%、「まだ検討していない」が10.5%と続いています。

「大学・短期大学への進学」の回答数（保護者）の内訳は、視覚障害教育部門2件、聴覚障害教育部門18件、肢体不自由教育部門8件、知的障害教育部門3件、病弱教育部門0件です。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
大学・短期大学への進学	42	4.4	31	2.0
専修学校・専門学校への進学	15	1.6	9	0.6
障害者職業能力開発校等での訓練	14	1.5	28	1.8
企業への就労	569	59.2	669	42.3
福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用	113	11.8	509	32.2
福祉型大学「カレッジ」の利用	8	0.8	22	1.4
まだ検討していない	153	15.9	166	10.5
その他	47	4.9	148	9.4
全体	961	100.0	1,582	100.0



■ その他の内訳

生活介護	65
就労継続支援 B 型	30
福祉作業所・福祉施設(一般)	25
未定・検討中・不明	18
一般就労・企業就労	14
進学・専攻科・訓練校	12
入院・特定施設希望など	12
入所・グループホーム	8
就労移行支援	7
就労支援(種別未記載)	4

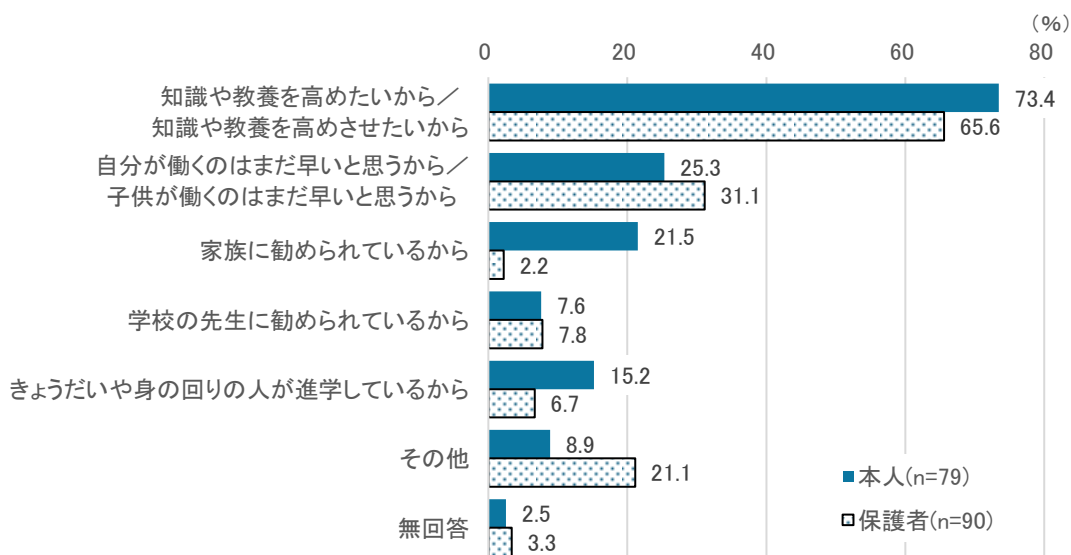
2-2

(2-1で「大学・短期大学への進学」「専修学校・専門学校への進学」「障害者職業能力開発校等での訓練」「福祉型大学「カレッジ」の利用」を回答した場合)
その理由を御回答ください(複数回答) (本人 Q9、保護者 Q16)

「大学・短期大学への進学」「専修学校・専門学校への進学」「障害者職業能力開発校等での訓練」「福祉型大学「カレッジ」の利用」を選んだ理由について本人では、「知識や教養を高めたいから」が73.4%で最も高く、次いで「自分が働くのはまだ早いと思うから」が25.3%、「家族に勧められているから」が21.5%と続いています。

保護者では、「知識や教養を高めさせたいから」が65.6%で最も高く、次いで「子供が働くのはまだ早いと思うから」が31.1%、「その他」が21.1%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
知識や教養を高めたいから／ 知識や教養を高めさせたいから	58	73.4	59	65.6
自分が働くのはまだ早いと思うから／ 子供が働くのはまだ早いと思うから	20	25.3	28	31.1
家族に勧められているから	17	21.5	2	2.2
学校の先生に勧められているから	6	7.6	7	7.8
きょうだいや身の回りの人が進学しているから	12	15.2	6	6.7
その他	7	8.9	19	21.1
無回答	2	2.5	3	3.3
全体	79	100.0	90	100.0



■ その他の内訳

本人の意思・希望の尊重(本人の意思/希望/進学意欲なし等)	6
学び・スキル・興味の追求(音楽/英語/卓球/専門/資格)	6
交友・社会経験の拡大(友人作り/同世代健常者との関わり/社会経験)	4
進路の不確実性・準備不足(具体イメージなし/先が見えない/準備期間不足)	4
将来の就労・自立志向(就労につなげる/自立のため)	3
適性見極め・個別最適化(適性に合う職/課題抽出と対策)	2
無回答	1

2-3

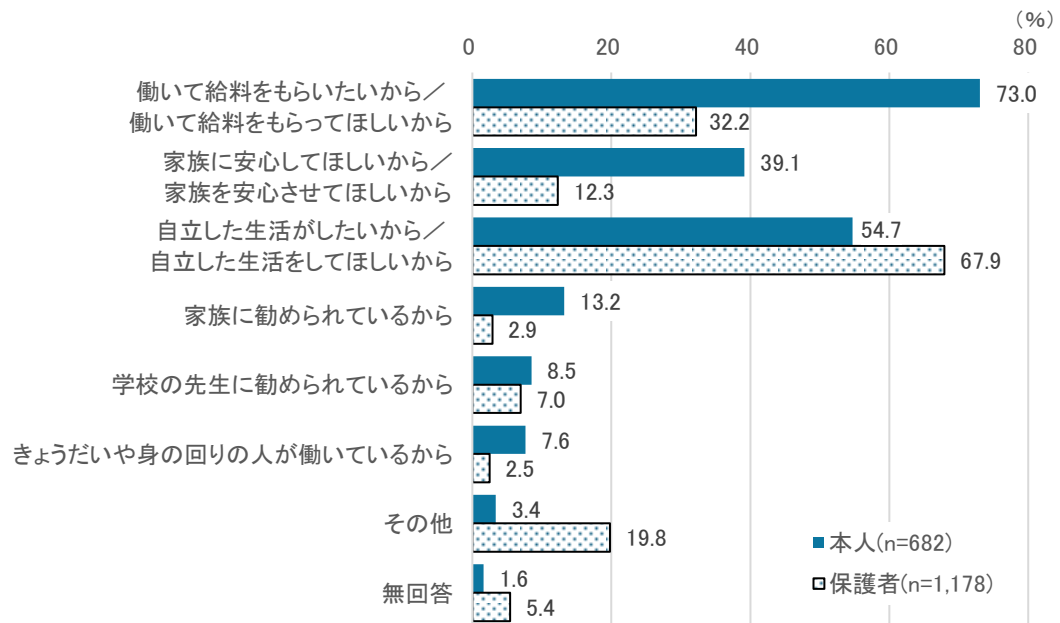
(2-1で「企業への就労」「福祉サービス(福祉型大学「カレッジ」を除く)の利用」を回答した場合)

その理由を御回答ください(複数回答)(本人 Q10、保護者 Q17)

「企業への就労」「福祉サービス(福祉型大学「カレッジ」を除く)の利用」を選んだ理由について本人では、「働いて給料をもらいたいから」が73.0%で最も高く、次いで「自立した生活がしたいから」が54.7%、「家族に安心してほしいから」が39.1%と続いています。

保護者では、「自立した生活をしてほしいから」が67.9%で最も高く、次いで「働いて給料をもらってほしいから」が32.2%、「その他」が19.8%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
働いて給料をもらいたいから／ 働いて給料をもらってほしいから	498	73.0	379	32.2
家族に安心してほしいから／ 家族を安心させてほしいから	267	39.1	145	12.3
自立した生活がしたいから／ 自立した生活をしてほしいから	373	54.7	800	67.9
家族に勧められているから	90	13.2	34	2.9
学校の先生に勧められているから	58	8.5	82	7.0
きょうだいや身の回りの人が働いているから	52	7.6	29	2.5
その他	23	3.4	233	19.8
無回答	11	1.6	64	5.4
全体	682	100.0	1,178	100.0



■ その他の内訳

選択肢が限られている／他に行ける場所がない	55
安心・安定した生活の場を求めて	28
社会参加・人との関わり	26
本人の意思・希望を尊重	22
本人の能力・特性に合っているから	19
将来の自立・親亡き後を見据えて	17
学び・経験を続けてほしい	12

2-4

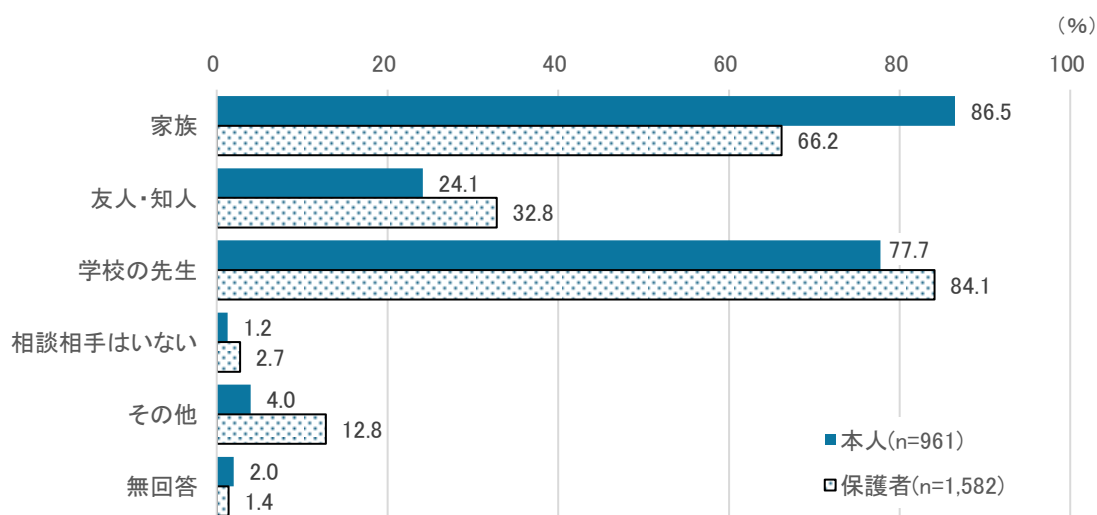
進路について相談できる人は誰ですか（複数回答）（本人 Q11）

進路について相談できる人を御回答ください（複数回答）（保護者 Q18）

進路について相談できる人について本人では、「家族」が86.5%で最も高く、次いで「学校の先生」が77.7%、「友人・知人」が24.1%と続いています。

保護者では、「学校の先生」が84.1%で最も高く、次いで「家族」が66.2%、「友人・知人」が32.8%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
家族	831	86.5	1,047	66.2
友人・知人	232	24.1	519	32.8
学校の先生	747	77.7	1,330	84.1
相談相手はいない	12	1.2	43	2.7
その他	38	4.0	202	12.8
無回答	19	2.0	22	1.4
全体	961	100.0	1,582	100.0



■ その他の内訳

施設職員（児童養護施設・寮・福祉園など）	53
相談支援員・相談員（計画相談含む）	52
デイサービス・放課後等デイスタッフ	38
医療関係者（主治医・病院スタッフ・療育機関など）	33
行政関係（区役所・福祉事務所・児相など）	20
学校関係者（先生・先輩・スクールカウンセラーなど）	18
親戚・家族・保護者の会	15
その他・民間	8
必要ない・分からない・未定	7
本人に相談、本人希望 など	2

2-5

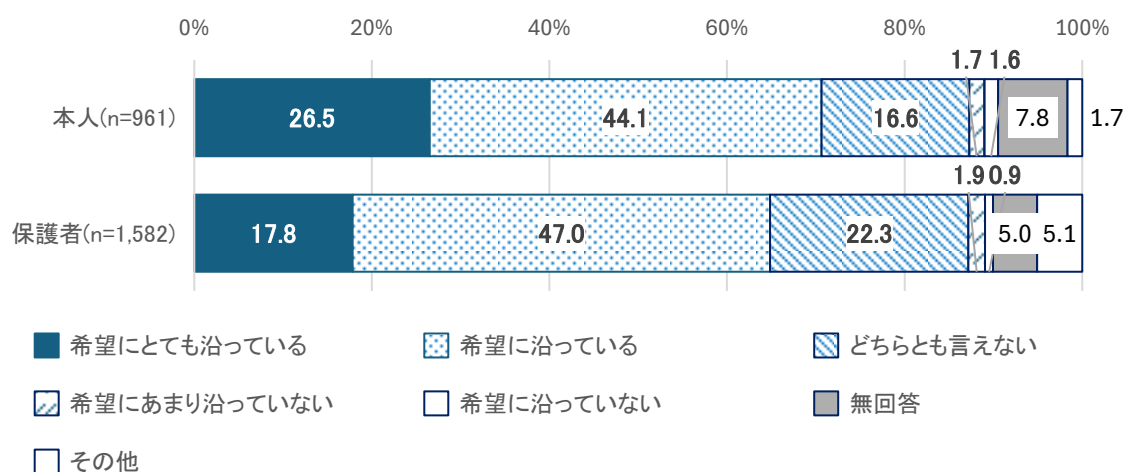
学校の進路指導は、希望する進路に沿っていますか（本人 Q12）

学校の進路指導は、お子さんの進路希望に沿っていますか（保護者 Q19）

学校の進路指導は、希望する進路に沿っているかについて本人では、「希望にととも沿っている」が26.5%、「希望に沿っている」が44.1%と、全体の70.6%が『希望に沿っている』と回答しました。

学校の進路指導は、お子さんの進路希望に沿っているかについて保護者では、「希望にととも沿っている」が17.8%、「希望に沿っている」が47.0%と、全体の64.8%が『希望に沿っている』と回答しました。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
希望にととも沿っている	255	26.5	282	17.8
希望に沿っている	424	44.1	744	47.0
どちらとも言えない	160	16.6	353	22.3
希望にあまり沿っていない	16	1.7	30	1.9
希望に沿っていない	15	1.6	14	0.9
無回答	75	7.8	79	5.0
その他	16	1.7	80	5.1
全体	961	100.0	1,582	100.0



■ その他の内訳

不明・分からない	37
未開始/未実施・学年早期(1年生等)	21
希望に沿う/沿わない・評価への不満	10
本人の意思・理解が不明/確認不可	6
選択肢不足/生活介護しかない等	5
学校の進路指導不足/情報不足・提案なし	4
不登校・外的事情で困難	3
医療的ケア・特性による壁	2
制度改善・選択肢拡充の要望	1

Ⅲ 卒業後の学びの場・方法の理解

3-1

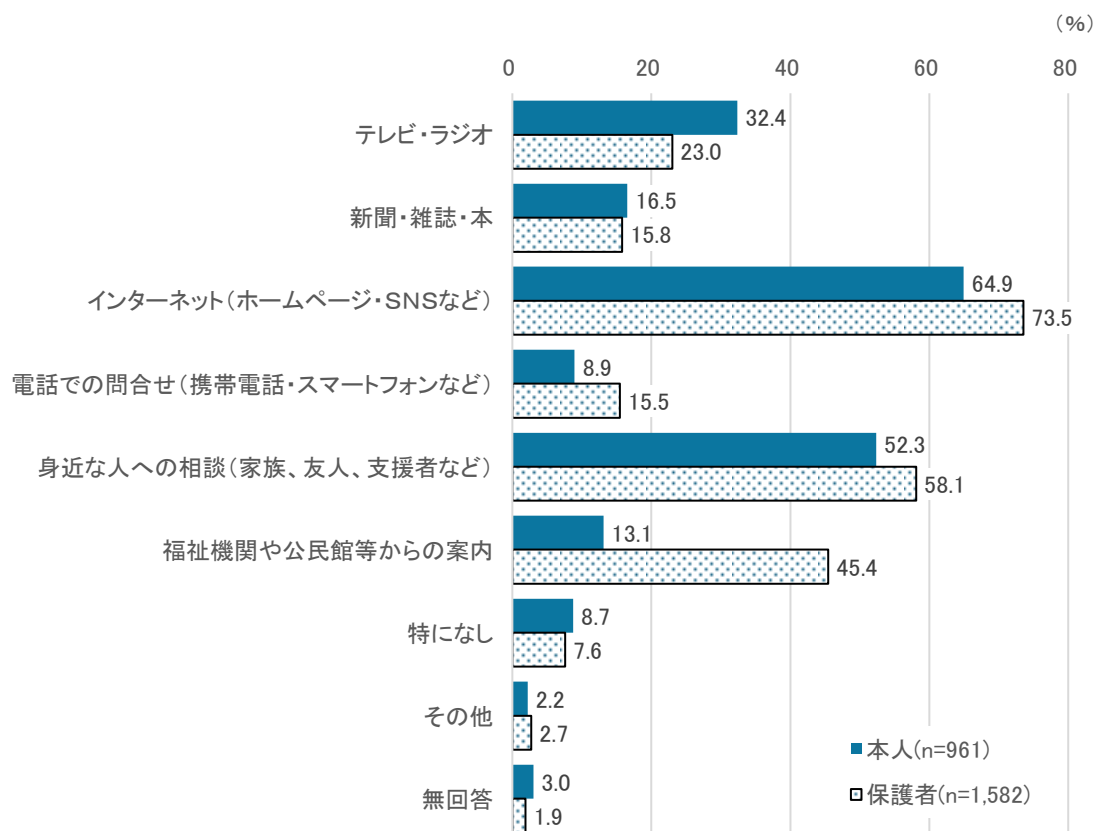
卒業後に学ぶための情報はどのようにして知りますか（複数回答）（本人 Q13）

卒業後に学ぶための情報の入手方法を御回答ください（複数回答）（保護者 Q20）

卒業後に学ぶための情報はどのようにして知りますかについて本人では、「インターネット（ホームページ・SNSなど）」が64.9%で最も高く、次いで「身近な人への相談（家族、友人、支援者など）」が52.3%、「テレビ・ラジオ」が32.4%と続いています。

卒業後に学ぶための情報の入手方法について保護者では、「インターネット（ホームページ・SNSなど）」が73.5%で最も高く、次いで「身近な人への相談（家族、友人、支援者など）」が58.1%、「福祉機関や公民館等からの案内」が45.4%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
テレビ・ラジオ	311	32.4	364	23.0
新聞・雑誌・本	159	16.5	250	15.8
インターネット(ホームページ・SNSなど)	624	64.9	1,163	73.5
電話での問合せ(携帯電話・スマートフォンなど)	86	8.9	245	15.5
身近な人への相談(家族、友人、支援者など)	503	52.3	919	58.1
福祉機関や公民館等からの案内	126	13.1	719	45.4
特になし	84	8.7	120	7.6
その他	21	2.2	43	2.7
無回答	29	3.0	30	1.9
全体	961	100.0	1,582	100.0



■ その他の内訳

学校・先生・校内提供(推薦/資料/ガイダンス/担任含む)	31
家族・保護者・親の会/患者会	8
不明・未検討・未決定	6
公的機関・行政・広報(役所/自治体/広報/掲示板)	5
自己学習・教材(ドリル/教科書/学校配布冊子・資料)	4
相談支援/放課後等デイサービス・療育など福祉サービス	4
就労関連機関・イベント(ハローワーク/講演会/OC)	3
インターネット・AI 等	2
民間の相談機関・口コミ	2
本人の特性・コミュニケーション上の困難	2
その他	6

3-2

卒業後に学びたいことを調べたり、実際に参加したりする上で困りそうなことはなんですか(複数回答)
(本人 Q14)

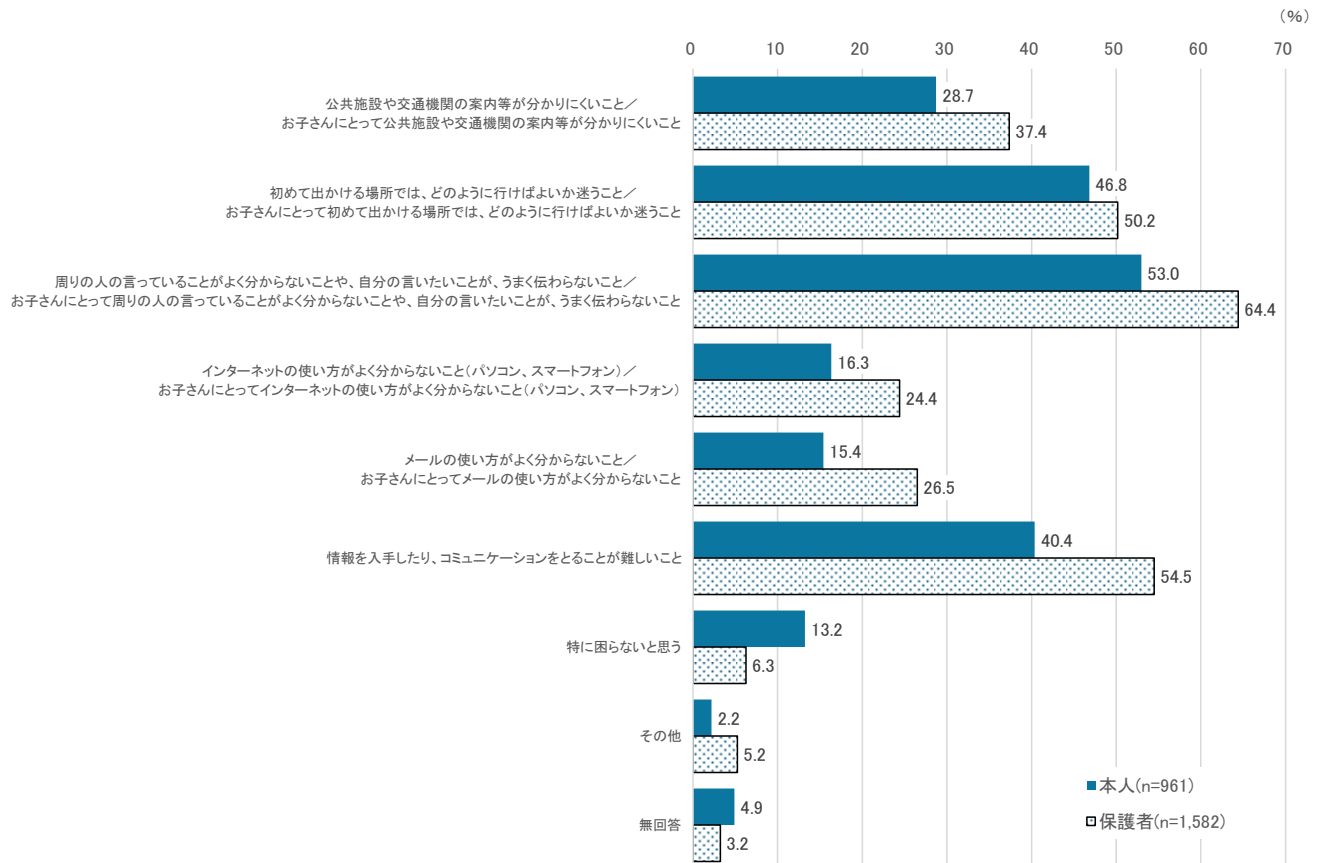
卒業後の学びの情報の入手や、活動団体とコミュニケーションをとる上で困りそうなことを御回答ください(複数回答)(保護者 Q21)

卒業後に学びたいことを調べたり、実際に参加したりする上で困りそうなことについて本人では、「周りの人の言っていることがよく分からないことや、自分の言いたいことが、うまく伝わらないこと」が53.0%で最も高く、次いで「初めて出かける場所では、どのように行けばよいか迷うこと」が46.8%、「情報を入手したり、コミュニケーションをとることが難しいこと」が40.4%と続いています。

卒業後の学びの情報の入手や、活動団体とコミュニケーションをとる上で困りそうなことについて保護者では、「お子さんにとって周りの人の言っていることがよく分からないことや、自分の言いたいことが、うまく伝わらないこと」が64.4%で最も高く、次いで「情報を入手したり、コミュニケーションをとることが難しいこと」が54.5%、「お子さんにとって初めて出かける場所では、どのように行けばよいか迷うこと」が50.2%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
公共施設や交通機関の案内等が分かりにくいこと ／お子さんにとって公共施設や交通機関の案内等が分かりにくいこと	276	28.7	591	37.4
初めて出かける場所では、どのように行けばよいか迷うこと ／お子さんにとって初めて出かける場所では、どのように行けばよいか迷うこと	450	46.8	794	50.2
周りの人の言っていることがよく分からないことや、自分の言いたいことが、うまく伝わらないこと ／お子さんにとって周りの人の言っていることがよく分からないことや、自分の言いたいことが、うまく伝わらないこと	509	53.0	1,019	64.4
インターネットの使い方がよく分からないこと(パソコン、スマートフォン) ／お子さんにとってインターネットの使い方がよく分からないこと(パソコン、スマートフォン)	157	16.3	386	24.4
メールの使い方がよく分からないこと ／お子さんにとってメールの使い方がよく分からないこと	148	15.4	419	26.5
情報を入手したり、コミュニケーションをとることが難しいこと	388	40.4	862	54.5
特に困らないと思う	127	13.2	99	6.3
その他	21	2.2	83	5.2
無回答	47	4.9	51	3.2
全体	961	100.0	1,582	100.0

高等部生徒及びその保護者



■ その他の内訳

保護者依存・介護負担	21
その他(未分類)	19
無回答・不明	17
情報収集・真偽判断の困難	14
移動・付き添い・アクセス障壁	11
動機・自己効力感の低さ(やる気/モチベ/自信)	10
コミュニケーション・表出理解の困難	9
読み書き・学習上の困難	6
身体・健康・疲労の問題	6
対人ストレス・行動上の課題	5
安全・対処スキル(トラブル/詐欺)	4
環境・制度・受け皿不足	3
友人がいない	3
居場所・受容感の不足	2
学校・支援者側の姿勢/情報不足	1

IV 在学中の学びの二ーズ

4-1

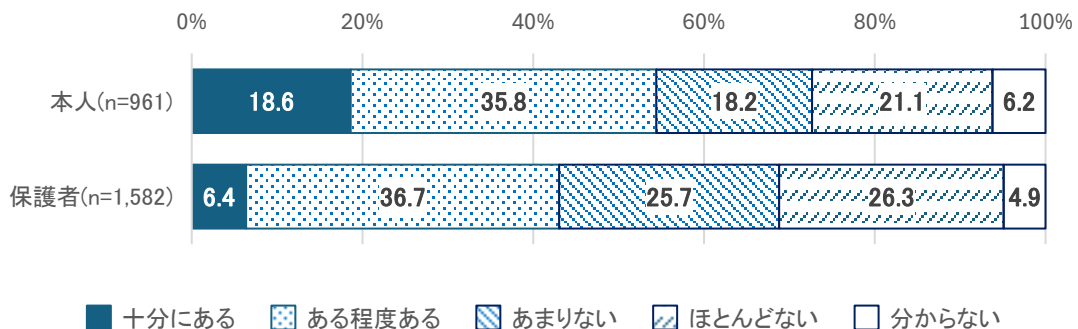
学校以外で勉強やスポーツなどの活動をする機会がありますか（本人 Q15）

お子さんの現在の学校以外の学びの機会を御回答ください（保護者 Q22）

学校以外で勉強やスポーツなどの活動をする機会について本人では、「十分にある」が18.6%、「ある程度ある」が35.8%と、全体の54.4%が『ある』と回答しました。

お子さんの現在の学校以外の学びの機会について保護者では、「十分にある」が6.4%、「ある程度ある」が36.7%と、全体の43.1%が『ある』と回答しました。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
十分にある	179	18.6	101	6.4
ある程度ある	344	35.8	580	36.7
あまりない	175	18.2	407	25.7
ほとんどない	203	21.1	416	26.3
分からない	60	6.2	78	4.9
全体	961	100.0	1,582	100.0



4-2

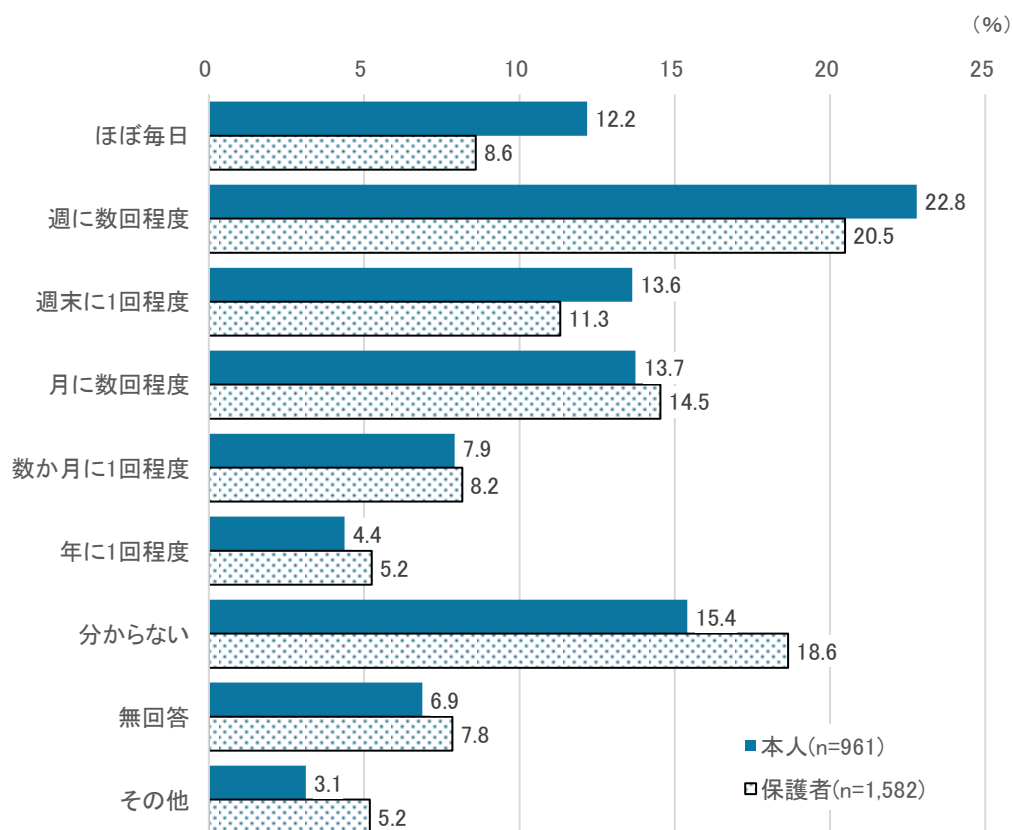
学校以外の勉強やスポーツなどをどれぐらいしていますか（本人 Q16）

お子さんの現在の学校以外の学びの機会の頻度を御回答ください（保護者 Q23）

学校以外の勉強やスポーツなどについて本人では、「週に数回程度」が22.8%で最も高く、次いで「分からない」が15.4%、「月に数回程度」が13.7%と続いています。

お子さんの現在の学校以外の学びの機会の頻度について保護者では、「週に数回程度」が20.5%で最も高く、次いで「分からない」が18.6%、「月に数回程度」が14.5%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
ほぼ毎日	117	12.2	136	8.6
週に数回程度	219	22.8	324	20.5
週末に1回程度	131	13.6	179	11.3
月に数回程度	132	13.7	230	14.5
数か月に1回程度	76	7.9	129	8.2
年に1回程度	42	4.4	83	5.2
分からない	148	15.4	295	18.6
無回答	66	6.9	124	7.8
その他	30	3.1	82	5.2
全体	961	100.0	1,582	100.0



■ その他の内訳

なし	71
頻度不明(通所・支援あり)	10
大会の前はほぼ毎日・週 5 程度	7
週 1 回程度	4
不定期(たまに)	3
年数回・季節限定	3
月 1～2 回程度	2
週 3 回程度	2
月 3～4 回程度	1
不明・回答不可	1
週 2 回程度	1
その他	7

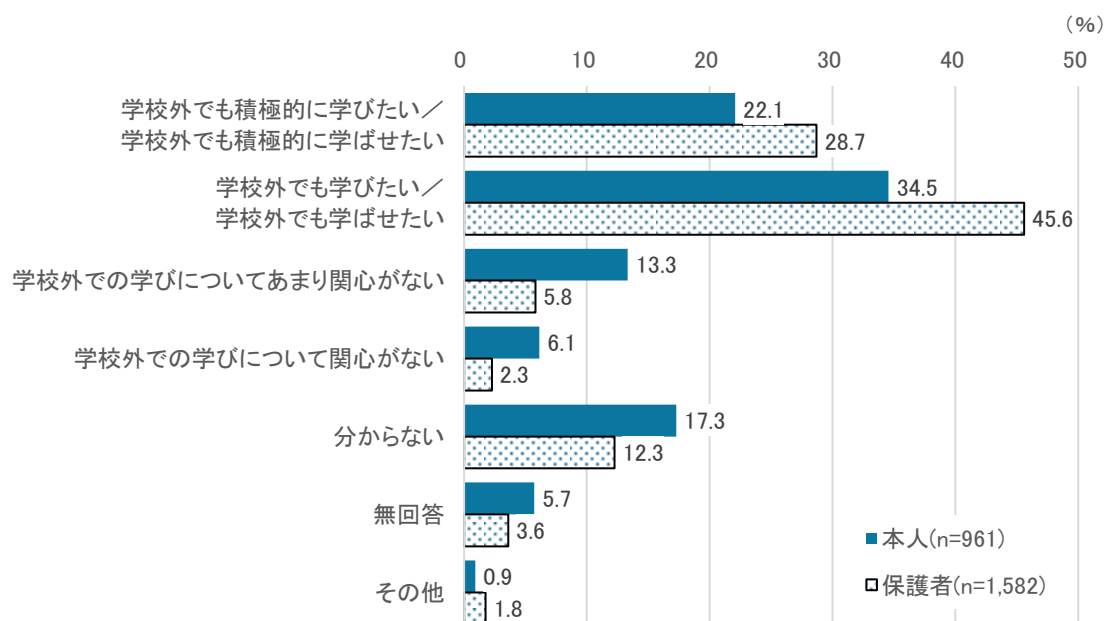
4-3

学校以外の場所で、勉強やスポーツ活動をどれくらい行いたいですか（本人 Q17）
 お子さんの学校以外の学びに関する要望を御回答ください（保護者 Q24）

学校以外の場所で、勉強やスポーツ活動をどれくらい行いたいのかについて本人では、「学校外でも学びたい」が34.5%で最も高く、次いで「学校外でも積極的に学びたい」が22.1%、「分からない」が17.3%と続いています。

お子さんの学校以外の学びに関する要望について保護者では、「学校外でも学ばせたい」が45.6%で最も高く、次いで「学校外でも積極的に学ばせたい」が28.7%、「分からない」が12.3%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
学校外でも積極的に学びたい／ 学校外でも積極的に学ばせたい	212	22.1	454	28.7
学校外でも学びたい／ 学校外でも学ばせたい	332	34.5	721	45.6
学校外での学びについてあまり関心がない	128	13.3	92	5.8
学校外での学びについて関心がない	59	6.1	36	2.3
分からない	166	17.3	194	12.3
無回答	55	5.7	57	3.6
その他	9	0.9	28	1.8
全体	961	100.0	1,582	100.0



■ その他の内訳

学校外でも学びたい・スポーツ等	7
本人の意思・やる気次第	7
支援を希望	6
関心なし・理解困難	4
環境・条件による制約	4
学校生活で十分・充実	3
情報不足・機会不足	3
不明・無回答	2

4-4

（４－３で「学校外でも積極的に学びたい」「学校外でも学びたい」「学校外でも積極的に学ばせたい」「学校外でも学ばせたい」を回答した場合）

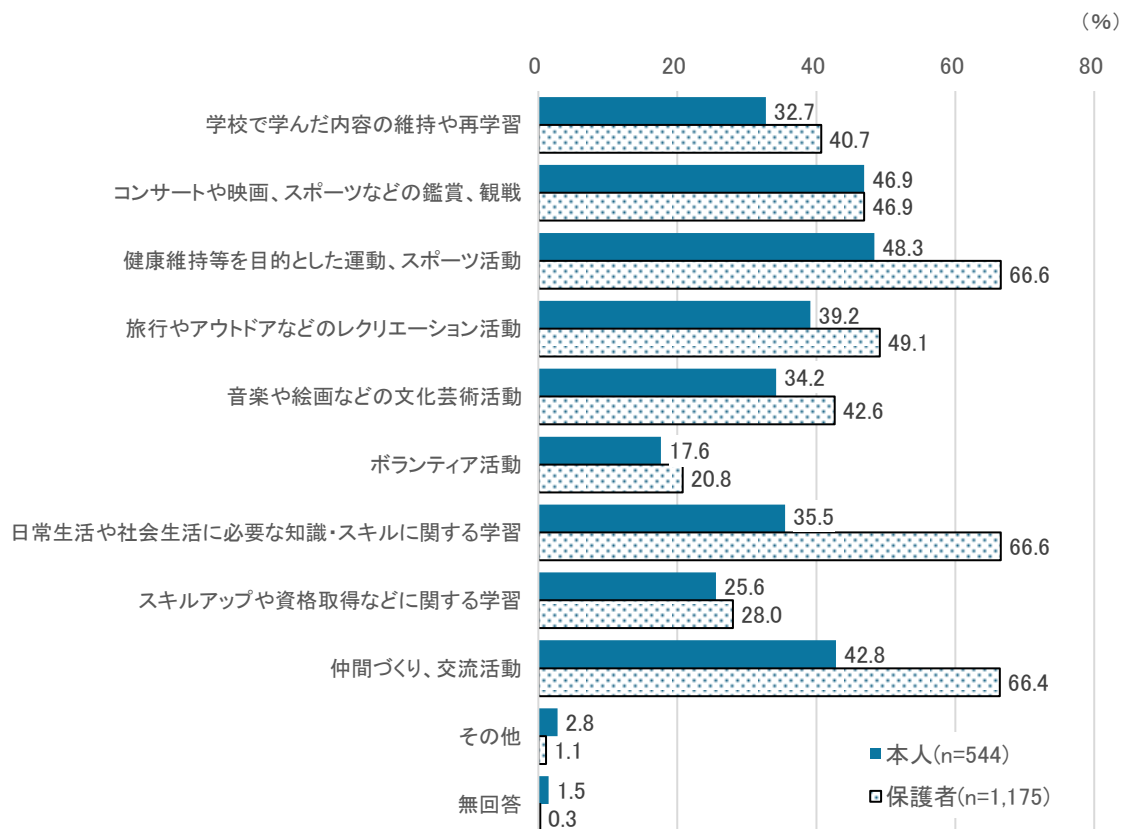
学校以外で学びたい内容を教えてください（複数回答）（本人 Q18）

お子さんに学校以外で学ばせたい内容を御回答ください（複数回答）（保護者 Q25）

学校以外で学びたい内容について本人では、「健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動」が48.3%で最も高く、次いで「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦」が46.9%、「仲間づくり、交流活動」が42.8%と続いています。

お子さんに学校以外で学ばせたい内容について保護者では、「健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動」と「日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習」が66.6%で最も高く、次いで「仲間づくり、交流活動」が66.4%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦」が46.9%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
学校で学んだ内容の維持や再学習	178	32.7	478	40.7
コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	255	46.9	551	46.9
健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	263	48.3	782	66.6
旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動	213	39.2	577	49.1
音楽や絵画などの文化芸術活動	186	34.2	501	42.6
ボランティア活動	96	17.6	244	20.8
日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	193	35.5	782	66.6
スキルアップや資格取得などに関する学習	139	25.6	329	28.0
仲間づくり、交流活動	233	42.8	780	66.4
その他	15	2.8	13	1.1
無回答	8	1.5	3	0.3
全体	554	100.0	1,175	100.0



■ その他の内訳

音楽・ダンス	5
語学・学問(フランス語・英語以外含む)	5
スポーツ・体を動かす活動	4
生活スキル・趣味	4
科学・技術	3
人間関係・コミュニケーション	3
鉄道・旅行関連	2
その他(不満・要望系)	2

4-5

(4-3で「学校外でも積極的に学びたい」「学校外でも学びたい」「学校外でも積極的に学ばせたい」「学校外でも学ばせたい」を回答した場合)

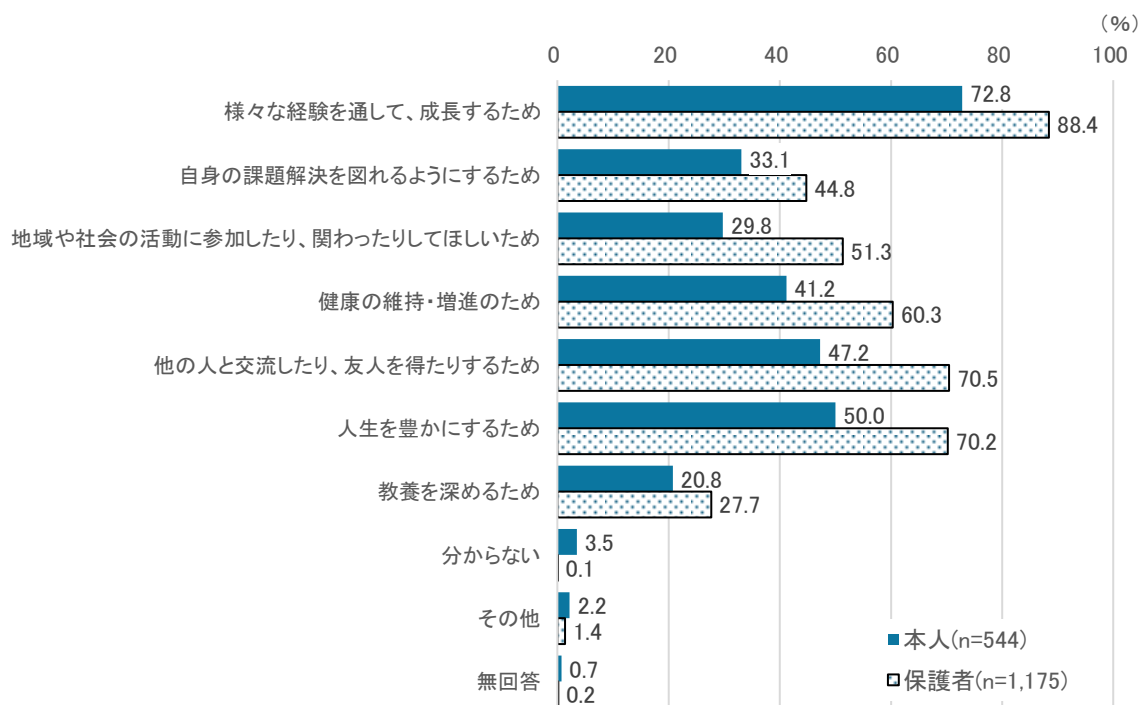
学びたい理由を教えてください(複数回答)(本人 Q19)

学ばせたい理由を教えてください(複数回答)(保護者 Q26)

学校以外で学びたい内容について本人では、「様々な経験を通して、成長するため」が72.8%で最も高く、次いで「人生を豊かにするため」が50.0%、「他の人と交流したり、友人を得たりするため」が47.2%と続いています。

保護者では、「様々な経験を通して、成長するため」が88.4%で最も高く、次いで「他の人と交流したり、友人を得たりするため」が70.5%、「人生を豊かにするため」が70.2%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
様々な経験を通して、成長するため	396	72.8	1,039	88.4
自身の課題解決を図れるようにするため	180	33.1	526	44.8
地域や社会の活動に参加したり、関わったりしてほしいため	162	29.8	603	51.3
健康の維持・増進のため	224	41.2	709	60.3
他の人と交流したり、友人を得たりするため	257	47.2	828	70.5
人生を豊かにするため	272	50.0	825	70.2
教養を深めるため	113	20.8	325	27.7
分からない	19	3.5	1	0.1
その他	12	2.2	16	1.4
無回答	4	0.7	2	0.2
全体	544	100.0	1,175	100.0



■ その他の内訳

学習・進学(基礎学力、進学準備、継続学習)	6
趣味・特技(音楽、絵画、ダンス、技術向上など)	6
将来の自立・就職(就職、自活、社会ルール習得など)	6
自己実現・表現(理想の自分、表現、憧れ、生きる意味)	5
生活充実・健康(余暇充実、運動不足解消、生活リズム)	4
家族・支援(家族のレスパイト、家庭教育の継続、親からの自立訓練)	4

4-6

(4-3で「学校外での学びについてあまり関心がない」「学校外での学びについて関心がない」を回答した場合)

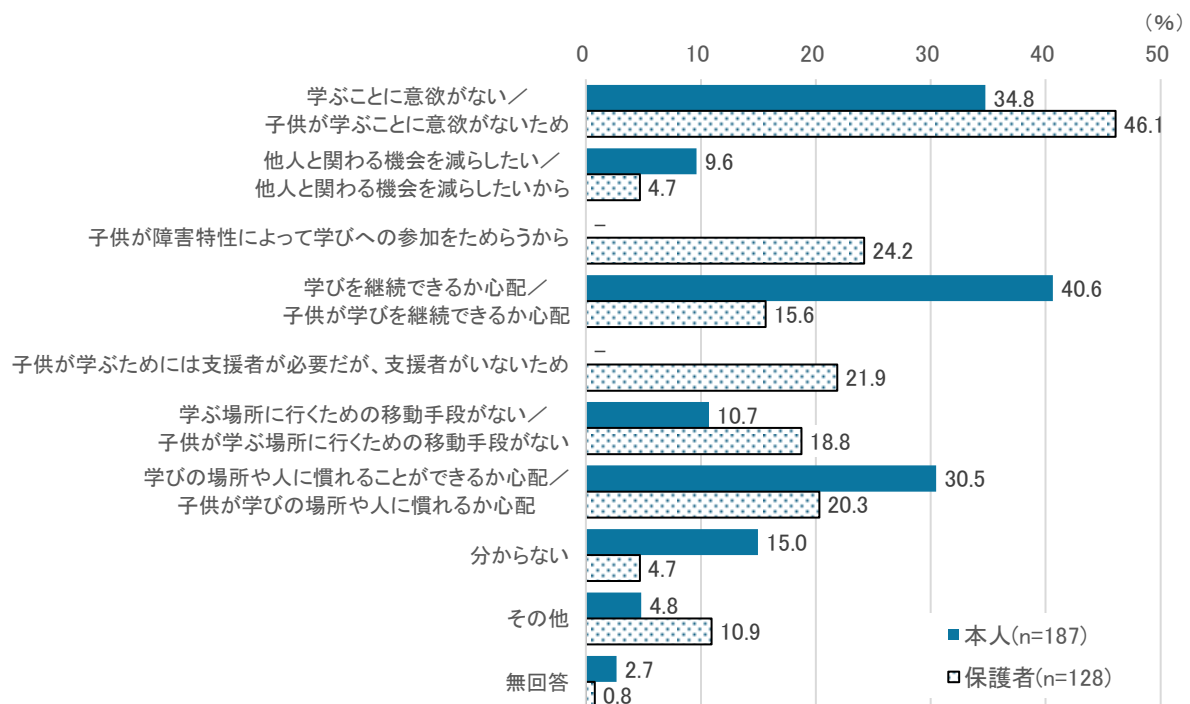
学びに関心がない理由を教えてください(複数回答)(本人 Q20)

学びに関心がない理由を御回答ください(複数回答)(保護者 Q27)

学びに関心がない理由について本人では、「学びを継続できるか心配」が40.6%で最も高く、次いで「学ぶことに意欲がない」が34.8%、「学びの場所や人に慣れることができるか心配」が30.5%と続いています。

保護者では、「子供が学ぶことに意欲がないため」が46.1%で最も高く、次いで「子供が障害特性によって学びへの参加をためらうから」が24.2%、「子供が学ぶためには支援者が必要だが、支援者がいないため」が21.9%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
学ぶことに意欲がない／ 子供が学ぶことに意欲がないため	65	34.8	59	46.1
他人と関わる機会を減らしたい／ 他人と関わる機会を減らしたいから	18	9.6	6	4.7
子供が障害特性によって学びへの参加をためらうから	—	—	31	24.2
学びを継続できるか心配／ 子供が学びを継続できるか心配	76	40.6	20	15.6
子供が学ぶためには支援者が必要だが、支援者がいないため	—	—	28	21.9
学ぶ場所に行くための移動手段がない／ 子供が学ぶ場所に行くための移動手段がない	20	10.7	24	18.8
学びの場所や人に慣れることができるか心配／ 子供が学びの場所や人に慣れるか心配	57	30.5	26	20.3
分からない	28	15.0	6	4.7
その他	9	4.8	14	10.9
無回答	5	2.7	1	0.8
全体	187	100.0	128	100.0



■ その他の内訳

学校・部活で多忙(学校や部活で時間がない、忙しい)	5
学びたい内容が不明・必要性を感じない(やりたいことがない、必要ないと感じる)	5
体力・健康上の理由(体力がない、休みたい)	3
友人関係・余暇優先(友達と遊びたい、リラックスしたい、家で過ごしたい)	3
環境・機会不足(学びの場がない、障害特性に合わない)	2
費用・負担(お金や負担が大きい)	2
その他(心配など)	2

V 卒業後の学びのニーズ

5-1

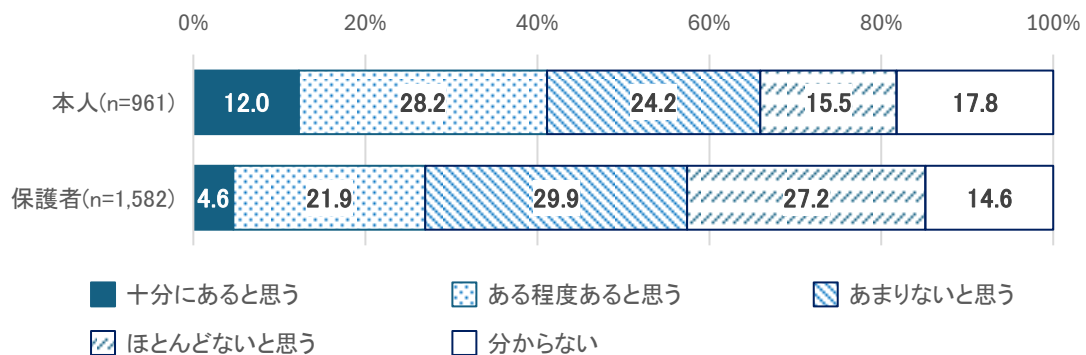
高等部を卒業した後、勉強をしたり、スポーツをしたりする機会はどれくらいありそうですか
(本人 Q21)

お子さんの高等部卒業後の学びの機会の状況を御回答ください(保護者 Q28)

高等部を卒業した後、勉強をしたり、スポーツをしたりする機会について本人では、「十分にあると思う」が12.0%、「ある程度あると思う」が28.2%と、全体の40.2%が『あると思う』と回答しました。

お子さんの高等部卒業後の学びの機会の状況について保護者では、「十分にあると思う」が4.6%、「ある程度あると思う」が21.9%と、全体の26.5%が『あると思う』と回答しました

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
十分にあると思う	115	12.0	72	4.6
ある程度あると思う	271	28.2	347	21.9
あまりないと思う	233	24.2	473	29.9
ほとんどないと思う	149	15.5	431	27.2
分からない	171	17.8	231	14.6
無回答	22	2.3	28	1.8
全体	961	100.0	1,582	100.0



5-2

高等部を卒業した後、勉強をしたり、スポーツをしたりする機会がどれくらい欲しいですか

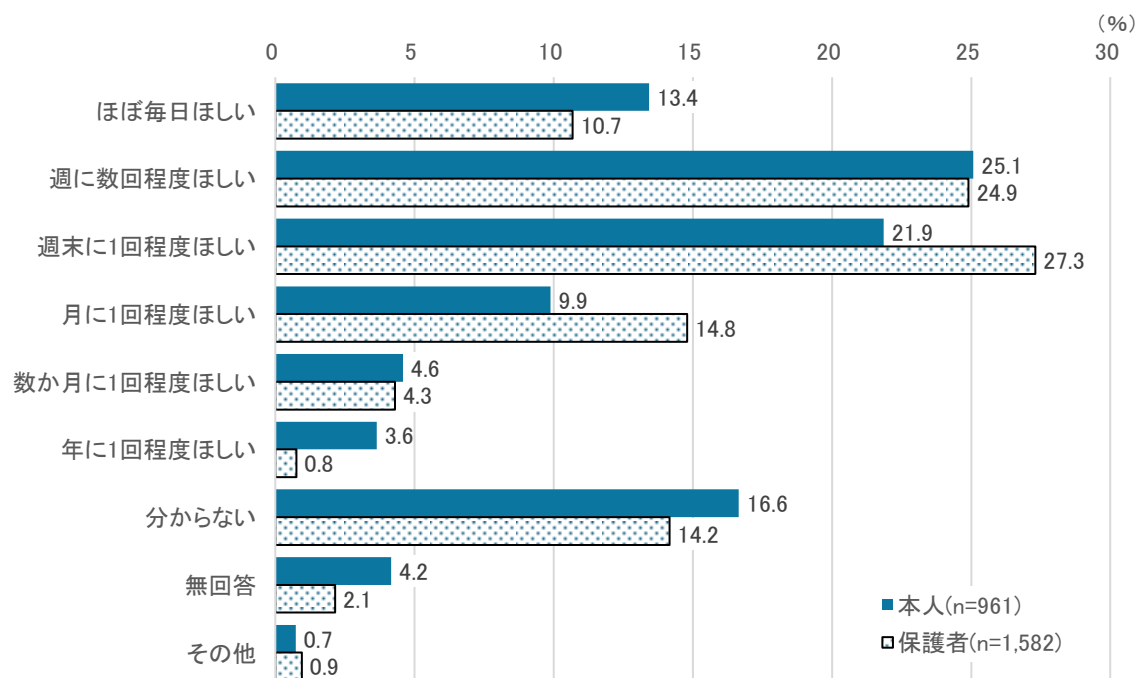
(本人 Q22)

お子さんの高等部卒業後の学びの機会はどの程度あると良いですか (保護者 Q29)

高等部を卒業した後、勉強をしたり、スポーツをしたりする機会がどれくらい欲しいかについて本人では、「週に数回程度ほしい」が25.1%で最も高く、次いで「週末に1回程度ほしい」が21.9%、「分からない」が16.6%と続いています。

お子さんの高等部卒業後の学びの機会はどの程度あると良いかについて保護者では、「週末に1回程度ほしい」が27.3%で最も高く、次いで「週に数回程度ほしい」が24.9%、「月に1回程度ほしい」が14.8%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
ほぼ毎日ほしい	129	13.4	169	10.7
週に数回程度ほしい	241	25.1	394	24.9
週末に1回程度ほしい	210	21.9	432	27.3
月に1回程度ほしい	95	9.9	234	14.8
数か月に1回程度ほしい	44	4.6	68	4.3
年に1回程度ほしい	35	3.6	12	0.8
分からない	160	16.6	224	14.2
無回答	40	4.2	34	2.1
その他	7	0.7	15	0.9
全体	961	100.0	1,582	100.0



■ その他の内訳

欲しくない・したくない(不要)	4
本人の希望・ペースに合わせたい(具体頻度なし)	4
週 1 回程度(平日・週末問わず／レクリエーション含む)	3
月 2 回程度	2
社会との接点・継続的な場を希望(デイサービス終了後など)	2
月 2～4 回程度	1
月数回(平日・土日関係なし)	1
数か月に 1 回程度	1
10 回(頻度不明、単発的希望とも解釈可能)	1

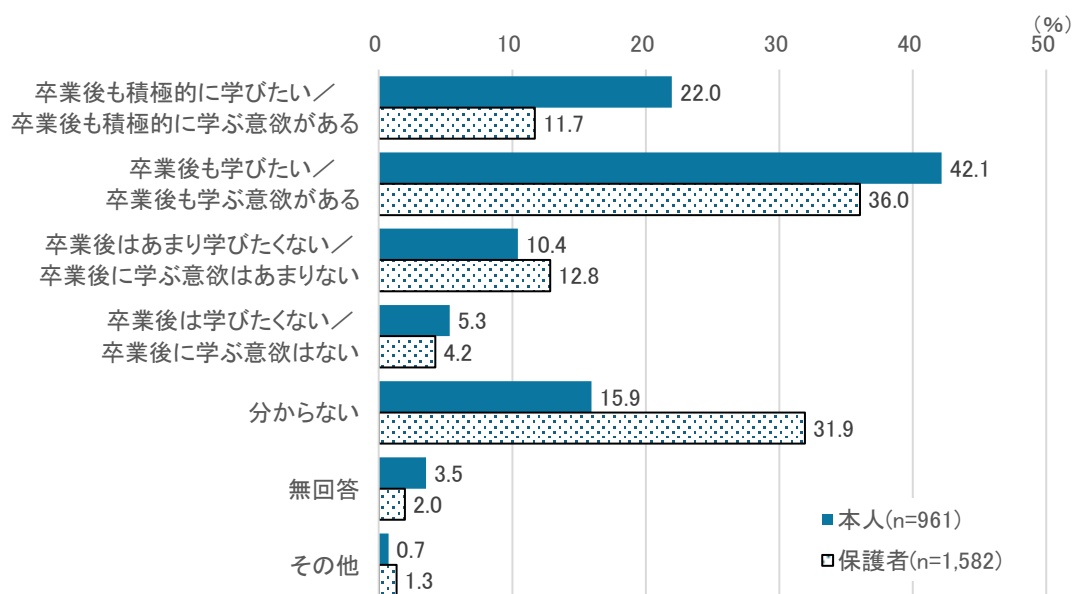
高等部を卒業した後、勉強やスポーツを学びたいですか（本人 Q23）

お子さんの高等部卒業後の学びへの意欲を御回答ください（保護者 Q30）

高等部を卒業した後、勉強やスポーツを学びたいかについて本人では、「卒業後も学びたい」が42.1%で最も高く、次いで「卒業後も積極的に学びたい」が22.0%、「分からない」が15.9%と続いています。

お子さんの高等部卒業後の学びへの意欲について保護者では、「卒業後も学ぶ意欲がある」が36.0%で最も高く、次いで「分からない」が31.9%、「卒業後に学ぶ意欲はあまりない」が12.8%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
卒業後も積極的に学びたい／ 卒業後も積極的に学ぶ意欲がある	211	22.0	185	11.7
卒業後も学びたい／ 卒業後も学ぶ意欲がある	405	42.1	570	36.0
卒業後はあまり学びたくない／ 卒業後に学ぶ意欲はあまりない	100	10.4	203	12.8
卒業後は学びたくない／ 卒業後に学ぶ意欲はない	51	5.3	67	4.2
分からない	153	15.9	505	31.9
無回答	34	3.5	31	2.0
その他	7	0.7	21	1.3
全体	961	100.0	1,582	100.0



■ その他の内訳

学びたい・意欲あり(勉強・スポーツ・好きなこと等)	10
本人の意欲は不明(親や支援者の判断・見立て含む)	7
条件付きで学びたい(物事による／時と場合／息抜き程度／詰め込みすぎず等)	5
学びたくない・意欲なし	3
就職や生活に直結する学びのみ意欲あり	2
大学進学など高等教育を希望	2

5-4

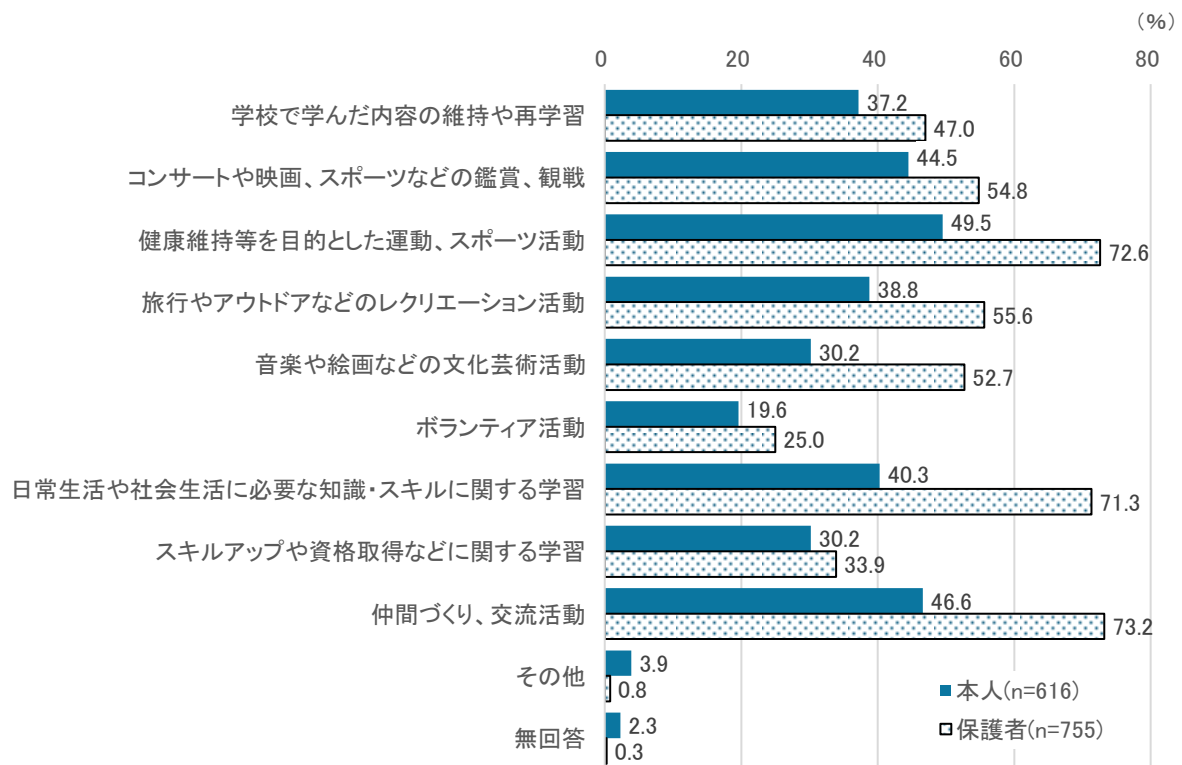
（5-3で「卒業後も積極的に学びたい」「卒業後も学びたい」「卒業後も積極的に学ぶ意欲がある」「卒業後も学ぶ意欲がある」を回答した場合）
 高等部卒業後に学びたいことを教えてください（複数回答）（本人 Q24）
 お子さんの高等部卒業後に学ばせたい内容を御回答ください（複数回答）（保護者 Q31）

「卒業後も積極的に学びたい」「卒業後も学びたい」を選んだ、高等部卒業後に学びたいことについて本人では、「健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動」が49.5%で最も高く、次いで「仲間づくり、交流活動」が46.6%、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦」が44.5%、と続いています。

「卒業後も積極的に学ぶ意欲がある」「卒業後も学ぶ意欲がある」を選んだ、お子さんの高等部卒業後に学ばせたい内容について保護者では、「仲間づくり、交流活動」が73.2%で最も高く、次いで「健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動」が72.6%、「日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習」が71.3%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
学校で学んだ内容の維持や再学習	229	37.2	355	47.0
コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	274	44.5	414	54.8
健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	305	49.5	548	72.6
旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動	239	38.8	420	55.6
音楽や絵画などの文化芸術活動	186	30.2	398	52.7
ボランティア活動	121	19.6	189	25.0
日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	248	40.3	538	71.3
スキルアップや資格取得などに関する学習	185	30.2	256	33.9
仲間づくり、交流活動	287	46.6	553	73.2
その他	24	3.9	6	0.8
無回答	14	2.3	2	0.3
全体	616	100.0	755	100.0

高等部生徒及びその保護者



■ その他の内訳

職業・就職関連(声優等)	4
学力・一般教養(一般常識、基礎学力、社会知識、外国語、プログラミング、PC等)	9
スポーツ・体力(空手、剣道、ダンス、スノボ、ハンドサッカー、スポーツ技術等)	7
芸術・表現(音楽、作曲、写真等)	2
生活スキル・自己啓発(金銭管理、消費者知識、自己肯定感等)	5
その他	3

5-5

（5-3で「卒業後も積極的に学びたい」「卒業後も学びたい」「卒業後も積極的に学ぶ意欲がある」「卒業後も学ぶ意欲がある」を回答した場合）

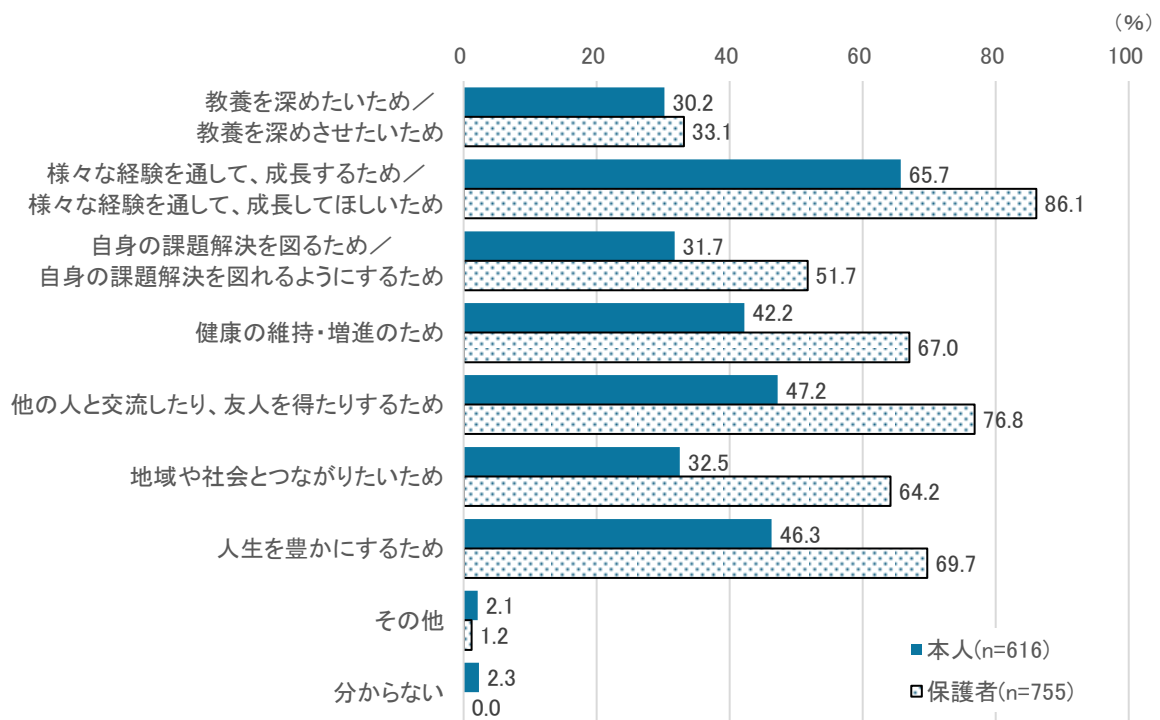
高等部卒業後に学びたい理由を教えてください（複数回答）（本人 Q25）

高等部卒業後に学ばせたい理由を御回答ください（複数回答）（保護者 Q32）

「卒業後も積極的に学びたい」「卒業後も学びたい」を選んだ、高等部卒業後に学びたい理由について本人では、「様々な経験を通して、成長するため」が65.7%で最も高く、次いで「他の人と交流したり、友人を得たりするため」が47.2%、「人生を豊かにするため」が46.3%と続いています。

「卒業後も積極的に学ぶ意欲がある」「卒業後も学ぶ意欲がある」を選んだ、高等部卒業後に学ばせたい理由について保護者では、「様々な経験を通して、成長してほしいため」が86.1%で最も高く、次いで「他の人と交流したり、友人を得たりするため」が76.8%、「人生を豊かにするため」が69.7%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
教養を深めたいため／ 教養を深めさせたいため	186	30.2	250	33.1
様々な経験を通して、成長するため／ 様々な経験を通して、成長してほしいため	405	65.7	650	86.1
自身の課題解決を図るため／ 自身の課題解決を図れるようにするため	195	31.7	390	51.7
健康の維持・増進のため	260	42.2	506	67.0
他の人と交流したり、友人を得たりするため	291	47.2	580	76.8
地域や社会とつながりたいため	200	32.5	485	64.2
人生を豊かにするため	285	46.3	526	69.7
その他	13	2.1	9	1.2
分からない	14	2.3	0	0.0
全体	616	100.0	755	100.0



■ その他の内訳

趣味(スポーツ、音楽など)	5
自己成長・学力維持(学んだ内容を忘れない、学力確保、進路のためなど)	6
仕事・就職(社会貢献、就職のためなど)	6
成長機会・余暇(余暇充実、生涯学びの機会など)	2
制度・社会的意見(選択肢拡大など)	3

III. 卒業生及びその保護者等の調査結果

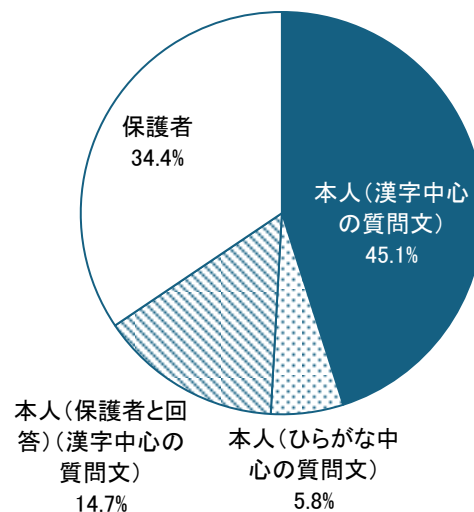
I 本人の属性

1-1 答える人を選んでください（本人 Q1、保護者 Q1）

アンケートに答える人については、「本人」が50.9%、「本人（保護者と回答）」が14.7%、「保護者」が34.4%でした。

カテゴリー	件数	割合(%)
本人（漢字中心の質問文）	178	45.1
本人（ひらがな中心の質問文）	23	5.8
本人（保護者と回答）（漢字中心の質問文）	58	14.7
保護者	136	34.4
全体	395	100.0

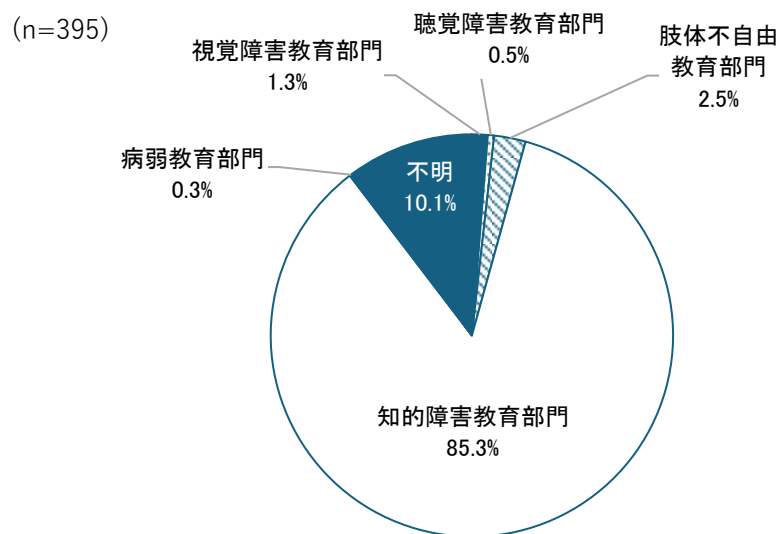
(n=395)



1-2 卒業した教育部門を選んでください（本人 Q3、保護者 Q3）

お子さんの卒業した教育部門については、「知的障害教育部門」が85.3%で最も高く、次いで「不明」が10.1%、「肢体不自由教育部門」が2.5%と続いています。

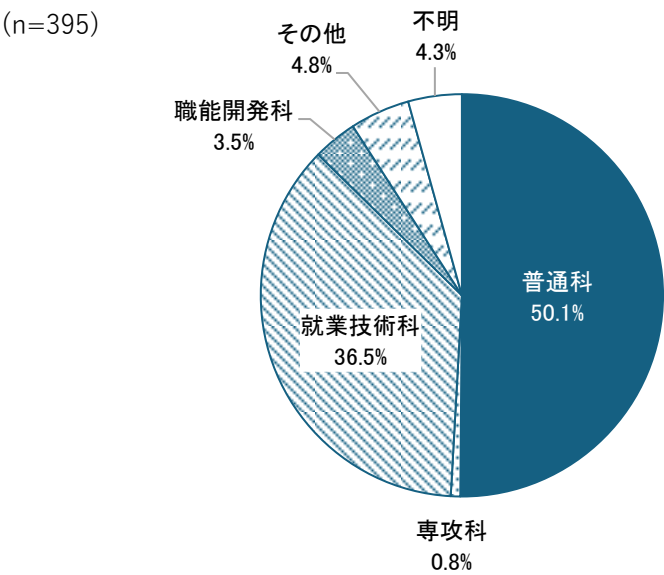
カテゴリー	件数	割合(%)
視覚障害教育部門	5	1.3
聴覚障害教育部門	2	0.5
肢体不自由教育部門	10	2.5
知的障害教育部門	337	85.3
病弱教育部門	1	0.3
不明	40	10.1
全体	395	100.0



1-3 卒業した学科を選んでください（本人 Q4、保護者 Q4）

お子さんの卒業した学科については、「普通科」が50.1%で最も高く、次いで「就業技術科」が36.5%、「その他」が4.8%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
普通科	198	50.1
専攻科	3	0.8
就業技術科	144	36.5
職能開発科	14	3.5
その他	19	4.8
不明	17	4.3
全体	395	100.0



■その他の内訳

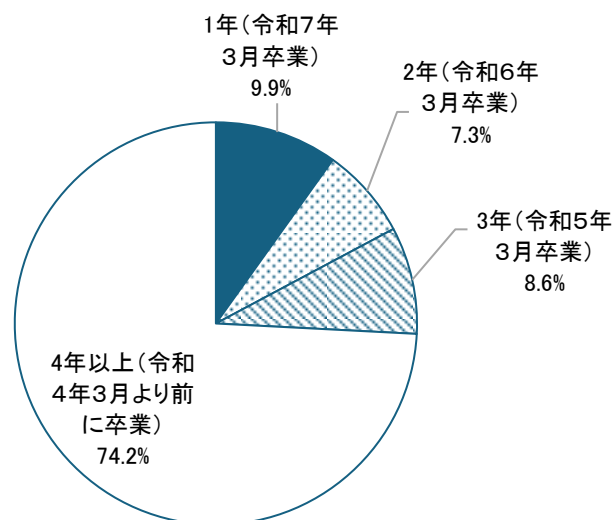
特定の学科・コースの記載（高等部、大学部、環境・サービス科、生産園芸）	4
学科は存在しない／ないと思う	2
重度重複学級	1
分からない	1
なし	1

1-4 卒業後の年数を選んでください（本人 Q5、保護者 Q5）

お子さんの卒業後の年数については、「4年以上（令和4年3月より前に卒業）」が74.2%で最も高く、次いで「1年（令和7年3月卒業）」が9.9%、「3年（令和5年3月卒業）」が8.6%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
1年(令和7年3月卒業)	39	9.9
2年(令和6年3月卒業)	29	7.3
3年(令和5年3月卒業)	34	8.6
4年以上(令和4年3月より前に卒業)	293	74.2
全体	395	100.0

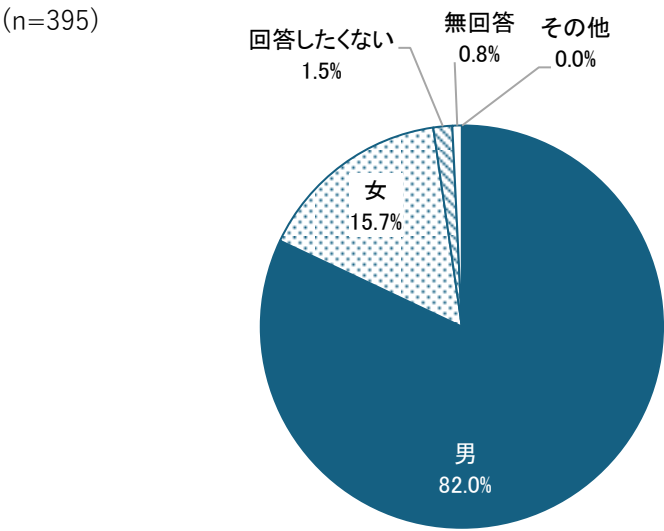
(n=395)



1-5 性別を選んでください（本人 Q6、保護者 Q6）

お子さんの性別については、「男」が82.0%、「女」が15.7%でした。

カテゴリー	件数	割合(%)
男	324	82.0
女	62	15.7
回答したくない	6	1.5
無回答	3	0.8
その他	0	0.0
全体	395	100.0

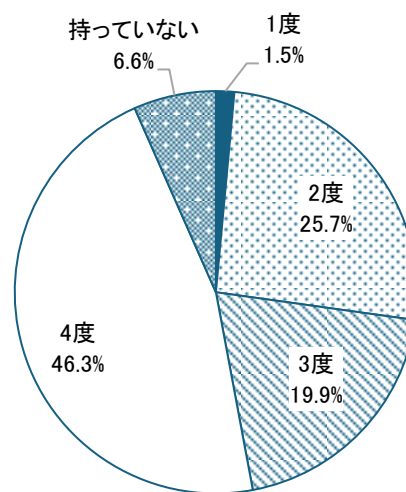


1-6 お子さんの愛の手帳の区分を御回答ください（保護者 Q8）

お子さんの愛の手帳の区分については、「4度」が46.3%で最も高く、次いで「2度」が25.7%、「3度」が19.9%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
1 度	2	1.5
2 度	35	25.7
3 度	27	19.9
4 度	63	46.3
持っていない	9	6.6
全体	136	100.0

(n=136)

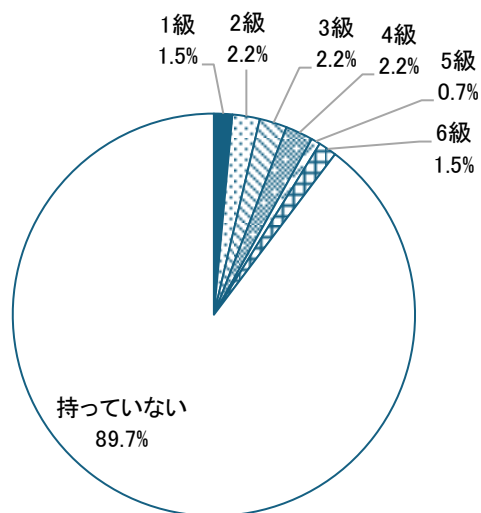


1-7 お子さんの身体障害者手帳の区分を御回答ください（保護者 Q9）

お子さんの身体障害者手帳の区分については、「持っていない」が89.7%で最も高く、次いで「2級」、「3級」、「4級」が2.2%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
1 級	2	1.5
2 級	3	2.2
3 級	3	2.2
4 級	3	2.2
5 級	1	0.7
6 級	2	1.5
持っていない	122	89.7
全体	136	100.0

(n=136)

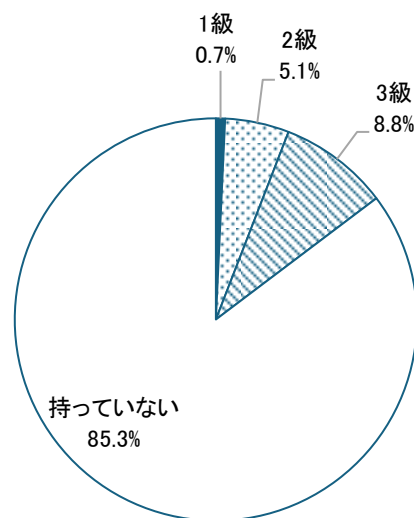


1-8 お子さんの精神障害者保健福祉手帳の区分を御回答ください（保護者 Q10）

お子さんの精神障害者保健福祉手帳の区分については、「持っていない」が85.3%で最も高く、次いで「3級」が8.8%、「2級」が5.1%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
1 級	1	0.7
2 級	7	5.1
3 級	12	8.8
持っていない	116	85.3
全体	136	100.0

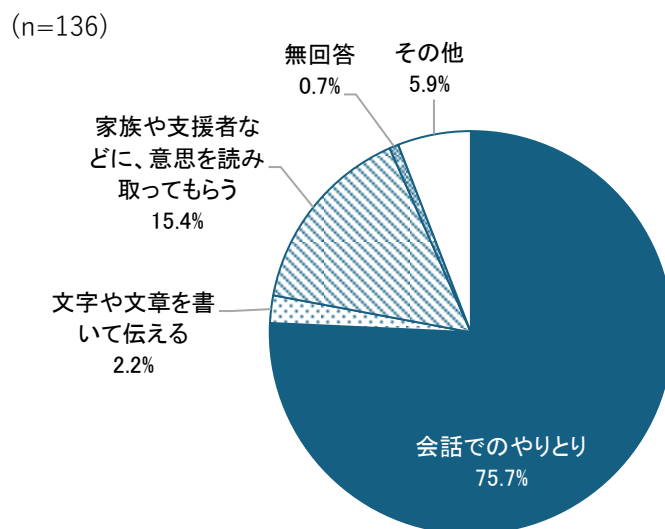
(n=136)



1-9 お子さんの主な意思の伝達方法を御回答ください（保護者 Q11）

お子さんの主な意思の伝達方法については、「会話でのやりとり」が75.7%で最も高く、次いで「家族や支援者などに、意思を読み取ってもらう」が15.4%、「その他」が5.9%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
会話でのやりとり	103	75.7
文字や文章を書いて伝える	3	2.2
家族や支援者などに、意思を読み取ってもらう	21	15.4
無回答	1	0.7
その他	8	5.9
全体	136	100.0



■ その他の内訳

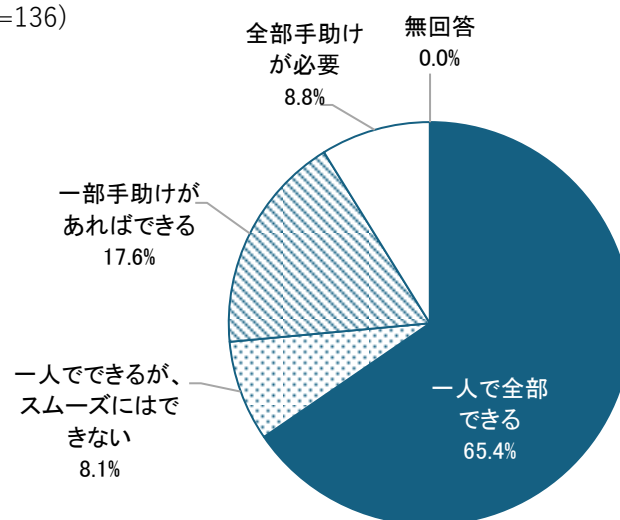
会話による意思疎通（通常は会話、補助的に筆談や短文）	3
非言語的手段（視線、指差しなどによる反応）	2
絵カード・写真カードを用いた意思伝達	1
単語・二語文レベルの理解、介助者が主に対応	1
意思疎通が困難	1

1-10 お子さんの着替え、排せつ、食事などの動作能力を御回答ください（保護者 Q12）

お子さんの着替え、排せつ、食事などの動作能力については、「一人で全部できる」が65.4%で最も高く、次いで「一部手助けがあればできる」が17.6%、「全部手助けが必要」が8.8%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
一人で全部できる	89	65.4
一人でできるが、スムーズにはできない	11	8.1
一部手助けがあればできる	24	17.6
全部手助けが必要	12	8.8
無回答	0	0.0
全体	136	100.0

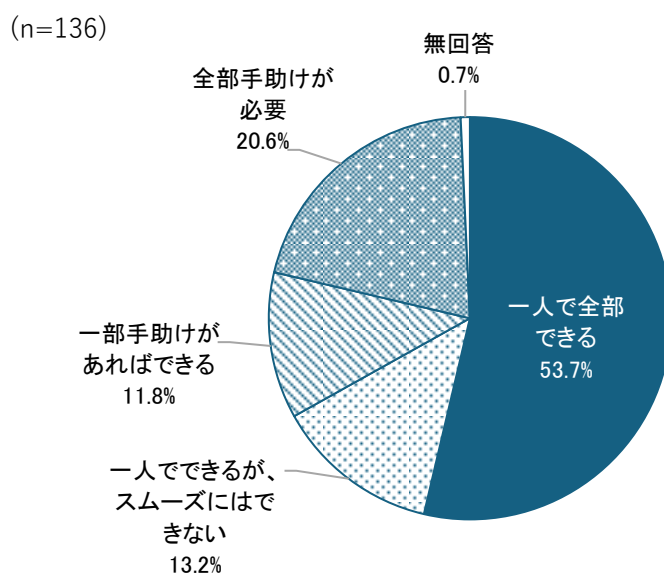
(n=136)



1-11 お子さんの公共交通機関等の移動に必要な動作能力を御回答ください（保護者 Q13）

お子さんの公共交通機関等の移動に必要な動作能力については、「一人で全部できる」が53.7%で最も高く、次いで「全部手助けが必要」が20.6%、「一人でできるが、スムーズにはできない」が13.2%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
一人で全部できる	73	53.7
一人でできるが、スムーズにはできない	18	13.2
一部手助けがあればできる	16	11.8
全部手助けが必要	28	20.6
無回答	1	0.7
全体	136	100.0

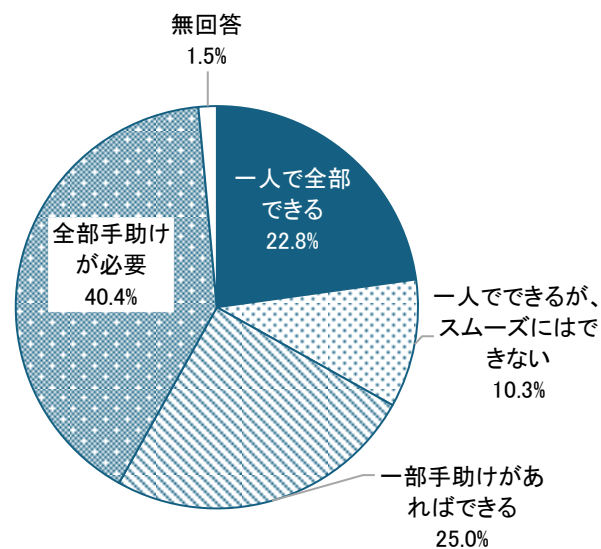


1-12 お子さんの買物や銀行での預金の出し入れなどの金銭の管理能力を御回答ください（保護者 Q14）

お子さんの買物や銀行での預金の出し入れなどの金銭の管理能力については、「全部手助けが必要」が40.4%で最も高く、次いで「一部手助けがあればできる」が25.0%、「一人で全部できる」が22.8%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
一人で全部できる	31	22.8
一人でできるが、スムーズにはできない	14	10.3
一部手助けがあればできる	34	25.0
全部手助けが必要	55	40.4
無回答	2	1.5
全体	1,503	100.0

(n=136)



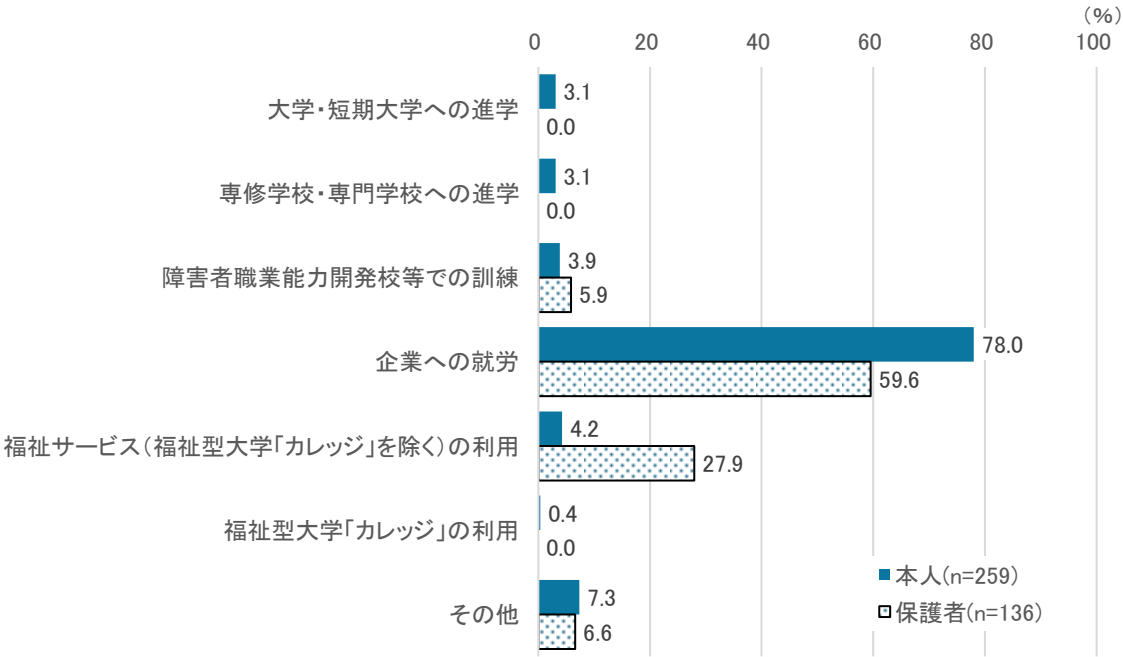
Ⅱ 在学中の進路希望と現在の進路の相違

2-1	高等部に通っていた時の希望していた進路を選んでください（本人 Q8）
	お子さんの高等部在学中の進路希望を御回答ください（保護者 Q15）

高等部に通っていた時の希望していた進路について本人では、「企業への就労」が78.0%で最も高く、次いで「その他」が7.3%、「福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用」が4.2%と続いています。

お子さんの高等部在学中の進路希望について保護者では、「企業への就労」が59.6%で最も高く、次いで「福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用」が27.9%、「その他」が6.6%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
大学・短期大学への進学	8	3.1	0	0.0
専修学校・専門学校への進学	8	3.1	0	0.0
障害者職業能力開発校等での訓練	10	3.9	8	5.9
企業への就労	202	78.0	81	59.6
福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用	11	4.2	38	27.9
福祉型大学「カレッジ」の利用	1	0.4	0	0.0
その他	19	7.3	9	6.6
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

特にない／決めていなかった／覚えていない	9
特定の就職先・実習先	7
生活介護施設・生活介護	6
障害者通所施設	4
特例子会社での就職	1
パソコンスキルを活かせる場所・伸び幅を広げられる場所	1
中学時代の見学経験がきっかけ	1
本人の意思が確認できず不明	1

2-2

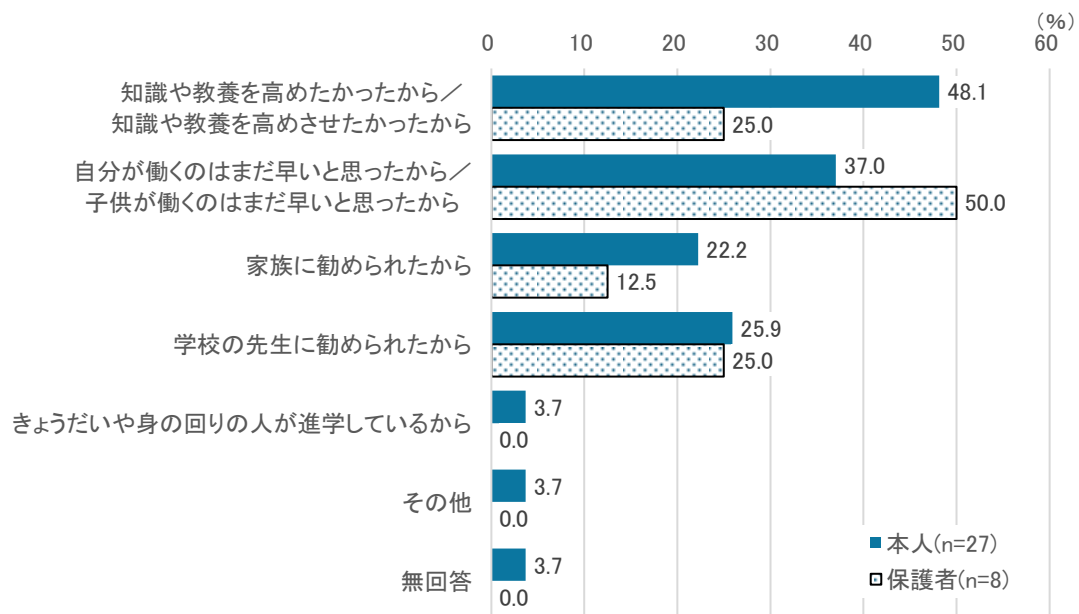
（2-1で「大学・短期大学への進学」「専修学校・専門学校への進学」「障害者職業能力開発校等での訓練」「福祉型大学「カレッジ」の利用」を回答した場合）

その理由を御回答ください（複数回答）（本人 Q9、保護者 Q16）

「大学・短期大学への進学」「専修学校・専門学校への進学」「障害者職業能力開発校等での訓練」「福祉型大学「カレッジ」の利用」を選んだ理由について本人では、「知識や教養を高めたいから」が48.1%で最も高く、次いで「自分が働くのはまだ早いと思うから」が37.0%、「学校の先生に勧められているから」が25.9%と続いています。

保護者では、「子供が働くのはまだ早いと思うから」が50.0%で最も高く、次いで「知識や教養を高めさせたいから」と「学校の先生に勧められているから」が25.0%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
知識や教養を高めたいから／ 知識や教養を高めさせたいから	13	48.1	2	25.0
自分が働くのはまだ早いと思うから／ 子供が働くのはまだ早いと思うから	10	37.0	4	50.0
家族に勧められているから	6	22.2	1	12.5
学校の先生に勧められているから	7	25.9	2	25.0
きょうだいや身の回りの人が進学しているから	1	3.7	0	0.0
その他	1	3.7	0	0.0
無回答	1	3.7	0	0.0
全体	27	100.0	8	100.0



■ その他の内訳

父が清掃の仕事をしていたため	1
----------------	---

2-3

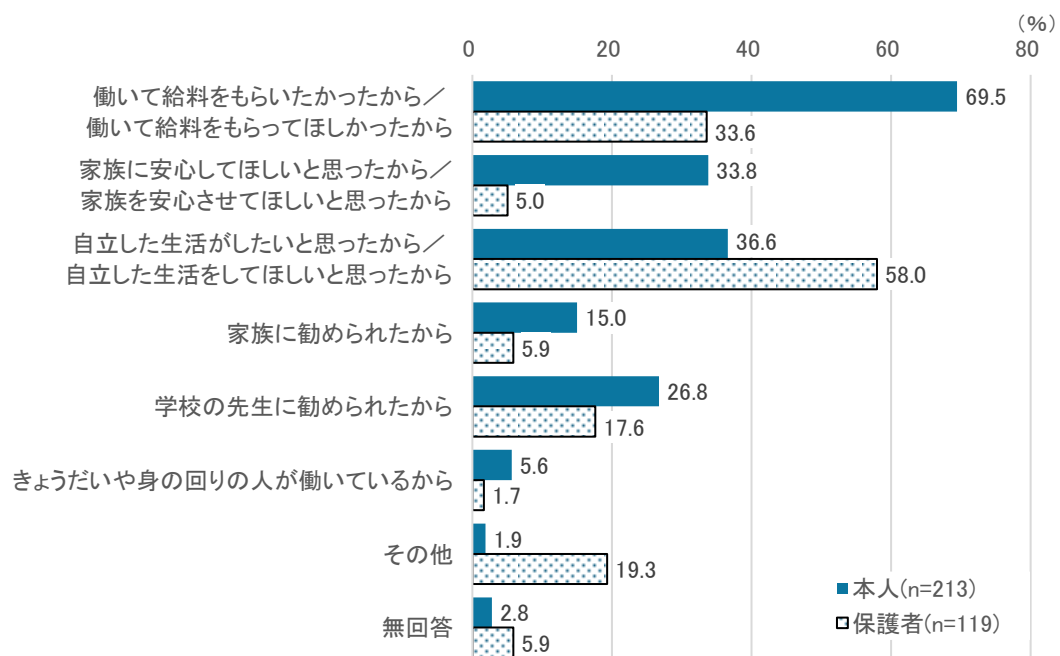
(2-1で「企業への就労」「福祉サービス(福祉型大学「カレッジ」を除く)の利用」を回答した場合)

その理由を御回答ください(複数回答)(本人 Q10、保護者 Q17)

「企業への就労、福祉サービス(福祉型大学「カレッジ」を除く)の利用」を選んだ理由について本人では、「働いて給料をもらいたいから」が69.5%で最も高く、次いで「自立した生活がしたいから」が36.6%、「家族に安心してほしいから」が33.8%と続いています。

保護者では、「自立した生活をしてほしいから」が58.0%で最も高く、次いで「働いて給料をもらってほしいから」が33.6%、「その他」が19.3%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
働いて給料をもらいたいから／ 働いて給料をもらってほしいから	148	69.5	40	33.6
家族に安心してほしいから／ 家族を安心してほしいから	72	33.8	6	5.0
自立した生活がしたいから／ 自立した生活をしてほしいから	78	36.6	69	58.0
家族に勧められているから	32	15.0	7	5.9
学校の先生に勧められているから	57	26.8	21	17.6
きょうだいや身の回りの人が働いているから	12	5.6	2	1.7
その他	4	1.9	23	19.3
無回答	6	2.8	7	5.9
全体	213	100.0	119	100.0



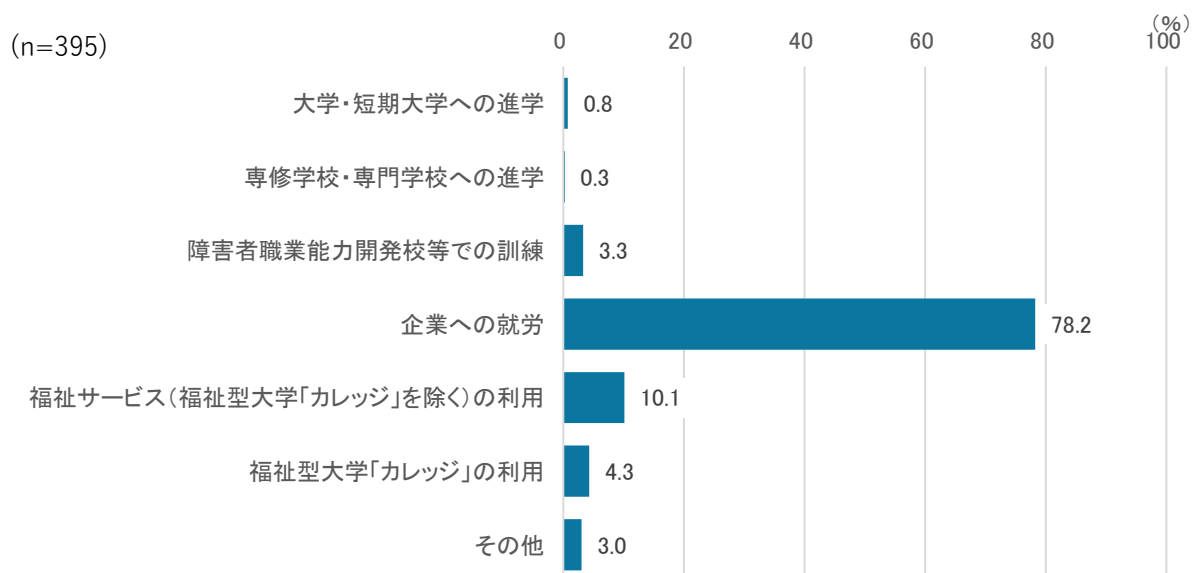
■ その他の内訳

就労・企業で働く方が望ましい／収入や将来の自立を考慮	5
選択肢が限られていたため(就職か施設入所しかない等)	5
本人の希望・意思を尊重(働きたい気持ち、本人の選択)	4
本人の能力・適性・環境に合った場所を選択	4
社会性・自立・生活習慣を身につけてほしい	4
仲間づくりや安心できる環境の確保	2

2-4 現在の進路状況を御回答ください（本人 Q11、保護者 Q18）

現在の進路状況については、「企業への就労」が78.2%で最も高く、次いで「福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用」が10.1%、「福祉型大学「カレッジ」の利用」が4.3%と続いています。

カテゴリー	件数	割合(%)
大学・短期大学への進学	3	0.8
専修学校・専門学校への進学	1	0.3
障害者職業能力開発校等での訓練	13	3.3
企業への就労	309	78.2
福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用	40	10.1
福祉型大学「カレッジ」の利用	17	4.3
その他	12	3.0
全体	395	100.0



■ その他の内訳

生活介護施設・通所施設利用（施設入所含む）	7
公務員・官公庁での就労（地方公務員、教育庁、チャレンジ雇用含む）	6
一般就職（就職、清掃など）	3
就労継続支援B型・福祉作業所	3
無回答・特になし	2
進学（大学への進学）	1
退職後に精神疾患を発症し、グループホーム入所・社会復帰を目指している	1

2-5

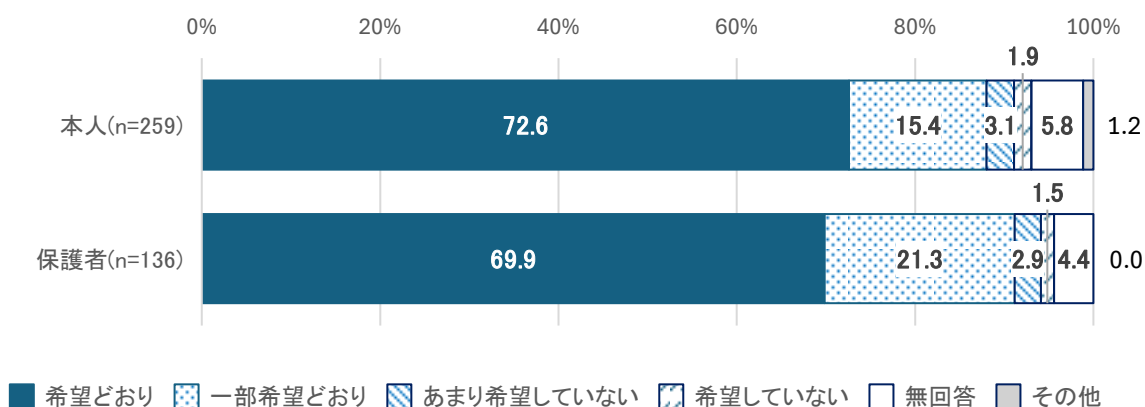
現在の進路と進路希望の違いを選んでください（本人 Q12）

お子さんの現在の進路と進路希望の相違を御回答ください（保護者 Q19）

現在の進路と進路希望の違いについて本人では、「希望どおり」が72.6%で最も高く、次いで「一部希望どおり」が15.4%、「無回答」が5.8%と続いています。

お子さんの現在の進路と進路希望の相違について保護者では、「希望どおり」が69.9%で最も高く、次いで「一部希望どおり」が21.3%、「無回答」が4.4%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
希望どおり	188	72.6	95	69.9
一部希望どおり	40	15.4	29	21.3
あまり希望していない	8	3.1	4	2.9
希望していない	5	1.9	2	1.5
無回答	15	5.8	6	4.4
その他	3	1.2	0	0.0
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

コロナ禍の影響で当初の希望通りに進めず、就労移行支援や生活介護に切り替えた	3
本人意思が確認できず不明／わからない	2
就労継続支援B型で働きながら学び、将来的な挑戦に備えている	1
卒後に就労支援作業所を経て企業に就職	1
学校卒業後に清掃関連の実習・就労移行を経て清掃業に就いた（遠回り感あり）	1
作業所に馴染めず生活介護へ移行（親の希望は叶わず）	1
一般企業（大手スーパーマーケット）に就職	1

2-5

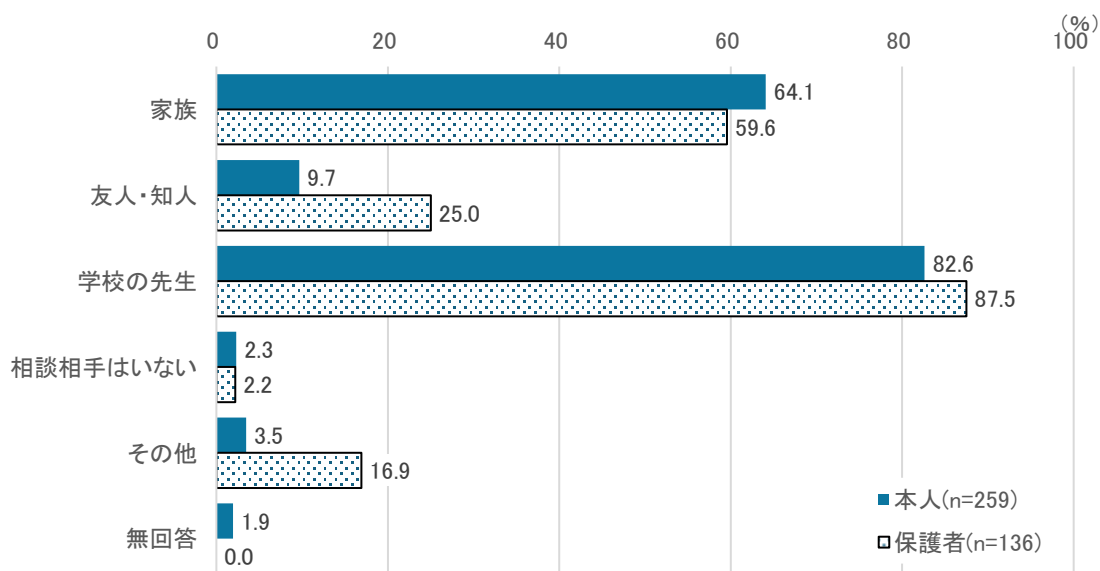
高等部に通っていた時に進路について相談した人は誰ですか（複数回答）（本人 Q13）

お子さんの高等部卒業後の進路について相談した人を御回答ください（複数回答）（保護者 Q20）

高等部に通っていた時に進路を相談した人について本人では、「学校の先生」が82.6%で最も高く、次いで「家族」が64.1%、「友人・知人」が9.7%と続いています。

お子さんの高等部卒業後の進路を相談した人について保護者では、「学校の先生」が87.5%で最も高く、次いで「家族」が59.6%、「友人・知人」が25.0%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
家族	166	64.1	81	59.6
友人・知人	25	9.7	34	25.0
学校の先生	214	82.6	119	87.5
相談相手はいない	6	2.3	3	2.2
その他	9	3.5	23	16.9
無回答	5	1.9	0	0.0
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

学校・塾・習い事などの先生（塾の先生、学校の先生、療育の先生、習い事の先生など）	8
就労支援機関・相談支援員（就労支援センター、生活支援センター、相談支援員、行政機関担当者など）	8
施設・事業所の職員（作業所、療育施設、通所事業所、支援していた職員など）	7
医師・医療関係（主治医、かかりつけ医、精神科医、カウンセラー）	5
保護者・家族・親の会（保護者、先輩母、親の会の先輩方など）	4
地域の障害福祉関係者・NPO	2
特に相談先なし	1

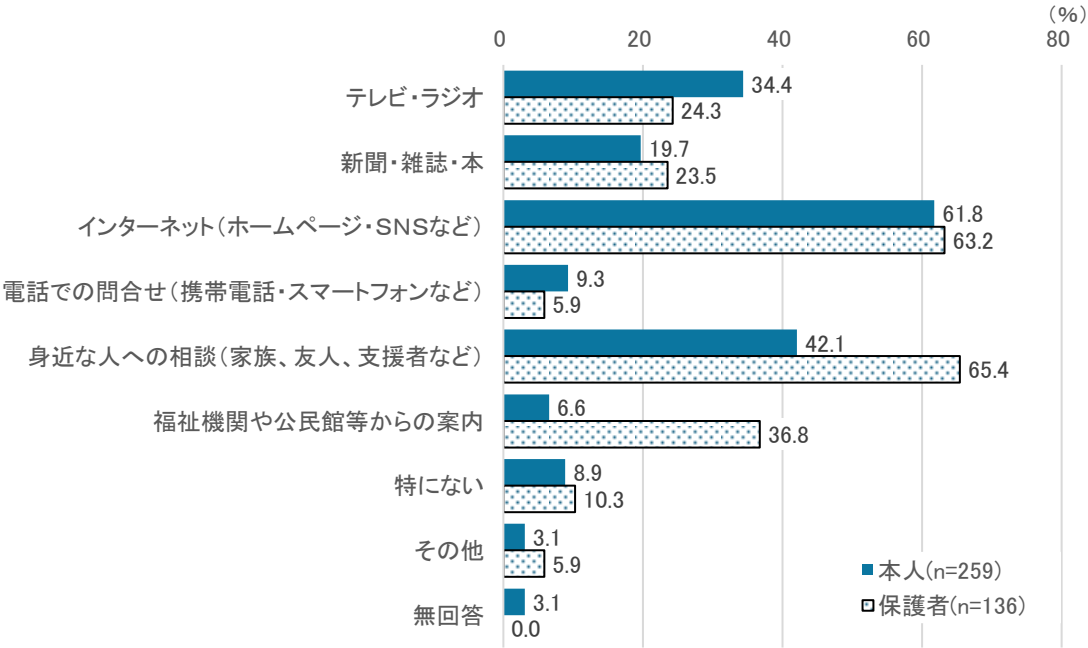
学びたい情報はどのように知りますか（複数回答）（本人 Q14）

お子さんが学ぶための情報を入手している方法を御回答ください（複数回答）（保護者 Q21）

学びたい情報をどのように知るかについて本人では、「インターネット（ホームページ・SNSなど）」が61.8%で最も高く、次いで「身近な人への相談（家族、友人、支援者など）」が42.1%、「テレビ・ラジオ」が34.4%と続いています。

お子さんが学ぶための情報を入手している方法について保護者では、「身近な人への相談（家族、友人、支援者など）」が65.4%で最も高く、次いで「インターネット（ホームページ・SNSなど）」が63.2%、「福祉機関や公民館等からの案内」が36.8%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
テレビ・ラジオ	89	34.4	33	24.3
新聞・雑誌・本	51	19.7	32	23.5
インターネット(ホームページ・SNSなど)	160	61.8	86	63.2
電話での問合せ(携帯電話・スマートフォンなど)	24	9.3	8	5.9
身近な人への相談(家族、友人、支援者など)	109	42.1	89	65.4
福祉機関や公民館等からの案内	17	6.6	50	36.8
特にない	23	8.9	14	10.3
その他	8	3.1	8	5.9
無回答	8	3.1	0	0.0
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

職場・企業実習で知った(職場実習、企業実習、会社実習など)	6
親の会からの情報	2
学校・卒業校・講座・同窓会を通じて	2
AI 学習	2
保護者自身の調査・事業所との連携	1
医師(主治医)からの情報	1
習い事・塾	1
必要な支援をしてくれる場所として知った	1

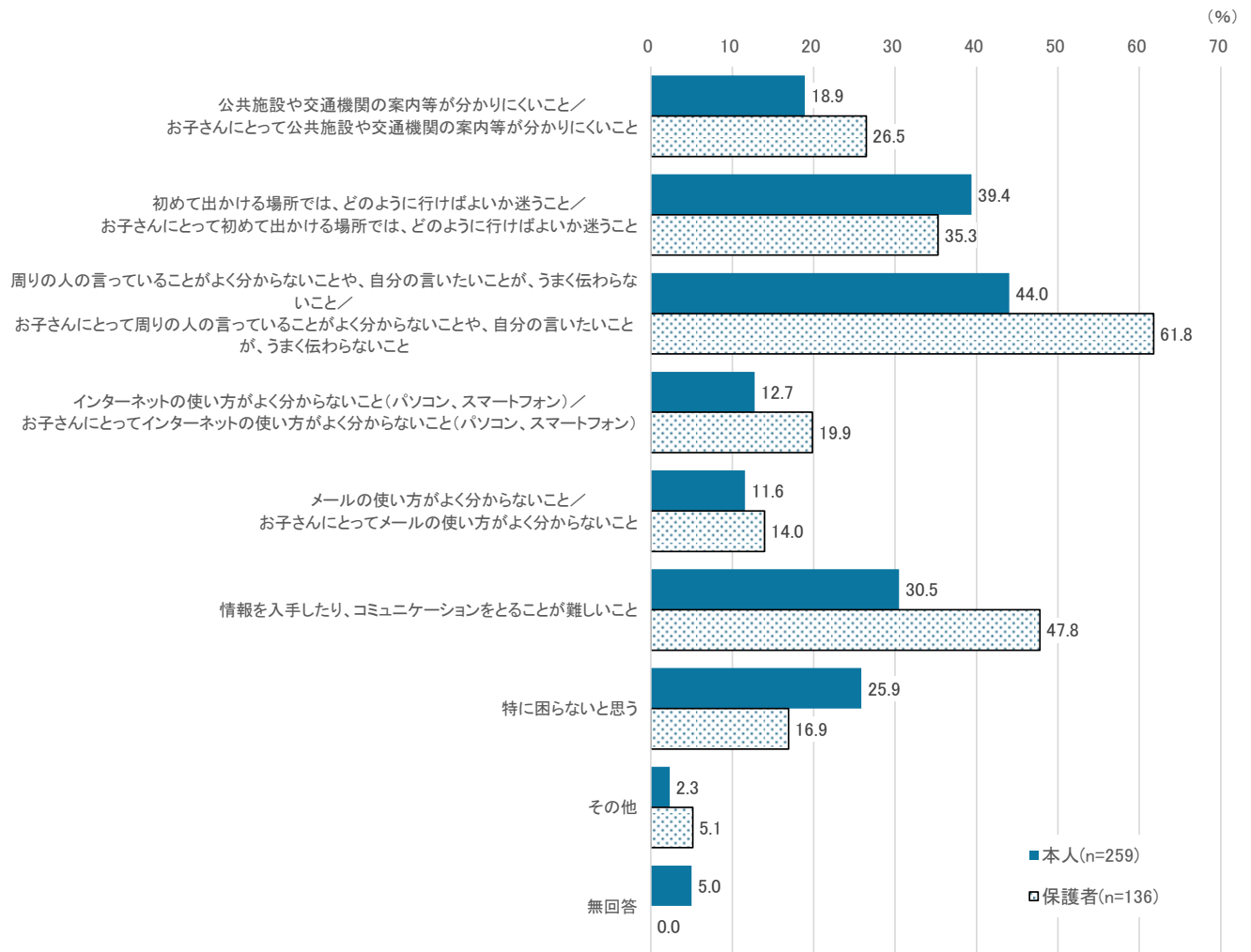
2-7	学びたいことを調べたり、実際に参加したりする上で困りそうなことを選んでください（複数回答）（本人 Q15） 学びの情報の入手や、活動団体とコミュニケーションをとる上で困りそうなことを選んでください（複数回答）（保護者 Q22）
-----	---

学びたいことを調べたり、実際に参加したりする上で困りそうなことについて本人では、「周りの人の言っていることがよく分からないことや、自分の言いたいことが、うまく伝わらないこと」が44.0%で最も高く、次いで「初めて出かける場所では、どのように行けばよいか迷うこと」が39.4%、「情報を入手したり、コミュニケーションをとることが難しいこと」が30.5%と続いています。

学びの情報の入手や、活動団体とコミュニケーションをとる上で困りそうなことについて保護者では、「お子さんにとって周りの人の言っていることがよく分からないことや、自分の言いたいことが、うまく伝わらないこと」が61.8%で最も高く、次いで「情報を入手したり、コミュニケーションをとることが難しいこと」が47.8%、「お子さんにとって初めて出かける場所では、どのように行けばよいか迷うこと」が35.3%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
公共施設や交通機関の案内等が分かりにくいこと／ お子さんにとって公共施設や交通機関の案内等が分かりにくいこと	49	18.9	36	26.5
初めて出かける場所では、どのように行けばよいか迷うこと／ お子さんにとって初めて出かける場所では、どのように行けばよいか迷うこと	102	39.4	48	35.3
周りの人の言っていることがよく分からないことや、自分の言いたいことが、うまく伝わらないこと／ お子さんにとって周りの人の言っていることがよく分からないことや、自分の言いたいことが、うまく伝わらないこと	114	44.0	84	61.8
インターネットの使い方がよく分からないこと(パソコン、スマートフォン)／ お子さんにとってインターネットの使い方がよく分からないこと(パソコン、スマートフォン)	33	12.7	27	19.9
メールの使い方がよく分からないこと／ お子さんにとってメールの使い方がよく分からないこと	30	11.6	19	14.0
情報を入手したり、コミュニケーションをとることが難しいこと	79	30.5	65	47.8
特に困らないと思う	67	25.9	23	16.9
その他	6	2.3	7	5.1
無回答	13	5.0	0	0.0
全体	259	100.0	136	100.0

卒業生及びその保護者等



■ その他の内訳

対人関係の不安(初対面での話しかけ方、友達づくりの難しさ、1人で行動できない等)	4
学びや情報習得への支援(わかりやすい説明、個別に教える工夫、絵カード・写真カードの活用、インターネット習得)	4
新しい環境への不安(初めての場所で固まる、参加できるものがない等)	2
本人が安心して利用できる場であること	1
その他(社会的な偏見・コロナ禍など)	3

Ⅲ 卒業後の学びの場・方法の理解

3-1

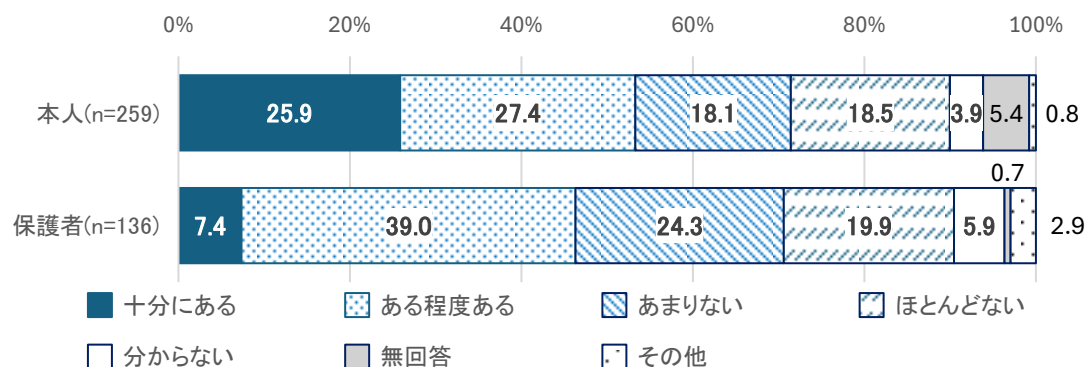
勉強やスポーツなどの活動をする機会はどの程度ありますか（本人 Q16）

お子さんの現在の学びの機会の充足度を御回答ください（保護者 Q23）

勉強やスポーツなどの活動をする機会について本人では、「十分にある」が25.9%、「ある程度ある」が27.4%と、全体の53.3%が『ある』と回答しました。

お子さんの現在の学びの機会の充足度について保護者では、「十分にある」が7.4%、「ある程度ある」が39.0%と、全体の46.4%が『ある』と回答しました

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
十分にある	67	25.9	10	7.4
ある程度ある	71	27.4	53	39.0
あまりない	47	18.1	33	24.3
ほとんどない	48	18.5	27	19.9
分からない	10	3.9	8	5.9
無回答	14	5.4	1	0.7
その他	2	0.8	4	2.9
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

学習や訓練の機会がない／全くない	2
福祉作業所での簡単な学習時間の実施	1
個別の学び(漢検テキスト・練習ソフト、パソコン教室で Word 等のスキル習得)	1
モチベーション低下の要因	1
健康面での取組(ストレッチ)	1
学ばせたいが機会不足	1

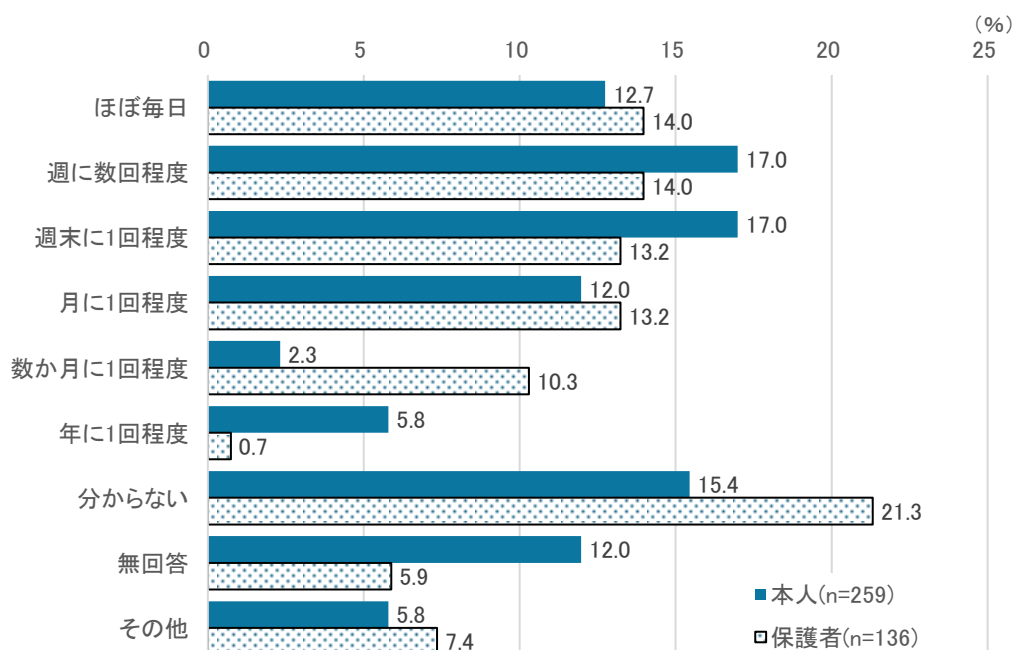
勉強やスポーツ活動などの学びをどれぐらいしていますか（本人 Q17）

お子さんの現在の学びの機会の頻度を御回答ください（保護者 Q24）

勉強やスポーツ活動などの学びをどれぐらいしているかについて本人では、「週に数回程度」と「週末に1回程度」が17.0%で最も高く、次いで「分からない」が15.4%と続いています。

お子さんの現在の学びの機会の頻度について保護者では、「分からない」が21.3%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」と「週に数回程度」が14.0%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
ほぼ毎日	33	12.7	19	14.0
週に数回程度	44	17.0	19	14.0
週末に1回程度	44	17.0	18	13.2
月に1回程度	31	12.0	18	13.2
数か月に1回程度	6	2.3	14	10.3
年に1回程度	15	5.8	1	0.7
分からない	40	15.4	29	21.3
無回答	31	12.0	8	5.9
その他	15	5.8	10	7.4
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

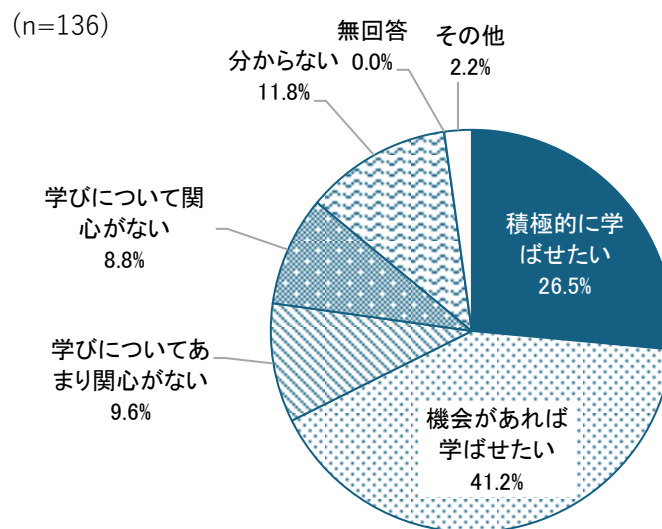
運動や学びの機会が「ほとんどない／していない／全くない」	12
自宅での継続的な活動（毎日の運動、勉強、漢字練習、パソコン教室など）	4
月1～2回程度の活動（運動・学び含む）	3
週1回程度の活動（運動・学び含む）	2
興味・関心が限定的（高校野球観戦のみ等）	1
仕事やネットを通じた学び（受動的）	1
特定の活動（テニス）	1

3-3

現在のお子さんに対する学びの意欲を御回答ください（保護者 Q25）

現在のお子さんに対する学びの意欲については、「積極的に学ばせたい」が26.5%、「機会があれば学ばせたい」が41.2%と、全体の67.7%が『学ばせたい』と回答しました。

カテゴリー	保護者	
	件数	割合(%)
積極的に学ばせたい	36	26.5
機会があれば学ばせたい	56	41.2
学びについてあまり関心がない	13	9.6
学びについて関心がない	12	8.8
分からない	16	11.8
無回答	0	0.0
その他	3	1.1
全体	136	100.0



■ その他の内訳

本人がやりたがらない／意欲がない	1
本人の意思を尊重し、学びたい時に支援したい	1
パニックが多く把握できない	1

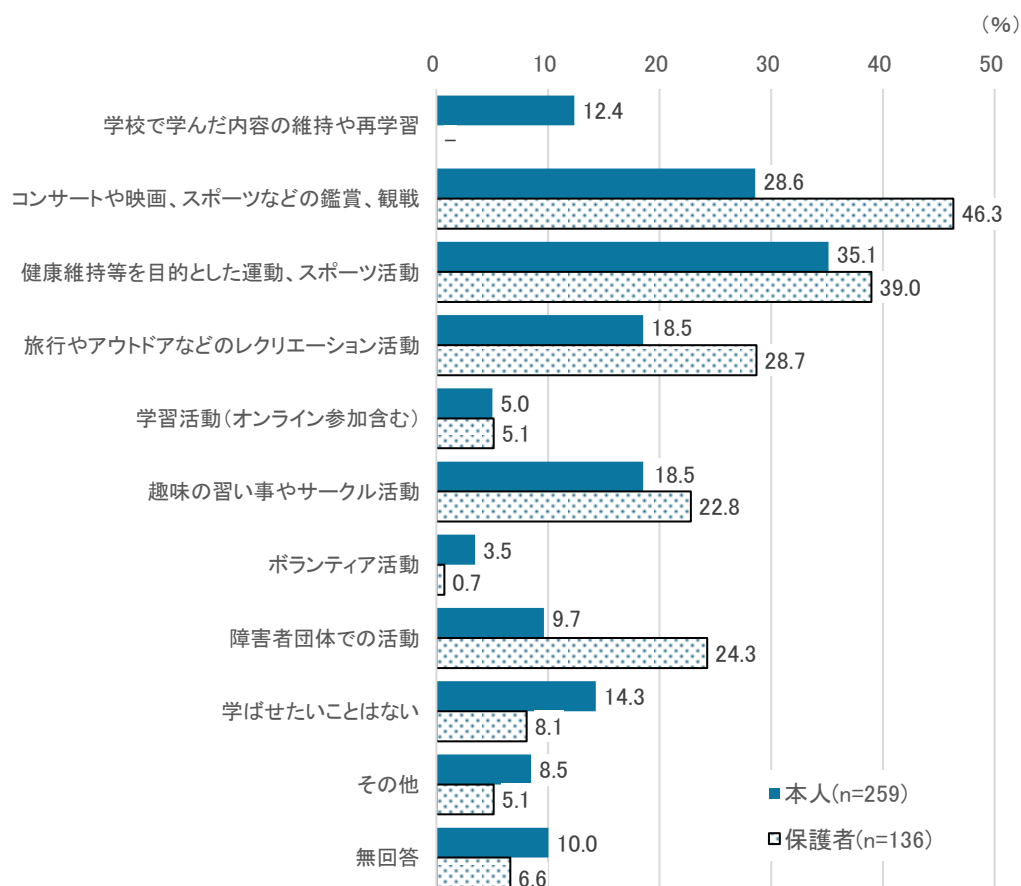
3-4

現在、勉強やスポーツ活動など、どんなことを学んでいますか？（複数回答）（本人 Q18）
 お子さんが現在学んでいることを御回答ください（複数回答）（保護者 Q26）

現在、勉強やスポーツ活動など、どんなことを学んでいるかについて本人では、「健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動」が35.1%で最も高く、次いで「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦」が28.6%、「旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動」と「趣味の習い事やサークル活動」が18.5%と続いています。

お子さんが現在学んでいることについて保護者では、「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦」が46.3%で最も高く、次いで「健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動」が39.0%、「旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動」が28.7%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
学校で学んだ内容の維持や再学習	32	12.4	—	—
コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	74	28.6	63	46.3
健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	91	35.1	53	39.0
旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動	48	18.5	39	28.7
学習活動(オンライン参加含む)	13	5.0	7	5.1
趣味の習い事やサークル活動	48	18.5	31	22.8
ボランティア活動	9	3.5	1	0.7
障害者団体での活動	25	9.7	33	24.3
学ばせたいことはない	37	14.3	11	8.1
その他	22	8.5	7	5.1
無回答	26	10.0	9	6.6
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

趣味や学びの活動(漢検・英検、フランス語・心理学、本を読む、ピアノ教室など)	8
活動がほとんどない／していない	6
スポーツ・運動(サッカー、ランニング、水泳教室、ボイトレ含む)	4
趣味・興味を通じた学び(鉄道・乗り物、見本市での発見)	2
余暇活動・外出(友達と出かける、食事に行く)	2
強度行動障害やパニック等により参加不可	2
区の施設開放利用や地域活動への参加	1
将来の生活・結婚などへの関心	1
日常生活の維持で精一杯	1

3-5

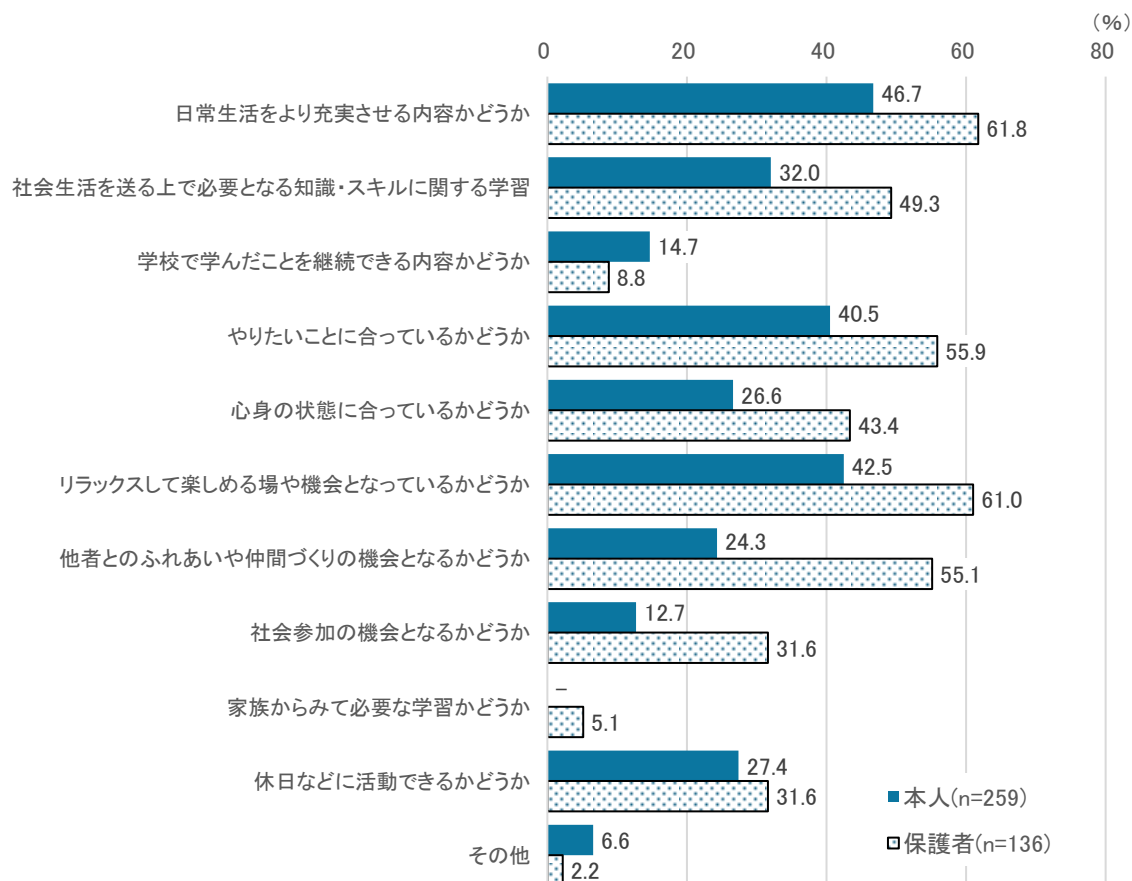
現在、取り組んでいる勉強やスポーツ活動などの学びに取り組む際に大切にすることはなんですか（複数回答）（本人 Q19）

現在、お子さんが学びに取り組む際に重要視することを御回答ください（複数回答）（保護者 Q27）

現在、取り組んでいる勉強やスポーツ活動などの学びに取り組む際に大切にすることについて本人では、「日常生活をより充実させる内容かどうか」が46.7%で最も高く、次いで「リラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか」が42.5%、「やりたいことに合っているかどうか」が40.5%と続いています。

現在、お子さんが学びに取り組む際に重要視することについて保護者では、「日常生活をより充実させる内容かどうか」が61.8%で最も高く、次いで「リラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか」が61.0%、「やりたいことに合っているかどうか」が55.9%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
日常生活をより充実させる内容かどうか	121	46.7	84	61.8
社会生活を送る上で必要となる知識・スキルに関する学習	83	32.0	67	49.3
学校で学んだことを継続できる内容かどうか	38	14.7	12	8.8
やりたいことに合っているかどうか	105	40.5	76	55.9
心身の状態に合っているかどうか	69	26.6	59	43.4
リラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか	110	42.5	83	61.0
他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか	63	24.3	75	55.1
社会参加の機会となるかどうか	33	12.7	43	31.6
家族からみて必要な学習かどうか	—	—	7	5.1
休日などに活動できるかどうか	71	27.4	43	31.6
その他	17	6.6	3	2.2
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

特になし	7
ほとんどしていない／考えたことがない	7
月に数回の参加	1
条件付きでの参加希望（強度行動障害があり、理解あるスタッフや環境が必要）	1
自分の素性をオープンにする姿勢	1
高みを目指したい意欲	1
学ぶ能力がないと認識	1

3-6

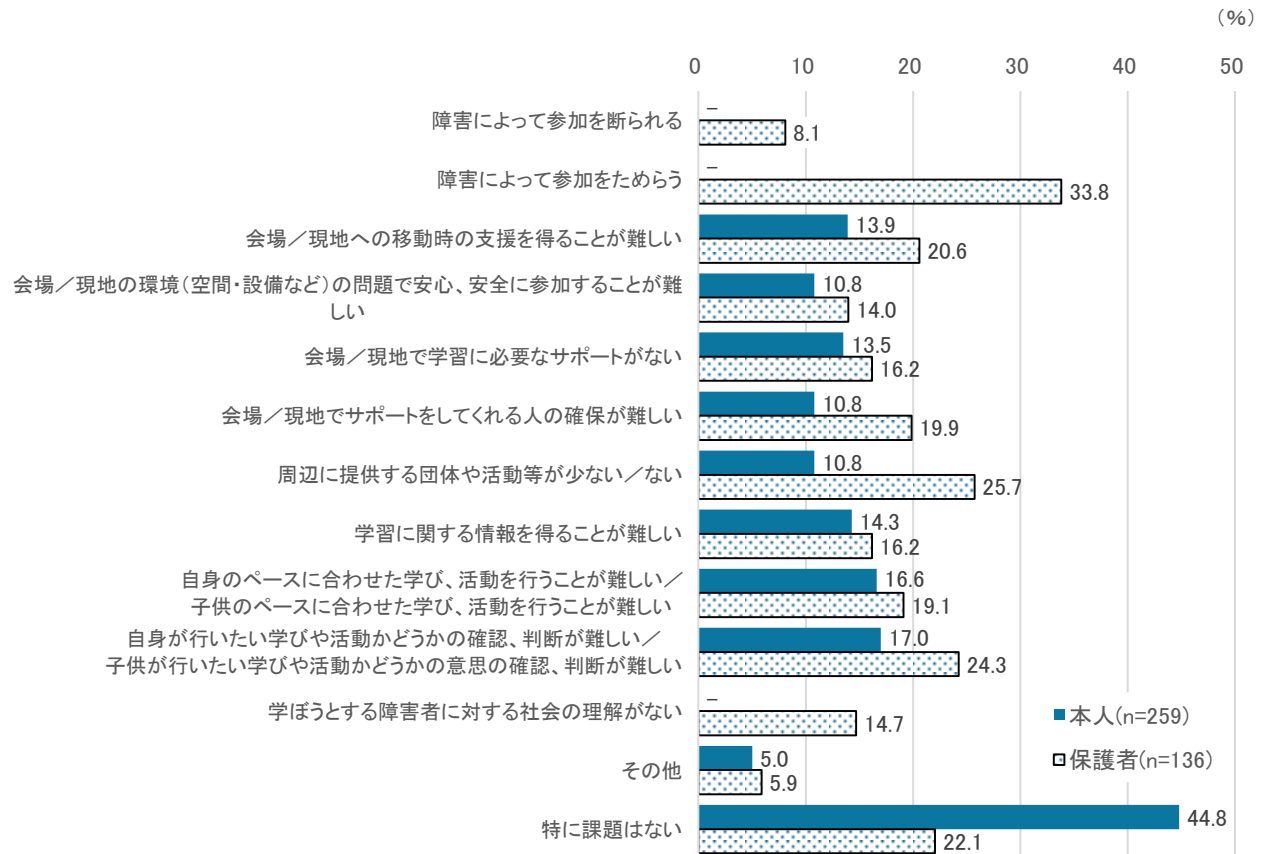
現在、勉強やスポーツ活動などの学びに参加する際に妨げとなっているものはなんですか（複数回答）（本人 Q20）

現在、お子さんが学びに取り組む際の障壁となっているものを御回答ください（複数回答）（保護者 Q28）

現在、勉強やスポーツ活動などの学びに参加する際に妨げとなっているものについて本人では、「特に課題はない」が44.8%で最も高く、次いで「自身が行いたい学びや活動かどうかの確認、判断が難しい」が17.0%、「自身のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい」が16.6%と続いています。

現在、お子さんが学びに取り組む際の障壁となっているものについて保護者では、「障害によって参加をためらう」が33.8%で最も高く、次いで「周辺に提供する団体や活動等が少ない／ない」が25.7%、「子供が行いたい学びや活動かどうかの意思の確認、判断が難しい」が24.3%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
障害によって参加を断られる	-	-	11	8.1
障害によって参加をためらう	-	-	46	33.8
会場／現地への移動時の支援を得ることが難しい	36	13.9	28	20.6
会場／現地の環境（空間・設備など）の問題で安心、安全に参加することが難しい	28	10.8	19	14.0
会場／現地で学習に必要なサポートがない	35	13.5	22	16.2
会場／現地でサポートをしてくれる人の確保が難しい	28	10.8	27	19.9
周辺に提供する団体や活動等が少ない／ない	28	10.8	35	25.7
学習に関する情報を得ることが難しい	37	14.3	22	16.2
自身のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい／ 子供のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい	43	16.6	26	19.1
自身が行いたい学びや活動かどうかの確認、判断が難しい／ 子供が行いたい学びや活動かどうかの意思の確認、判断が難しい	44	17.0	33	24.3
学ぼうとする障害者に対する社会の理解がない（学習プログラムを実施する職員等の障害に対する理解がない、健常者と分け隔てなく学習できる環境への理解がない／など）	-	-	20	14.7
その他	13	5.0	8	5.9
特に課題はない	116	44.8	30	22.1
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

特になし	5
時間がない・勤務形態の制約(仕事・勤務日程・予定が立てづらい等)	5
健康・障害の影響(強度行動障害、体調等で参加困難)	2
不安や場違い感(通常学級出身者が多い等)	2
周辺情報不足・抽選で受講できない等の機会制約	2
施設入所により行動制限	1
費用がかかることが障壁	1
学ぶ機会が過去にはあったが、現在は活かしていない(PC 等)	1
保護者同伴のため安心で問題なし	1
回答が難しい	1

IV 在学中に学びたかったこととの相違

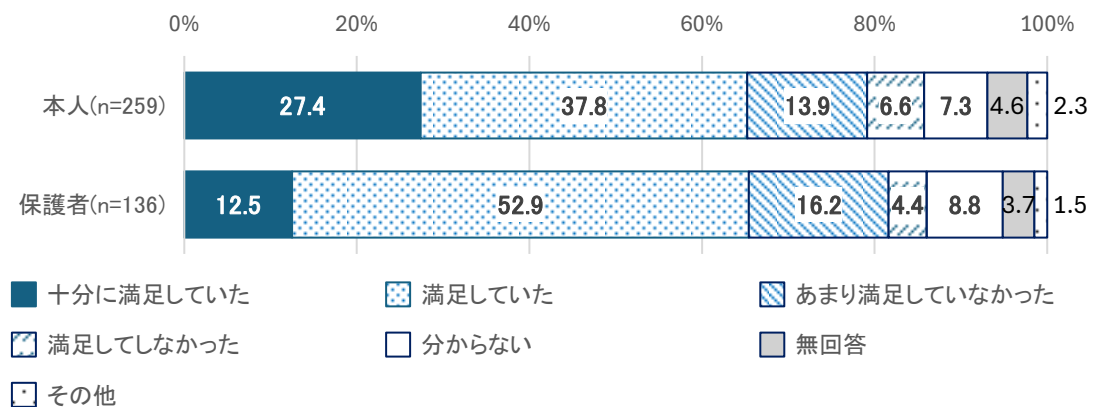
4-1

学校に在学をしていた時の校外での勉強やスポーツ活動に満足していましたか（本人 Q21）
 お子さんの在学中の校外での学びの充足度を御回答ください（保護者 Q29）

学校に在学をしていた時の校外での勉強やスポーツ活動に満足しているかについて本人では、「十分に満足していた」が27.4%、「満足していた」が37.8%と、全体の65.2%が『満足していた』と回答しました。

お子さんの在学中の校外での学びの充足度について保護者では、「十分に満足していた」が12.5%、「満足していた」が52.9%と、全体の65.4%が『満足していた』と回答しました

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
十分に満足していた	71	27.4	17	12.5
満足していた	98	37.8	72	52.9
あまり満足していなかった	36	13.9	22	16.2
満足してしなかった	17	6.6	6	4.4
分からない	19	7.3	12	8.8
無回答	12	4.6	5	3.7
その他	6	2.3	2	1.5
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

部活動に参加していたため校外活動は特にしていない	3
満足していた(まあまあ満足、少し満足、普通など)	2
放課後等デイサービスでの学び・交流	1
強度行動障害により参加できなかった	1
校外活動はあまりしていない	1

4-2

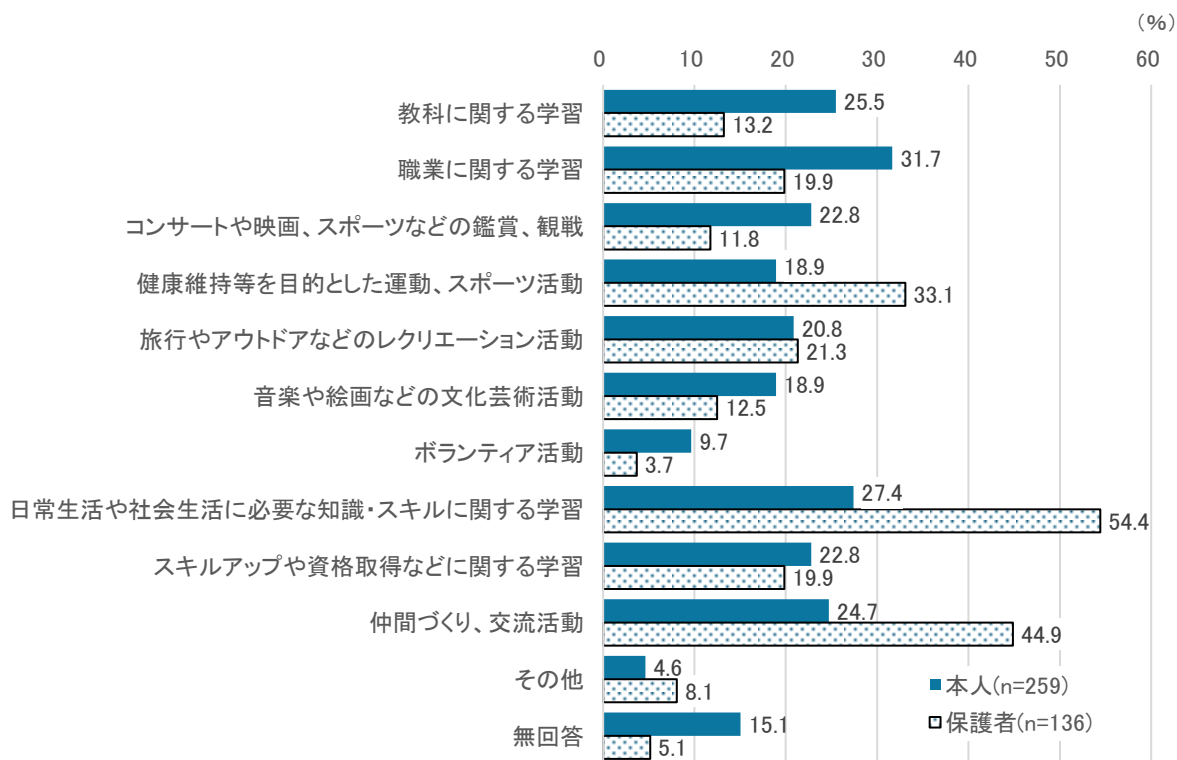
学校に在学中に更に学びたかったことを選んでください（複数回答）（本人 Q22）

お子さんが在学中に更に学んでほしかったことを御回答ください（複数回答）（保護者 Q30）

学校に在学中に更に学びたかったことについて本人では、「職業に関する学習」が31.7%で最も高く、次いで「日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習」が27.4%、「教科に関する学習」が25.5%と続いています。

お子さんが在学中に更に学んでほしかったことについて保護者では、「日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習」が54.4%で最も高く、次いで「仲間づくり、交流活動」が44.9%、「健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動」が33.1%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
教科に関する学習	66	25.5	18	13.2
職業に関する学習	82	31.7	27	19.9
コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	59	22.8	16	11.8
健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	49	18.9	45	33.1
旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動	54	20.8	29	21.3
音楽や絵画などの文化芸術活動	49	18.9	17	12.5
ボランティア活動	25	9.7	5	3.7
日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	71	27.4	74	54.4
スキルアップや資格取得などに関する学習	59	22.8	27	19.9
仲間づくり、交流活動	64	24.7	61	44.9
その他	12	4.6	11	8.1
無回答	39	15.1	7	5.1
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

特になし／分からない	11
学校生活で十分・満足していた(不満なし、バランス良く学べた等)	4
学びたかった内容(お金の使い方・金銭感覚、異性との付き合い方、栄養知識など)	3
コロナ禍の影響で学びや体験機会が減少(特にスポーツ)	1
大学受験に関する学び	1
学校では学べたが、卒業後に学びの場がない点への不安	1
部活動への参加制限(特別支援学級に在籍で部活参加を拒否される)	1

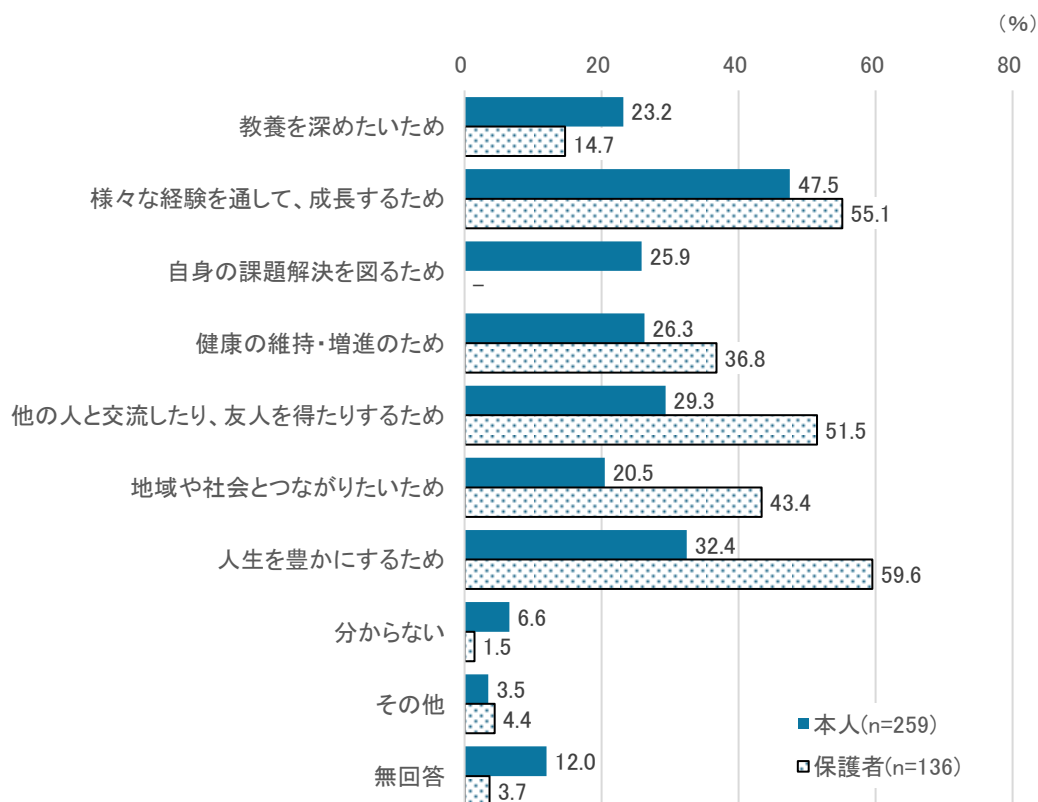
4-3

(4-2で「無回答」以外を回答した場合)
その理由を御回答ください(複数回答) (本人 Q23、保護者 Q31)

学校に在学中に更に学びたかったことの理由について本人では、「様々な経験を通して、成長するため」が47.5%で最も高く、次いで「人生を豊かにするため」が32.4%、「他の人と交流したり、友人を得たりするため」が29.3%と続いています。

保護者では、「人生を豊かにするため」が59.6%で最も高く、次いで「様々な経験を通して、成長するため」が55.1%、「他の人と交流したり、友人を得たりするため」が51.5%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
教養を深めたいため	60	23.2	20	14.7
様々な経験を通して、成長するため	123	47.5	75	55.1
自身の課題解決を図るため	67	25.9	—	—
健康の維持・増進のため	68	26.3	50	36.8
他の人と交流したり、友人を得たりするため	76	29.3	70	51.5
地域や社会とつながりたいため	53	20.5	59	43.4
人生を豊かにするため	84	32.4	81	59.6
分からない	17	6.6	2	1.5
その他	9	3.5	6	4.4
無回答	31	12.0	5	3.7
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

学校生活で十分学べた・満足していた	5
特になし	4
学びたい・必要な内容(趣味を増やす、一人暮らしに必要な力)	2
将来や進路をゆっくり考える時間が欲しかった	1
学びきれていない／不足感(学校では学びきれてない等)	1
学校環境面の要望(クラス人数をもっと増やしてほしい)	1
普通科にいた経験の記載	1

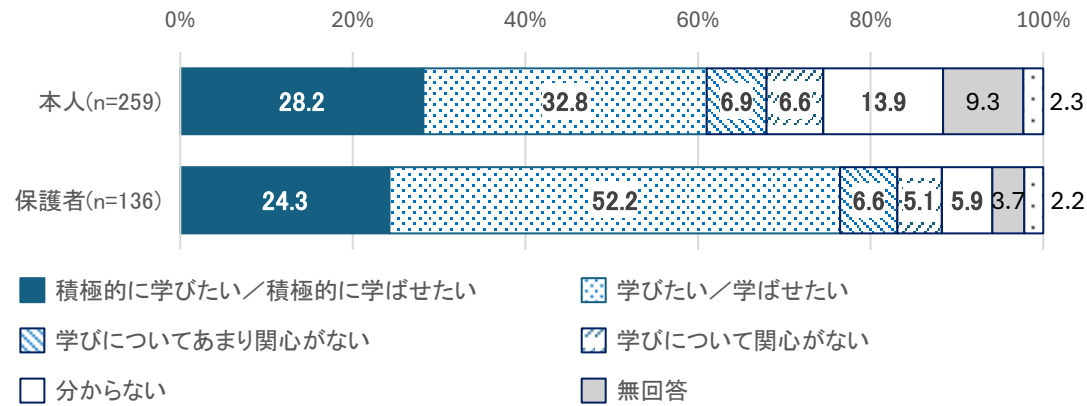
V 今後学びたいこと

5-1	今後、勉強やスポーツ活動などの学びをどれくらい行いたいですか（本人 Q24）
	お子さんに対する学びの今後の意欲を御回答ください（保護者 Q32）

今後、勉強やスポーツ活動などの学びをどれくらい行いたいのかについて本人では、「積極的に学びたい」が28.2%、「学びたい」が32.8%と、全体の61.0%が『学びたい』と回答しました。

お子さんに対する学びの今後の意欲について保護者では、「積極的に学ばせたい」が24.3%、「学ばせたい」が52.2%と、全体の76.5%が『学ばせたい』と回答しました。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
積極的に学びたい／積極的に学ばせたい	73	28.2	33	24.3
学びたい／学ばせたい	85	32.8	71	52.2
学びについてあまり関心がない	18	6.9	9	6.6
学びについて関心がない	17	6.6	7	5.1
分からない	36	13.9	8	5.9
無回答	24	9.3	5	3.7
その他	6	2.3	3	2.2
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

本人の意思・希望次第(まだ分からない、意思が汲み取れない含む)	3
特になし	1
スポーツ・趣味への挑戦(バスケットボールなど)	1
継続した活動を希望	1
機会があれば学びたい	1
興味のあることにチャレンジしたい	1
1人で取り組みたい	1

5-2

（5-1で「学校外でも積極的に学びたい」「学校外でも学びたい」「積極的に学ばせたい」「学ばせたい」を回答した場合）

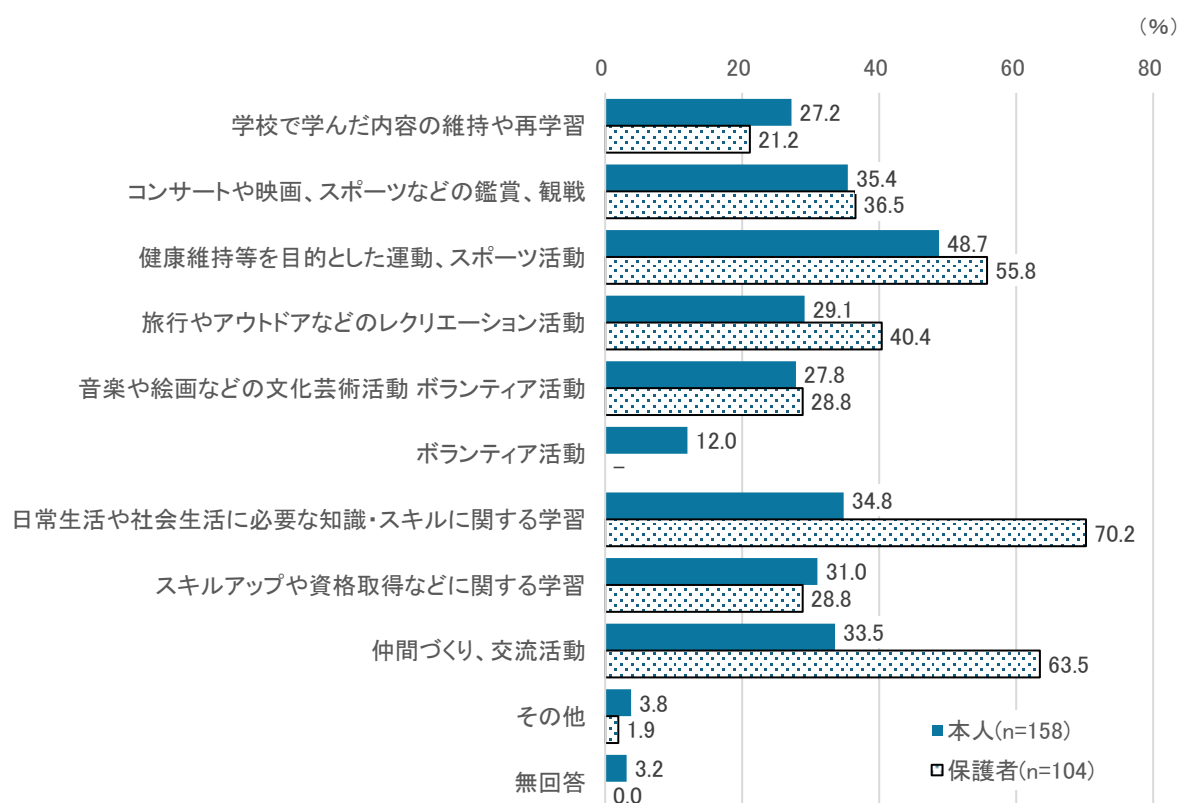
今後、学びたい内容を教えてください（複数回答）（本人 Q25）

今後、お子さんに学ばせたい内容を御回答ください（複数回答）（保護者 Q33）

「学校外でも積極的に学びたい」「学校外でも学びたい」を選んだ今後、学びたい内容について本人では、「健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動」が48.7%で最も高く、次いで「コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦」が35.4%、「日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習」が34.8%と続いています。

「積極的に学ばせたい」「学ばせたい」を選んだ今後、お子さんに学ばせたい内容について保護者では、「日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習」が70.2%で最も高く、次いで「仲間づくり、交流活動」が63.5%、「健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動」が55.8%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
学校で学んだ内容の維持や再学習	43	27.2	22	21.2
コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	56	35.4	38	36.5
健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	77	48.7	58	55.8
旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動	46	29.1	42	40.4
音楽や絵画などの文化芸術活動 ボランティア活動	44	27.8	30	28.8
ボランティア活動	19	12.0	-	-
日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	55	34.8	73	70.2
スキルアップや資格取得などに関する学習	49	31.0	30	28.8
仲間づくり、交流活動	53	33.5	66	63.5
その他	6	3.8	2	1.9
無回答	5	3.2	0	0.0
全体	158	100.0	104	100.0



■ その他の内訳

学問的分野の学び(心理学、フランス語、経済)	3
スポーツ・趣味活動(サッカー、ダンス)	2
生活に役立つ知識(騙されない対応、困った時の対応、栄養知識)	2
職業に関する知識	1
まだ決まっていない	1

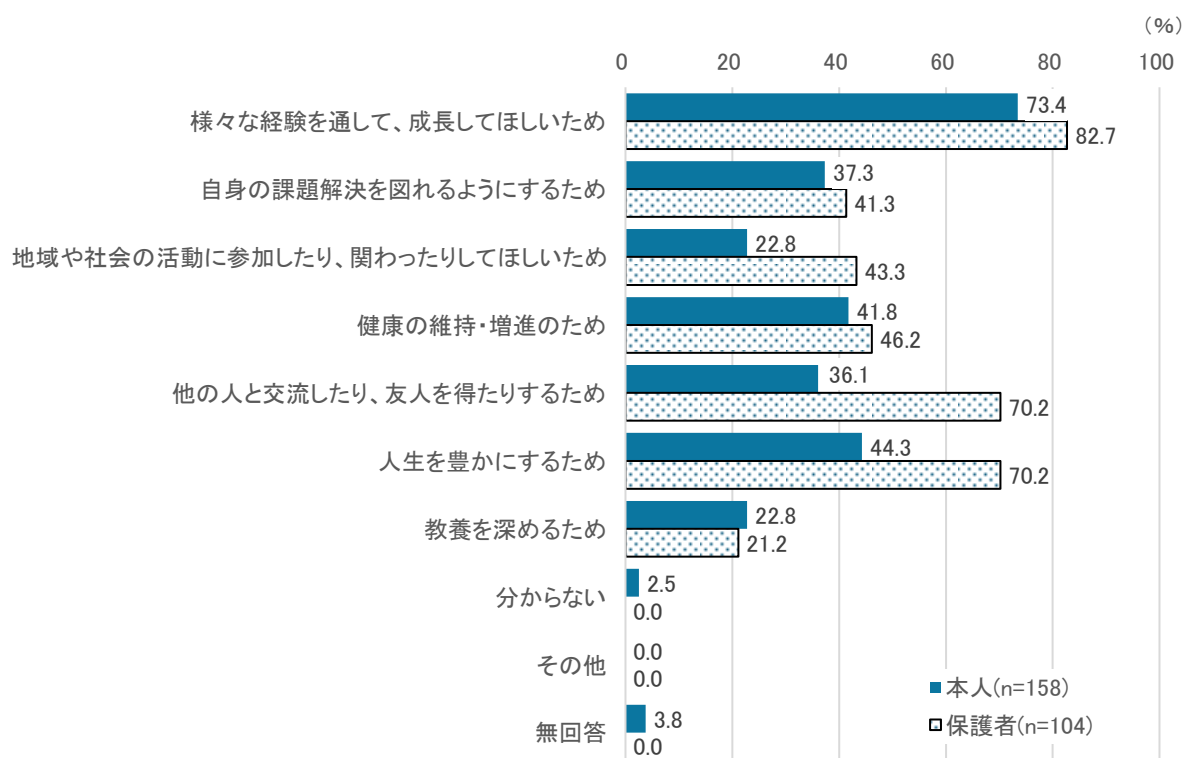
5-3

（５－１で「学校外でも積極的に学びたい」「学校外でも学びたい」「積極的に学ばせたい」「学ばせたい」を回答した場合）その理由を教えてください（複数回答）（本人 Q26、保護者 Q34）

「積極的に学ばせたい」「学ばせたい」を選んだ理由について本人では、「様々な経験を通して、成長してほしいため」が73.4%で最も高く、次いで「人生を豊かにするため」が44.3%、「健康の維持・増進のため」が41.8%と続いています。

「積極的に学ばせたい」「学ばせたい」を選んだ理由について保護者では、「様々な経験を通して、成長してほしいため」が82.7%で最も高く、次いで「他の人と交流したり、友人を得たりするため」と「人生を豊かにするため」が70.2%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
様々な経験を通して、成長してほしいため	116	73.4	86	82.7
自身の課題解決を図れるようにするため	59	37.3	43	41.3
地域や社会の活動に参加したり、関わったりしてほしいため	36	22.8	45	43.3
健康の維持・増進のため	66	41.8	48	46.2
他の人と交流したり、友人を得たりするため	57	36.1	73	70.2
人生を豊かにするため	70	44.3	73	70.2
教養を深めるため	36	22.8	22	21.2
分からない	4	2.5	0	0.0
その他	0	0.0	0	0.0
無回答	6	3.8	0	0.0
全体	158	100.0	104	100.0

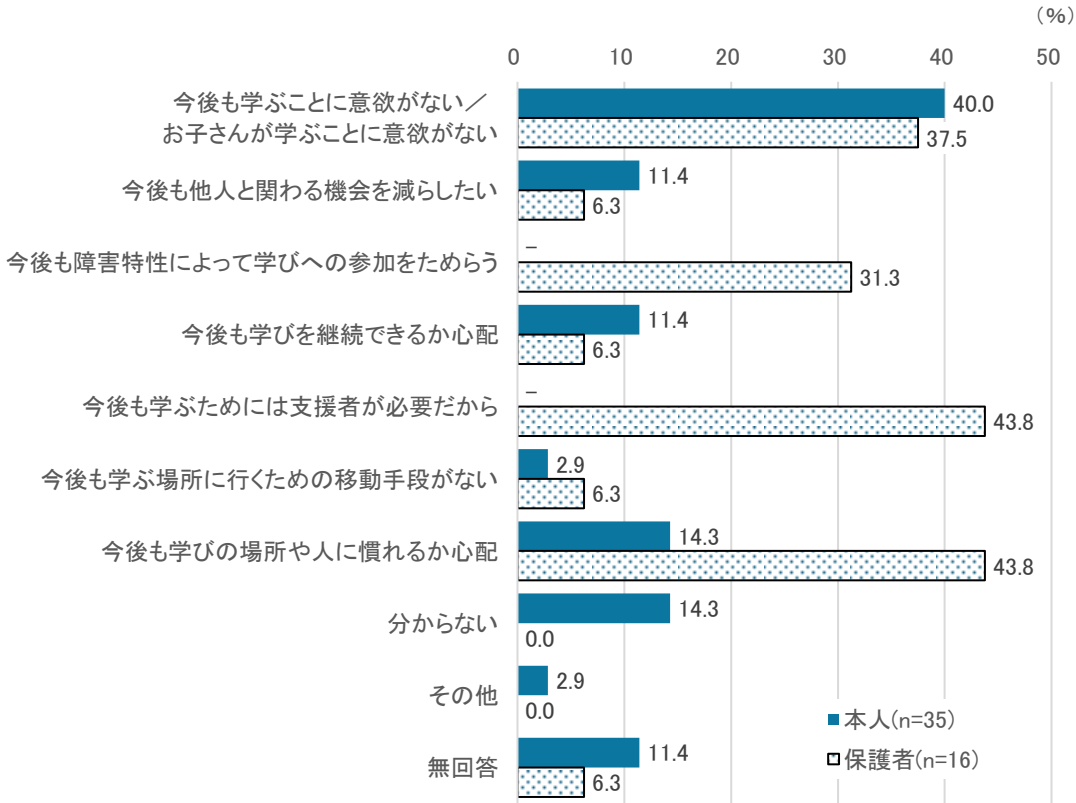


(5-1で「学びについてあまり関心がない」「学びについて関心がない」を回答した場合)
その理由を教えてください(複数回答)(本人 Q27、保護者 Q35)

「学びについてあまり関心がない」「学びについて関心がない」を選んだ理由について本人では、「今後も学ぶことに意欲がない」が40.0%で最も高く、次いで「今後も学びの場所や人に慣れるか心配」と「分からない」が14.3%と続いています。

「学びについてあまり関心がない」「学びについて関心がない」を選んだ理由について保護者では、「今後も学ぶためには支援者が必要だから」と「今後も学びの場所や人に慣れるか心配」が43.8%で最も高く、次いで「お子さんが学ぶことに意欲がない」が37.5%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
今後も学ぶことに意欲がない／ お子さんが学ぶことに意欲がない	14	40.0	6	37.5
今後も他人と関わる機会を減らしたい	4	11.4	1	6.3
今後も障害特性によって学びへの参加をためらう	－	－	5	31.3
今後も学びを継続できるか心配	4	11.4	1	6.3
今後も学ぶためには支援者が必要だから	－	－	7	43.8
今後も学ぶ場所に行くための移動手段がない	1	2.9	1	6.3
今後も学びの場所や人に慣れるか心配	5	14.3	7	43.8
分からない	5	14.3	0	0.0
その他	1	2.9	0	0.0
無回答	4	11.4	1	6.3
全体	35	100.0	16	100.0



■ その他の内訳

年齢	1
----	---

5-5

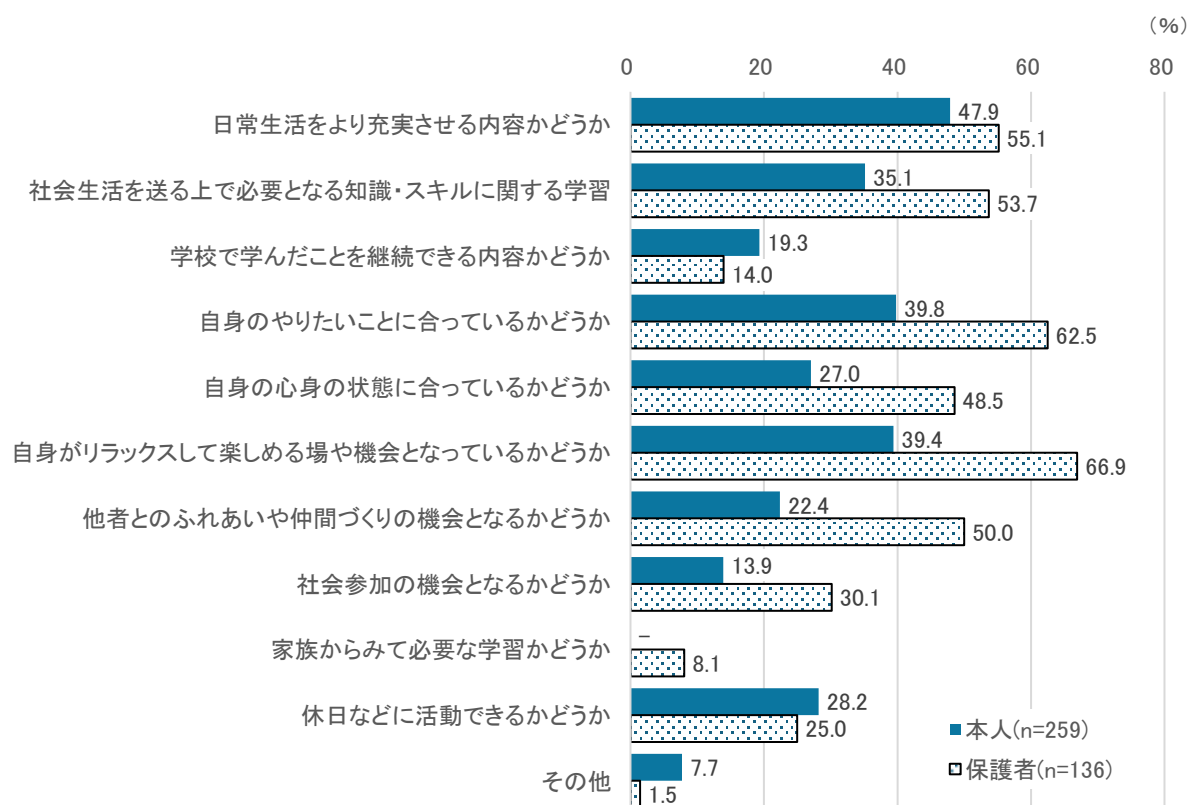
今後、勉強やスポーツ活動などの学びに取り組む際に大切にすることはなんですか（複数回答）（本人 Q28）

今後、お子さんが学びに取り組む際に重要視することを御回答ください（複数回答）（保護者 Q36）

今後、勉強やスポーツ活動などの学びに取り組む際に大切にすることについて本人では、「日常生活をより充実させる内容かどうか」が47.9%で最も高く、次いで「自身のやりたいことに合っているかどうか」が39.8%、「自身がリラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか」が39.4%と続いています。

今後、お子さんが学びに取り組む際に重要視することについて保護者では、「自身がリラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか」が66.9%で最も高く、次いで「自身のやりたいことに合っているかどうか」が62.5%、「日常生活をより充実させる内容かどうか」が55.1%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
日常生活をより充実させる内容かどうか	124	47.9	75	55.1
社会生活を送る上で必要となる知識・スキルに関する学習	91	35.1	73	53.7
学校で学んだことを継続できる内容かどうか	50	19.3	19	14.0
自身のやりたいことに合っているかどうか	103	39.8	85	62.5
自身の心身の状態に合っているかどうか	70	27.0	66	48.5
自身がリラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか	102	39.4	91	66.9
他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか	58	22.4	68	50.0
社会参加の機会となるかどうか	36	13.9	41	30.1
家族からみて必要な学習かどうか	-	-	11	8.1
休日などに活動できるかどうか	73	28.2	34	25.0
その他	20	7.7	2	1.5
全体	259	100.0	136	100.0



■その他の内訳

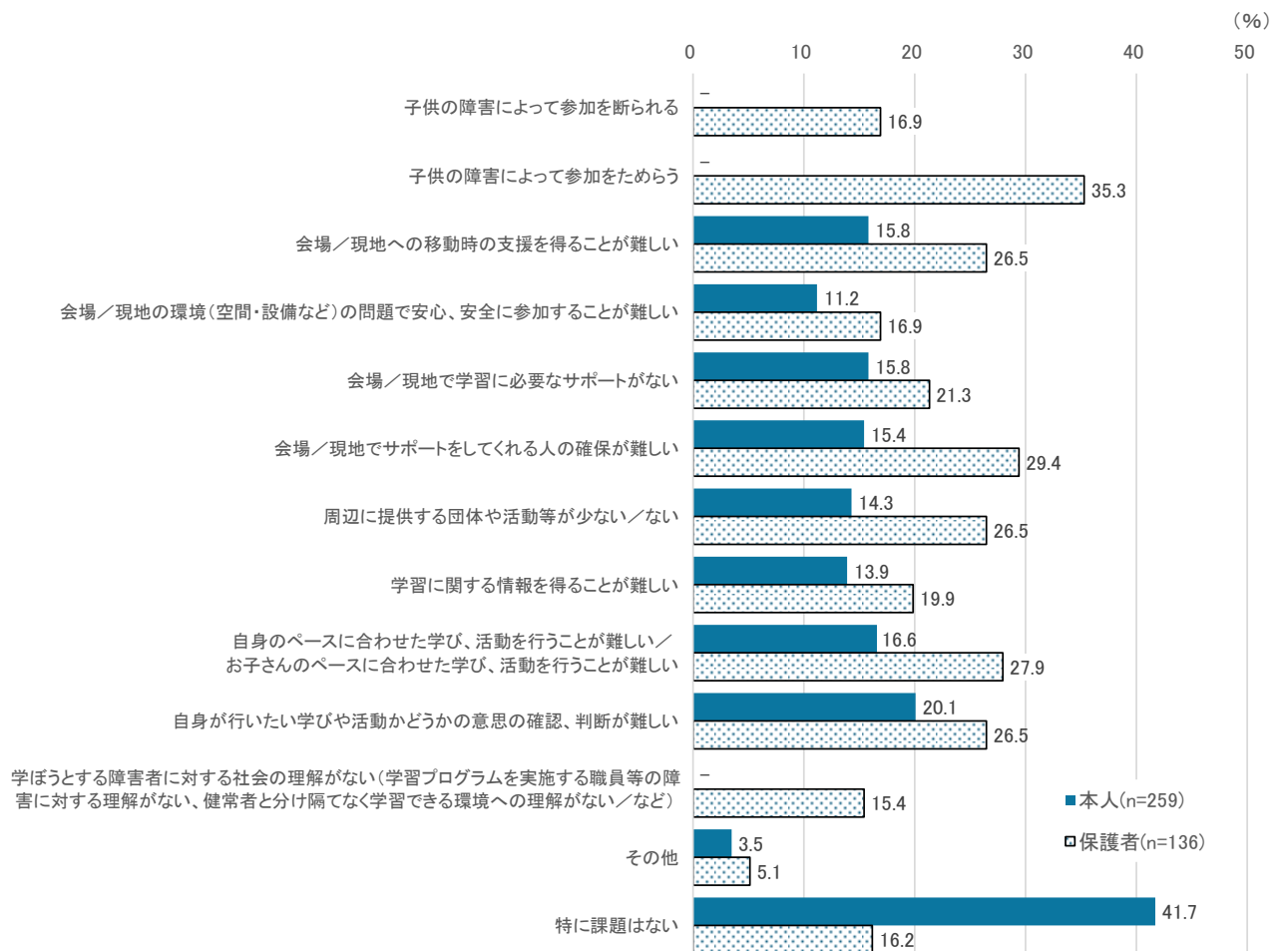
特になし	10
わからない	4
自信をつけたい／心を鍛えたい(素性をオープンにできるように)	2
人との交流を大切にしたい	1
健康管理(日常の運動後の水分・塩分補給、リラックス)	1
家でのおんびり過ごすこと	1
生きていく糧にするため	1
学ぶ能力がないと認識	1

5-6	今後、勉強やスポーツ活動などの学びに参加する際に妨げになりそうなものを選んでください(複数回答)(本人 Q29)
	今後、お子さんが学びに取り組む際の障壁となりそうなものを御回答ください(複数回答)(保護者 Q37)

今後、勉強やスポーツ活動などの学びに参加する際に妨げになりそうなものについて本人では、「特に課題はない」が41.7%で最も高く、次いで「自身が行いたい学びや活動かどうかの意思の確認、判断が難しい」が20.1%、「自身のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい」が16.6%と続いています。

今後、お子さんが学びに取り組む際の障壁となりそうなものについて保護者では、「子供の障害によって参加をためらう」が35.3%で最も高く、次いで「会場／現地でサポートをしてくれる人の確保が難しい」が29.4%、「お子さんのペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい」が27.9%と続いています。

カテゴリー	本人		保護者	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)
子供の障害によって参加を断られる	-	-	23	16.9
子供の障害によって参加をためらう	-	-	48	35.3
会場／現地への移動時の支援を得ることが難しい	41	15.8	36	26.5
会場／現地の環境(空間・設備など)の問題で安心、安全に参加することが難しい	29	11.2	23	16.9
会場／現地で学習に必要なサポートがない	41	15.8	29	21.3
会場／現地でサポートをしてくれる人の確保が難しい	40	15.4	40	29.4
周辺に提供する団体や活動等が少ない／ない	37	14.3	36	26.5
学習に関する情報を得ることが難しい	36	13.9	27	19.9
自身のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい／ お子さんのペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい	43	16.6	38	27.9
自身が行いたい学びや活動かどうかの意思の確認、判断が難しい	52	20.1	36	26.5
学ぼうとする障害者に対する社会の理解がない(学習プログラムを実施する職員等の障害に対する理解がない、健常者と分け隔てなく学習できる環境への理解がない／など)	-	-	21	15.4
その他	9	3.5	7	5.1
特に課題はない	108	41.7	22	16.2
全体	259	100.0	136	100.0



■ その他の内訳

特になし	4
不安(活動内容・被害の心配・職員不足での不安など)	4
時間や予定の制約(仕事で時間がない、休日に合わない)	2
費用がかかること	2
本人が尻込みする・参加に消極的	1
周辺情報をもっと知りたい	1
コミュニケーションの難しさ	1
家族と一緒に行動しているので心配ない	1
電車内でのマナー意識(高齢者に席を譲ることを大切にしている)	1
回答が難しい	1

IV. 資料

特別支援学校卒業後の進路や学びに関する調査[在校生本人]

質問		複数 回答	回答				
1	答える人を選んでください	－	本人（漢字中心の質問文）	本人（ひらがな中心の質問文）	本人（保護者と回答）（漢字中心の質問文）	保護者	
2	在籍している学校名を選んでください	－	（学校名を選択）				
3	在籍している教育部門を選んでください	－	視覚障害教育部門	聴覚障害教育部門	肢体不自由教育部門	知的障害教育部門	病弱教育部門
4	在籍している学科を選んでください	－	普通科	専攻科	就業技術科	職能開発科	
5	何年生ですか	－	1年	2年	3年		
6	性別を選んでください	－	男	女	回答したくない	無回答	その他
7	住んでいる場所を（区市町村名）を選んでください	－	（千代田区～小笠原村までブルダウン）				
8	学校を卒業後に希望する進路を選んでください	－	大学・短期大学への進学	専修学校・専門学校への進学	障害者職業能力開発校等での訓練	企業への就労	福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用
			福祉型大学「カレッジ」の利用	まだ検討していない	その他		
9	（8で「大学・短期大学への進学」「専修学校・専門学校への進学」「障害者職業能力開発校等での訓練」「福祉型大学「カレッジ」の利用」）を回答した場合）その理由を選んでください	○	知識や教養を高めたから	自分が働くのはまだ早いと思うから	家族に勧められているから	学校の先生に勧められているから	きょうだいや身の回りの人が進学しているから
			その他	無回答			
10	（8で「企業への就労、福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用」）を回答した場合）その理由を選んでください	○	働いて給料をもらいたいから	家族に安心してほしいから	自立した生活がしたいから	家族に勧められているから	学校の先生に勧められているから
			きょうだいや身の回りの人が働いているから	その他	無回答		
11	進路について相談できる人は誰ですか	○	家族	友人・知人	学校の先生	相談相手はいない	その他
			無回答				
12	学校の進路指導は、希望する進路に沿っていますか？	－	希望にとても沿っている	希望に沿っている	どちらとも言えない	希望にあまり沿っていない	希望に沿っていない
			無回答	その他			
13	卒業後に学ぶための情報はどうやって知りますか	○	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌・本	インターネット（ホームページ・SNSなど）	電話での問合せ（携帯電話・スマートフォンなど）	身近な人への相談（家族、友人、支援者など）
			福祉機関や公民館等からの案内	特にない	その他	無回答	
14	卒業後に学びたいことを調べたり、実際に参加したりする上で困りそうなことはありますか	○	公共施設や交通機関の案内等が分かりにくいこと	初めて出かける場所では、どのように行けばよいか迷うこと	周りの人の言っていることがよく分からないことや、自分の言いたいことが、うまく伝わらないこと	インターネットの使い方がよく分からないこと（パソコン、スマートフォン）	メールの使い方がよく分からないこと
			情報を入手したり、コミュニケーションをとることが難しいこと	特に困らないと思う	その他	無回答	
15	学校以外で勉強やスポーツなどの活動をする機会はありますか？	－	十分にある	ある程度ある	あまりない	ほとんどない	分からない
16	学校以外の勉強やスポーツなどをどれくらいしていますか？	－	ほぼ毎日	週に数回程度	週末に1回程度	月に数回程度	数か月に1回程度
			年に1回程度	分からない	無回答	その他	
17	学校以外の場所で、勉強やスポーツ活動をどれくらい行いたいですか？	－	学校外でも積極的に学びたい	学校外でも学びたい	学校外での学びについてあまり関心がない	学校外での学びについて関心がない	分からない
			無回答	その他			
18	（17で「学校外でも積極的に学びたい」「学校外でも学びたい」を回答した場合）学校以外で学びたい内容を教えてください	○	学校で学んだ内容の維持や再学習	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動	音楽や絵画などの文化芸術活動
			ボランティア活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得などに関する学習	仲間づくり、交流活動	その他
			無回答				
19	（17で「学校外でも積極的に学びたい」「学校外でも学びたい」を回答した場合）学びたい理由を教えてください	○	様々な経験を通して、成長するため	自身の課題解決を図るため	地域や社会の活動に参加したり、関わったりするため	健康の維持・増進のため	他の人と交流したり、友人を得たりするため
			人生を豊かにするため	教養を深めるため	分からない	その他	無回答
20	（17で「学校外での学びについてあまり関心がない」「学校外での学びについて関心がない」を回答した場合）学びに関心がない理由を教えてください	○	学ぶことに意欲がない	他人と関わる機会を減らしたい	学びを継続できるか心配	学ぶ場所に行くための移動手段がない	学びの場所や人に慣れることができるか心配
			分からない	その他	無回答		
21	高等部を卒業した後、勉強をしたり、スポーツをしたりする機会はどれくらいありますか？	－	十分にあると思う	ある程度あると思う	あまりないと思う	ほとんどないと思う	分からない
			無回答				
22	高等部を卒業した後、勉強をしたり、スポーツをしたりする機会がどれくらい欲しいですか？	－	ほぼ毎日ほしい	週に数回程度ほしい	週末に1回程度ほしい	月に1回程度ほしい	数か月に1回程度ほしい
			年に1回程度ほしい	分からない	無回答	その他	
23	高等部を卒業した後、勉強やスポーツを学びたいですか？	－	卒業後も積極的に学びたい	卒業後も学びたい	卒業後はあまり学びたくない	卒業後は学びたくない	分からない
			無回答	その他			
24	高等部卒業後に学びたいことを教えてください	○	学校で学んだ内容の維持や再学習	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動	音楽や絵画などの文化芸術活動
			ボランティア活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得などに関する学習	仲間づくり、交流活動	学びたいことはない
			その他	無回答			
25	高等部卒業後に学びたい理由を教えてください	○	教養を深めたいため	様々な経験を通して、成長するため	自身の課題解決を図るため	健康の維持・増進のため	他の人と交流したり、友人を得たりするため
			地域や社会とつながりたいため	人生を豊かにするため	その他	分からない	

特別支援学校卒業後の進路や学びに関する調査[在校生保護者]

質問		複数回答	回答				
1	答える人を選んでください	－	本人（漢字中心の質問文）	本人（ひらがな中心の質問文）	本人（保護者と回答）（漢字中心の質問文）	保護者	
2	在籍している学校名を選んでください	－	（学校名を選択）				
3	在籍している教育部門を選んでください	－	視覚障害教育部門	聴覚障害教育部門	肢体不自由教育部門	知的障害教育部門	病弱教育部門
4	在籍している学科を選んでください	－	普通科	専攻科	就業技術科	職能開発科	
5	何年生ですか	－	1年	2年	3年		
6	性別を選んでください	－	男	女	回答したくない	その他	
7	住んでいる場所を（区市町村名）を選んでください	－	（千代田区～小笠原村までフルダウン）				
8	お子さんの愛の手帳の区分を御回答ください	－	1度 その他	2度	3度	4度	持っていない
9	お子さんの身体障害者手帳の区分を御回答ください	－	1級 6級	2級 持っていない	3級	4級	5級
10	お子さんの精神障害者保健福祉手帳の区分を御回答ください	－	1級	2級	3級	持っていない	
11	お子さんの主な意思の伝達方法を御回答ください	－	会話でのやりとり	文字や文章を書いて伝える 意思を読み取ってもらう	無回答		その他
12	お子さんの着替え、排せつ、食事などの動作能力を御回答ください	－	一人で全部できる その他	一人でできるが、スムーズにはできない	一部手助けがあればできる	全部手助けが必要	無回答
13	お子さんの公共交通機関等の移動に必要な動作能力を御回答ください	－	一人で全部できる その他	一人でできるが、スムーズにはできない	一部手助けがあればできる	全部手助けが必要	無回答
14	お子さんの買物や銀行での預金の出し入れなどの金銭の管理能力を御回答ください	－	一人で全部できる その他	一人でできるが、スムーズにはできない	一部手助けがあればできる	全部手助けが必要	無回答
15	お子さんの高等部卒業後の進路希望を御回答ください	－	大学・短期大学への進学 福祉型大学「カレッジ」の利用	専修学校・専門学校への進学 まだ検討していない その他	障害者職業能力開発校等での訓練 その他	企業への就労	福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用
16	（15で「大学・短期大学への進学」「専修学校・専門学校への進学」「障害者職業能力開発校等での訓練」「福祉型大学「カレッジ」の利用」を回答した場合）その理由を御回答ください	○	知識や教養を高めさせたいから その他	子供が働くのはまだ早いと思うから 無回答	家族に勧められているから 学校の先生に勧められているから	学校の先生に勧められているから	きょうだいや身の回りの人が進学しているから
17	（15で「企業への就労」「福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用」を回答した場合）その理由を御回答ください	○	働いて給料をもらってほしいから きょうだいや身の回りの人が働いているから	家族を安心させてほしいから その他	自立した生活をしてほしいから 無回答	家族に勧められているから	学校の先生に勧められているから
18	進路について相談できる人を御回答ください	○	家族 無回答	友人・知人 その他	学校の先生	相談相手はいない	その他
19	学校の進路指導は、お子さんの進路希望に沿っていますか	－	希望にとても沿っている 無回答	希望に沿っている その他	どちらとも言えない	希望にあまり沿っていない	希望に沿っていない
20	卒業後に学ぶための情報の入手方法を御回答ください	○	テレビ・ラジオ 福祉機関や公民館等からの案内	新聞・雑誌・本 特になし	インターネット（ホームページ・SNSなど） その他	電話での問合せ（携帯電話・スマートフォンなど） 無回答	身近な人への相談（家族、友人、支援者など）
21	卒業後の学びの情報の入手や、活動団体とコミュニケーションをとる上で困りそうなことを御回答ください	○	お子さんにとって公共施設や交通機関の案内等が分かりにくいこと 情報を入手したり、コミュニケーションをとることが難しいこと	お子さんにとって初めて出かける場所では、どのように行けばよいか迷うこと 特に困らないと思う	お子さんにとって周りの人の言っていることがよく分からないことや、自分の言いたいことが、うまく伝わらないこと その他	お子さんにとってインターネットの使い方がよく分からないこと（パソコン、スマートフォン） 無回答	お子さんにとってメールの使い方がよく分からないこと
22	お子さんの現在の学校以外の学びの機会を御回答ください	－	十分にある	ある程度ある	あまりない	ほとんどない	分からない
23	お子さんの現在の学校以外の学びの機会の頻度を御回答ください	－	ほぼ毎日 年に1回程度	週に数回程度 分からない	週末に1回程度 無回答	月に数回程度 その他	数か月に1回程度
24	お子さんの学校以外の学びに関する要望を御回答ください	－	学校外でも積極的に学ばせたい 無回答	学校外でも学ばせたい その他	学校外での学びについてあまり関心がない	学校外での学びについて関心がない	分からない
25	（24で「学校外でも積極的に学ばせたい」「学校外でも学ばせたい」を回答した場合）お子さんに学校以外で学ばせたい内容を御回答ください	○	学校で学んだ内容の維持や再学習 ボランティア活動 無回答	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦 日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動 スキルアップや資格取得などに関する学習	旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動 仲間づくり、交流活動	音楽や絵画などの文化芸術活動 その他
26	（24で「学校外でも積極的に学ばせたい」「学校外でも学ばせたい」を回答した場合）学ばせたい理由を教えてください	○	様々な経験を通して、成長するため 人生を豊かにするため	自身の課題解決を図れるようにするため 教養を深めるため	地域や社会の活動に参加したり、関わったりしてほしいため 分からない	健康の維持・増進のため その他	他の人と交流したり、友人を得たりするため 無回答
27	（24で「学校外での学びについてあまり関心がない」「学校外での学びについて関心がない」を回答した場合）学びに関心がない理由を御回答ください	○	子供が学ぶことに意欲がないため 子供が学ぶ場所に行くための移動手段がない	他人と関わる機会を減らしたいから 子供が学びの場所や人に慣れるか心配	子供が障害特性によって学びへの参加をためらうから 分からない	子供が学びを継続できるか心配 その他	子供が学ぶためには支援者が必要だが、支援者がいないため 無回答
28	お子さんの高等部卒業後の学びの機会の状況を御回答ください	－	十分にあると思う 無回答	ある程度あると思う	あまりないと思う	ほとんどないと思う	分からない
29	お子さんの高等部卒業後の学びの機会はどの程度あると良いですか	－	ほぼ毎日ほしい 年に1回程度ほしい	週に数回程度ほしい 分からない	週末に1回程度ほしい 無回答	月に1回程度ほしい その他	数か月に1回程度ほしい
30	お子さんの高等部卒業後の学びへの意欲を御回答ください	－	卒業後も積極的に学ぶ意欲がある 無回答	卒業後も学ぶ意欲がある その他	卒業後に学ぶ意欲はあまりない	卒業後に学ぶ意欲はない	分からない
31	お子さんの高等部卒業後に学ばせたい内容を御回答ください	○	学校で学んだ内容の維持や再学習 ボランティア活動 その他	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦 日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習 無回答	健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動 スキルアップや資格取得などに関する学習	旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動 仲間づくり、交流活動	音楽や絵画などの文化芸術活動 学ばせたいことはない
32	高等部卒業後に学ばせたい理由を御回答ください	○	教養を深めさせたいため 地域や社会とつながりたいため	様々な経験を通して、成長してほしいため 人生を豊かにするため	自身の課題解決を図れるようにするため その他	健康の維持・増進のため 分からない	他の人と交流したり、友人を得たりするため

特別支援学校卒業後の進路や学びに関する調査〔卒業生本人〕

質問		複数回答	回答			
1	答える人を選んでください	－	本人（漢字中心の質問文）	本人（ひらがな中心の質問文）	本人（保護者と回答）（漢字中心の質問文）	保護者
2	卒業した学校名を選んでください	－	（学校名を選択）			
3	卒業した教育部門を選んでください	－	視覚障害教育部門	聴覚障害教育部門	肢体不自由教育部門	知的障害教育部門
4	卒業した学科を選んでください	－	普通科	専攻科	職業開発科	その他
5	卒業後の年数を選んでください	－	1年（令和7年3月卒業）	2年（令和6年3月卒業）	3年（令和5年3月卒業）	4年以上（令和4年3月より前に卒業）
6	性別を選んでください	－	男	女	回答したくない	無回答
7	現在住んでいる場所（区市町村）を選んでください	－	（千代田区～小笠原村までブルダウ）			
8	高等部に通っていた時の希望していた進路を選んでください	－	大学・短期大学への進学	専修学校・専門学校への進学	障害者職業能力開発校等での訓練	企業への就労
			福祉型大学「カレッジ」の利用	その他		福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用
9	（8で「大学・短期大学への進学」「専修学校・専門学校への進学」「障害者職業能力開発校等での訓練」「福祉型大学「カレッジ」の利用」を回答した場合）その理由を選んでください	○	知識や教養を高めたかったから	自分が働くのはまだ早いと思ったから	家族に勧められたから	学校の先生に勧められたから
			その他	無回答		きょうだいや身の回りの人が通学しているから
10	（8で「企業への就労」「福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用」を回答した場合）その理由を選んでください	○	働いて給料をもらいたかったから	家族に安心してほしいと思ったから	自立した生活がしたいと思ったから	家族に勧められたから
			きょうだいや身の回りの人が働いているから	その他	無回答	学校の先生に勧められたから
11	現在の進路状況を選んでください	－	大学・短期大学への進学	専修学校・専門学校への進学	障害者職業能力開発校等での訓練	企業への就労
			福祉型大学「カレッジ」の利用	その他		福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用
12	現在の進路と進路希望の違いを選んでください	－	希望どおり	一部希望どおり	あまり希望していない	希望していない
			その他			無回答
13	高等部に通っていた時に進路について相談した人は誰ですか	○	家族	友人・知人	学校の先生	相談相手はいない
			無回答			その他
14	学びたい情報はどのように知りますか	○	テレビ・ラジオ	新聞・雑誌・本	インターネット（ホームページ・SNSなど）	電話での問合せ（携帯電話・スマートフォンなど）
			福祉機関や公民館等からの案内	特になし	その他	無回答
15	学びたいことを調べたり、実際に参加したりする上で困りそうなことを選んでください	○	公共施設や交通機関の案内等が分かりにくいこと	初めて出かける場所では、どのように行けばよいか迷うこと	周りの人の言っていることがよく分からないことや、自分の言いたいことが、うまく伝わらないこと	インターネットの使い方がよく分からないこと（パソコン、スマートフォン）
			情報を入手したり、コミュニケーションをとることが難しいこと	特に困らないと思う	その他	メールの使い方がよく分からないこと
16	勉強やスポーツなどの活動をする機会は何の程度ありますか？	－	十分にあり	ある程度ある	あまりない	ほとんどない
			無回答	その他		分からない
17	勉強やスポーツ活動などの学びをどれくらいしていますか？	－	ほぼ毎日	週に数回程度	週末に1回程度	月に1回程度
			年に1回程度	分からない	無回答	数か月に1回程度
18	現在、勉強やスポーツ活動など、どんなことを学んでいますか？	○	学校で学んだ内容の維持や再学習	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動
			趣味の習い事やサークル活動	ボランティア活動	障害者団体での活動	学びたいことはない
			無回答			その他
19	現在、取り組んでいる勉強やスポーツ活動などの学びに取り組む際に大切にすることはありますか	○	日常生活をより充実させる内容かどうか	社会生活を送る上で必要となる知識・スキルに関する学習	学校で学んだことを継続できる内容かどうか	自身のやりたいたいことに合っているかどうか
			自身がリラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか	他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか	社会参加の機会となるかどうか	休日などに活動できるかどうか
20	現在、勉強やスポーツ活動などの学びに参加する際に妨げとなっているものはありますか	○	会場／現地への移動時の支援を得ることが難しい	会場／現地の環境（空間・設備など）の問題で安心、安全に参加することが難しい	会場／現地で学習に必要なサポートがない	会場／現地でサポートをしてくれる人の確保が難しい
			学習に関する情報を得ることが難しい	自身のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい	自身が行いたい学びや活動かどうかの確認、判断が難しい	その他
21	学校に在学をしていた時の校外での勉強やスポーツ活動に満足していましたか	－	十分に満足していた	満足していた	あまり満足していなかった	満足してなかった
			無回答	その他		分からない
22	学校に在学中に更に学びたかったことをを選んでください	○	教科に関する学習	職業に関する学習	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動
			音楽や絵画などの文化芸術活動	ボランティア活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得などに関する学習
			その他	無回答		仲間づくり、交流活動
23	（22で「無回答」以外を回答した場合）その理由を選んでください	○	教養を深めたいため	様々な経験を通して、成長するため	自身の課題解決を図るため	健康の維持・増進のため
			地域や社会とつながりたいため	人生を豊かにするため	分からない	その他
24	今後、勉強やスポーツ活動などの学びをどれくらい行いたいですか	－	積極的に学びたい	学びたい	学びについてあまり関心がない	学びについて関心がない
			無回答	その他		分からない
25	（24で「積極的に学びたい」「学びたい」を回答した場合）今後、学びたい内容を教えてください	○	学校で学んだ内容の維持や再学習	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦	健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動	旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動
			ボランティア活動	日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習	スキルアップや資格取得などに関する学習	仲間づくり、交流活動
			無回答			その他
26	（24で「積極的に学びたい」「学びたい」を回答した場合）その理由を教えてください	○	様々な経験を通して、成長するため	自身の課題解決を図るため	地域や社会の活動に参加したり、関わったりするため	健康の維持・増進のため
			人生を豊かにするため	教養を深めるため	分からない	その他
27	（24で「学びについてあまり関心がない」「学びについて関心がない」を回答した場合）その理由を教えてください	○	今後他者と関わる機会を減らしたい	今後も学びを継続できるか心配	今後他者と関わる機会を減らしたい	今後も学びの場所や人に慣れるか心配
			分からない	その他	無回答	
28	今後、勉強やスポーツ活動などの学びに取り組む際に大切にすることはありますか	○	日常生活をより充実させる内容かどうか	社会生活を送る上で必要となる知識・スキルに関する学習	学校で学んだことを継続できる内容かどうか	自身のやりたいたいことに合っているかどうか
			自身がリラックスして楽しめる場や機会となっているかどうか	他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか	社会参加の機会となるかどうか	休日などに活動できるかどうか
29	今後、勉強やスポーツ活動などの学びに参加する際に妨げになりそうなものを選んでください	○	会場／現地への移動時の支援を得ることが難しい	会場／現地の環境（空間・設備など）の問題で安心、安全に参加することが難しい	会場／現地で学習に必要なサポートがない	会場／現地でサポートをしてくれる人の確保が難しい
			学習に関する情報を得ることが難しい	自身のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい	自身が行いたい学びや活動かどうかの確認、判断が難しい	その他

特別支援学校卒業後の進路や学びに関する調査[卒業生保護者]

質問	複数 回答	回答				
		本人（漢字中心の質問文）	本人（ひらがな中心の質問文）	本人（保護者と回答）（漢字中心の質問文）	保護者	
1 答える人を選んでください	-	本人（漢字中心の質問文）	本人（ひらがな中心の質問文）	本人（保護者と回答）（漢字中心の質問文）	保護者	
2 お子さんが卒業した学校名御回答ください	-	（学校名を選択）				
3 お子さんが卒業した教育部門を御回答ください	-	聴覚障害教育部門	聴覚障害教育部門	肢体不自由教育部門	知的障害教育部門	病弱教育部門
4 お子さんが卒業した学科を御回答ください	-	普通科	専攻科	就業技術科	機能開発科	その他
5 お子さんの卒業後の年数を御回答ください	-	1年（令和7年3月卒業）	2年（令和6年3月卒業）	3年（令和5年3月卒業）	4年以上（令和4年3月より前に卒業）	
6 お子さんの性別を御回答ください	-	男	女	回答したくない	無回答	その他
7 現在の居住地（区市町村名）を御回答ください	-	（千代田区～小笠原村までプルダウン）				
8 お子さんの愛の手帳の区分を御回答ください	-	1度	2度	3度	4度	持っていない
9 お子さんの身体障害者手帳の区分を御回答ください	-	1級	2級	3級	4級	5級
10 お子さんの精神障害者保健福祉手帳の区分を御回答ください	-	1級	2級	3級	持っていない	
11 お子さんの主な意思の伝達方法を御回答ください	-	会話でのやりとり	文字や文章を書いて伝える	家族や支援者などに、意思を読み取ってもらう	無回答	その他
12 お子さんの着替え、排せつ、食事などの動作能力を御回答ください	-	一人で全部できる	一人でできるが、スムーズにはできない	一部手助けがあればできる	全部手助けが必要	無回答
13 お子さんの公共交通機関等の移動に必要な動作能力を御回答ください	-	一人で全部できる	一人でできるが、スムーズにはできない	一部手助けがあればできる	全部手助けが必要	無回答
14 お子さんの買物や銀行での預金の出し入れなどの金銭の管理能力を御回答ください	-	一人で全部できる	一人でできるが、スムーズにはできない	一部手助けがあればできる	全部手助けが必要	無回答
15 お子さんの高等部在学中の進路希望を御回答ください	-	大学・短期大学への進学 福祉型大学「カレッジ」の利用 その他	専修学校・専門学校への進学 その他	障害者職業能力開発校等での訓練 企業への就労	福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用	
16 「15で「大学・短期大学への進学」「専修学校・専門学校への進学」「障害者職業能力開発校等での訓練」「福祉型大学「カレッジ」の利用」を回答した場合）その理由を御回答ください	○	知識や教養を高めさせたかったから その他	子供が働くのはまだ早いと思ったから 無回答	家族に勧められたから	学校の先生に勧められたから	きょうだいや身の回りの人が通学しているから
17 「15で「企業への就労」「福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用」を回答した場合）その理由を御回答ください	○	働いて給料をもらってほしかったから きょうだいや身の回りの人が働いているから その他	家族に安心させてほしいと思ったから その他	自立した生活をしてほしいと思ったから 無回答	家族に勧められたから	学校の先生に勧められたから
18 現在の進路状況を御回答ください	-	大学・短期大学への進学 福祉型大学「カレッジ」の利用 その他	専修学校・専門学校への進学 その他	障害者職業能力開発校等での訓練 企業への就労	福祉サービス（福祉型大学「カレッジ」を除く）の利用	
19 お子さんの現在の進路と進路希望の相違を御回答ください	-	希望どおり その他	一部希望どおり その他	あまり希望していない その他	希望していない その他	無回答
20 お子さんの高等部卒業後の進路について相談した人を御回答ください	○	家族 無回答	友人・知人 無回答	学校の先生 無回答	相談相手はいない その他	その他
21 お子さんが学ぶための情報を入手している方法を御回答ください	○	テレビ・ラジオ 福祉機関や公民館等からの案内 その他	新聞・雑誌・本 その他	インターネット（ホームページ・SNSなど） その他	電話での問合せ（携帯電話・スマートフォンなど） 無回答	身近な人への相談（家族、友人、支援者など）
22 学びの情報の入手や、活動団体とコミュニケーションをとる上で困りそうなことを御回答ください	○	お子さんにとって公共施設や交通機関の案内等が分かりにくいこと 情報入手したり、コミュニケーションをとることが難しいこと その他	お子さんにとって初めて出かける場所では、どのように行けばよいかわからないこと 特に関らないと思う その他	お子さんにとって周りの人の重ていることがよく分からないこと や、自分の言いにくいことが、うまく伝わらないこと その他	お子さんにとってインターネットの使い方がよく分からないこと （パソコン、スマートフォン） 無回答	お子さんにとってメールの使い方がよく分からないこと
23 お子さんの現在の学びの機会の充足度を御回答ください	-	十分にある 無回答	ある程度ある その他	あまりない その他	ほとんどない その他	分からない
24 お子さんの現在の学びの機会の頻度を御回答ください	-	ほぼ毎日 年に1回程度 分からない	週に数回程度 無回答	週末に1回程度 無回答	月に1回程度 その他	数か月に1回程度
25 現在のお子さんに対する学びの意欲を御回答ください	-	積極的に学ばせたい 無回答	機会があれば学ばせたい その他	学びについてあまり関心がない その他	学びについて関心がない その他	分からない
26 お子さんが現在学んでいることを御回答ください	○	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦 ボランティア活動 その他	健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動 障害者団体での活動 その他	旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動 学ばせたいことはない その他	学習活動（オンライン参加含む） その他	趣味の習い事やサークル活動 無回答
27 現在、お子さんが学びに取り組み際に重要視することを御回答ください	○	日常生活をより充実させる内容かどうか 日常生活を送る上で必要となる知識・スキルに関する学習 その他	社会生活を送る上で必要となる知識・スキルに関する学習 他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか その他	学校で学んだことを継続できる内容かどうか 社会参加の機会となるかどうか その他	やりたいことに合っているかどうか 心身の状態に合っているかどうか その他	心身の状態に合っているかどうか 休日などに活動できるかどうか その他
28 現在、お子さんが学びに取り組み際の障壁となっているものを御回答ください	○	障害によって参加を断られる 会場／現地へサポートをしてくれる人の確保が難しい 学ばずとする障害者に対する社会の理解がない（学習プログラムを実施する職員等の障害に対する理解がない、健常者と分け隔てなく学習できる環境への理解がない／など） その他	障害によって参加をためらう 周辺に提供する団体や活動等が少ない／ない 自身の課題解決を図るようになりたい 今後他者と関わる機会を減らしたい 今後学ぶ場所や人に慣れる心配 その他	会場／現地への移動時の支援を得ることが難しい 学習に関する情報を得ることが難しい 子供のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい 特に関心はない その他	会場／現地の環境（空間・設備など）の問題で安心、安全に参加することが難しい 子供のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい 子供が行いたい学びや活動かどうかの意思の確認、判断が難しい その他	会場／現地へ学習に必要なサポートがない 子供が行いたい学びや活動かどうかの意思の確認、判断が難しい 休日などに活動できるかどうか その他
29 お子さんの在学中の校外での学びの充足度を御回答ください	-	十分に満足していた 無回答	満足していた その他	あまり満足していなかった 無回答	満足してなかった その他	分からない
30 お子さんが在学中に更に学んでほしかったことを御回答ください	○	教科に関する学習 音楽や絵画などの文化芸術活動 その他	職業に関する学習 ボランティア活動 無回答	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦 日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習 無回答	健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動 スキルアップや資格取得などに関する学習 その他	旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動 仲間づくり、交流活動 その他
31 （30で「無回答」以外を回答した場合）その理由を御回答ください（複数選択可）	-	教養を深めたいため 人生を豊かにするため その他	様々な経験を通して、成長するため 自身の課題解決を図るため 分からない その他	健康の維持・増進のため その他	他の人と交流したり、友人を得たため 無回答	地域や社会とつながりたいため
32 お子さんに対する学びの今後の意欲を御回答ください	-	積極的に学ばせたい 無回答	学ばせたい その他	学びについてあまり関心がない その他	学びについて関心がない その他	分からない
33 「32で「積極的に学ばせたい」「学ばない」を回答した場合）今後、お子さんに学ばせたい内容を御回答ください	○	学校で学んだ内容の維持や再学習 日常生活や社会生活に必要な知識・スキルに関する学習 その他	コンサートや映画、スポーツなどの鑑賞、観戦 健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動 旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動 仲間づくり、交流活動 その他	健康維持等を目的とした運動、スポーツ活動 旅行やアウトドアなどのレクリエーション活動 仲間づくり、交流活動 その他	音楽や絵画などの文化芸術活動 ボランティア活動 その他	
34 「32で「積極的に学ばせたい」「学ばない」を回答した場合）その理由を御回答ください	○	様々な経験を通して、成長してほしいため 人生を豊かにするため その他	自身の課題解決を図るようになりたい 今後他者と関わる機会を減らしたい 今後学ぶ場所や人に慣れる心配 その他	地域や社会の活動に参加したり、関わったりしてほしいため 健康の維持・増進のため その他	他の人と交流したり、友人を得たため 無回答	休日などに活動できるかどうか その他
35 「32で「学びについてあまり関心がない」「学びについて関心がない」を回答した場合）その理由を御回答ください	○	お子さんが学ぶことに意欲がない 今後学ぶ場所に行くための移動手段がない 日常生活をより充実させる内容かどうか 日常生活を送る上で必要となる知識・スキルに関する学習 その他	今後学ぶ場所や人に慣れる心配 社会生活を送る上で必要となる知識・スキルに関する学習 他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか その他	学校で学んだことを継続できる内容かどうか 社会参加の機会となるかどうか その他	やりたいことに合っているかどうか 心身の状態に合っているかどうか その他	心身の状態に合っているかどうか 休日などに活動できるかどうか その他
36 今後、お子さんが学びに取り組み際に重要視することを御回答ください	○	日常生活をより充実させる内容かどうか 日常生活を送る上で必要となる知識・スキルに関する学習 その他	社会生活を送る上で必要となる知識・スキルに関する学習 他者とのふれあいや仲間づくりの機会となるかどうか その他	学校で学んだことを継続できる内容かどうか 社会参加の機会となるかどうか その他	やりたいことに合っているかどうか 心身の状態に合っているかどうか その他	心身の状態に合っているかどうか 休日などに活動できるかどうか その他
37 今後、お子さんが学びに取り組み際の障壁となりそうなものを御回答ください	○	子供の障害によって参加を断られる 会場／現地へサポートをしてくれる人の確保が難しい 学ばずとする障害者に対する社会の理解がない（学習プログラムを実施する職員等の障害に対する理解がない、健常者と分け隔てなく学習できる環境への理解がない／など） その他	子供の障害によって参加をためらう 周辺に提供する団体や活動等が少ない／ない 自身の課題解決を図るようになりたい 今後他者と関わる機会を減らしたい 今後学ぶ場所や人に慣れる心配 その他	会場／現地への移動時の支援を得ることが難しい 学習に関する情報を得ることが難しい 子供のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい 特に関心はない その他	会場／現地の環境（空間・設備など）の問題で安心、安全に参加することが難しい 子供のペースに合わせた学び、活動を行うことが難しい 子供が行いたい学びや活動かどうかの意思の確認、判断が難しい その他	会場／現地へ学習に必要なサポートがない 子供が行いたい学びや活動かどうかの意思の確認、判断が難しい 休日などに活動できるかどうか その他